

大正七年八月十九日第三種郵便物認可
 (每月一回二十日發行)
 大正八年七月二十日發行

THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

JULY 1919 No. 19.

大 正 八 年 七 月

青 島 實 業 協 會

月 報

第 九 拾 號

△本號要目▽

△統	△倫	△法	△青	△內	△主	△金	△海	△貿	△資	△協
敦	銀	塊	相	島	外	要	運	及	鐵	會
計	場	規	錄	報	況	融	道	易	料	事



▽青島實業協會月報 第拾九號 目次△

協會錄事

- 臨時總會(六月十七日).....一
- 重要物產部會(六月二十五日).....二
- 役員會(六月廿八日).....二
- 定例總會.....二

資料

- 青島の鹽.....五

內外經濟要報

- 綿織物輸出前途.....一九
- 英米綿業復舊難.....二〇
- 麥收獲豫想增加.....二一
- 麥作豫想高地方別.....二一
- 紡績業の進展.....二二
- 大連自由港撤廢問題.....二二
- 支那の生漆.....二三
- 支那の染料.....二四

貿易

- 青島貿易近況(五月中).....二四
- 主要輸出入貨物情勢(五月中).....二四
- 民船貿易(五月中).....二五

海運及鐵道

- 青島最近出入船舶(五月中).....二六
- 內地備船運賃近況.....二六
- 香港航外船活躍.....二六
- 歐航運賃値上.....二七
- 遠洋航路繁忙.....二七

□對佛傭船成約

二七

□三驛發著主要貨物情勢(六月中)

二七

□青島港出入船舶細別表

二九

□大正六年、大正六、七年山鐵貨物比較

三四

金

融

□銀塊並に爲替相場(六月中)

三七

主要貿易品概況

(六月中)

□綿絲布 □砂糖 □燐寸 □米 □紙卷煙草 □石油 □紙類 □落花生實 □落花生油 □豆油 □棉花
□麥稈眞田 □石炭 □牛肉牛皮 □桐材 □鹽 □小麥

青島雜錄

(六月中)

□生魚水揚高(五月中) □魚市場成績(五月上中旬) □許可方針決定 □前年度輸出鹽 □鹽相場の變動 □
鹽暴騰の原因 □落花生輸送激増 □牛肉輸送激増 □生牛輸送將來 □乳牛移轉遲延 □生牛輸送列車 □生
牛輸送數 □小麥輸出數量 □小麥受戻困難 □小麥輸送減少 □麥作四分見當 □蠶繭取引終る □博山炭
輸出數量 □管内裁判制度 □歸還苦力輸送數 □建築物と空地 □郵便爲替貯金 □空罐箱材需給 □貯水
池竣成期 □内外綿の擴張 □石油輸入漸増 □貸下地轉賣時價 □埠頭倉庫業況 □食料品の暴騰 □鑽石
輸送數量 □兩石油倉庫移轉 □日本人課稅實施近し □青島銀行成立 □早川署長記者招待會 □人事六月中

法規

□電話通話規則

四八

倫敦銀塊相場

□六月中表示

五一

寄贈書類

□六月中到著の分

五一

青島實業協會月報 第拾九號

協會錄事

臨時總會

大正八年六月十七日午後七時市民會内に開會

出席會員

(順序不定)

橫濱正金銀行支店

吉澤洋行

梶野洋行

中村組支店

東亞煙草販賣所

鈴木商店出張所

山田出張所

東和公司支店

三菱商事出張員

安部洋行

朝鮮銀行支店

伊藤忠商事會社

三井物產出張所

山東興業株式會社

大連汽船出張所

南滿鐵埠頭出張所

茂木合名會社出張所

日本郵船出張事務所

湯淺貿易會社出張所

和盛公司

峯村洋行

福昌公司出張所

神戸棧橋會社派出所

岩城商會支店

大倉商事會社出張所

青島製粉會社

泰利商會

新利洋行

大日本麥酒會社

内外棉會社出張所

山東運輸株式會社

日華協信公司支店

以上三十二名、太田會頭議長席より開會を宣告、常世氏より重要物產組合問題の件報告を最初とせられんことを發言せしも議

長よりコハ重要問題の報告に付出席通告者中猶四五名揃はざるに付夫れ迄待たれんことを以てし直に

一、新規則の字句修正及條項削除に關し承認の件

を飯塚副會頭より指示報告し滿場の承認を終り引續き之と密接の關係ある

二、第拾壹條中「過半数」を「三分の二以上」に改正の件

を提議し前同様滿場一致可決

此の時出席通告者夫々著席あり

三、重要物產組合問題に付民政要路訪問の件

報告に移り金子慶治氏より詳細の報告あり

四、各部所屬員に關する件

は先づ各員より所屬申出を受け次で理事の員數及理事は共通し得るや否やに就き討議あり、理事の員數に就ては結局重要物產部五名、綿花絲布部三名、工業部三名、運輸部三名、調査部五名として理事は各部共通を許さることに決定、直に重要物產部より逐次理事の選舉を行ひ終て更に部長の互選を行ひ確定せり、此の間

五、内外貿易株式會社入會の件

に就き例に例り黑白球を以て賛否の表示を致したる所出席員三分の二以上の承認賛成あり即ち入會に決す

六、附屬運動部規則に關する件

は原案に維持會員名譽會員とあるを名譽會員の一項に纏め會費を銀參圓とすることに修正其他字句の修正等を行ひ之にて議事を終り太田會頭より各員多數御出席長時間慎重御審議ありたるは協會の爲め誠に慶賀に堪へず今後猶は一層御奮勵あらんことを望むと述べ滿場拍手を以て之に應へ午後十一時散會せり

重要物產部會

重要物產部會は六月二十五日午後四時市民會内に開會出席部員左の如し(順序不定)

吉澤洋行 中村組支店

山田出張所 東和公司支店

湯淺貿易會社 三菱商事會社

福昌公司 鈴木商店

三井物產會社 青島製粉會社

泰利商會 新利洋行

茂木公司 内外貿易會社

以上十四名(缺席二名)部長金子慶治氏議長席に著き協會新入會者にして新に當部に所屬されたる内外貿易株式會社青島出張所代表者松田琢海氏を紹介し松田氏の挨拶あり次に過日本部の定款草案を民政部に提出し置きたる所今回各條修正の上回附あり就ては本日更に本部定款に就き逐條審議する所あらんとすと述べ直に逐條審議に移り第三條及第四條、第五條、第六條の各條文中字句の修正等を行ひ本部の定款を可決、之より協議事項に入り左記各項を議決せり

一、重要物產賣買契約書を作製すること

右は各地の實情及ファームを研究の上實行することに決定

一、重要物產現物受渡の方法を一定すること

右は現に取引上不便を感じつゝある次第なれば至急研究の上一定することに決定

一、重要物產の對支那人取引斤量は擔斤に一定すること

右は當地の商狀に鑑み此の際斤量を一定し置くの必要ありとし擔斤を以て取引することに決定

一、重要物產ブローカーに關する件

右は各委員間諸説あり審議の結果至急研究することに決定以上議事を終り午後六時散會せり

役員會

大正八年六月二十八日午後四時市民會内に開會

出席役員

太田保一郎 金子慶治 淵田太郎(代)

石橋藤次郎 常世克己 小林乃

峯村正三 河原熊太郎 古賀茂登吉

林田勇 佐々木國藏 田邊郁太郎

松本文三郎 副島高市 空閑知鷺治(代)

西村義郎

太田會頭議長席に著き重要物產部定款の件外八件を議了し午後六時三十分散會せり

七月定例總會

七月定例總會は十日午後六時半市民會内に開會出席者左の如し(順序不定)

橫濱正金銀行支店 吉澤洋行

梶野洋行 中村組支店

東亞煙草會社販賣所 鈴木商店出張所

山田出張所 日本綿花出張所

原田汽船會社支店 三菱商事出張員

安部幸兵衛出張店

朝鮮銀行支店

江商會社支店

伊藤忠商事支店

三井物産會社出張所

山東興業株式會社

大連汽船會社出張所

南滿鐵埠頭出張所

茂木合名會社出張所

日本郵船出張事務所

湯淺貿易會社出張所

峯村洋行

福昌公司出張所

東洋鹽業會社支店

岩城商會支店

大倉商事會社出張所

青島製粉會社支店

泰利商會

新利洋行

大日本麥酒會社出張所

内外綿會社出張所

南昌洋行出張所

内外貿易會社出張所

以上三十三名(出席通告三十七名中)にして晚餐後議事に入る

第一、大正八年上半期事務報告及會計報告の件

別紙事務報告書配附、吉見書記長より會計收支の主なる點及現在銀行預金額等を報告する所あり

第二、新入會員内外貿易株式會社代表者異動紹介の件

右内外貿易會社出張所は六月入會當初松田琢海氏之が代表者たりしも同氏大連に轉勤新に河上律一氏代表者として今夕出席あり會頭より滿場に紹介し河上氏の挨拶あり

第三、役員會報告事項

大正八年六月二十八日午後四時市民會内に開かれたる役員會の顛末に就き太田會頭より報告あり特に工業部に關する件に就ては石橋工業部長より報告あり

第四、工業部に關する件

右は工業組合員にして未だ協會員にあらざるものゝ處分問題を

主とせるものなるが工業組合解散の場合全部協會に入會し得るや否やに就き議論ありされど結局一括して入會を承認するの可否を黑白球にて決したるに出席三十三名中可とするもの三十(白)否とするもの三(黒)を表示し一括入會承認に決定せり

第五、重要物産部に關する件

金子部長より報告定款中の第四條第五項に關し議論出て仲裁規定存置可否説等ありたるも結局該定款承認可決

第六、運輸部に關する件

運輸部定款原案通り可決

第七、綿花絲布部に關する件

綿花絲布部定款に就き林出理事より少言、會員中より該定款中字句の修正及細則中の「緣絲内外」の解釋問題出て所論沸騰したるも原案の「緣絲以内」とあるは所謂緣絲の部分に屬し該緣絲の箇所に於ける疵は之を辨償せずとの意なりと理事の明示あり猶全文中字句の修正を行ふことゝし可決

第八、調査部に關する件

調査部に在りては當日午後五時半總會に先ち調査部理事會を開き常世部長、原、西村、副島の各理事(空閑理事欠席)出席調査部定疑に就き協議したるか原案成りたるを以て總會中調査部會を開き該定款の討議を爲し原案中目的の箇條字句修正說出て多少の應答あり後ち採決の結果修正説多數即ち修正することゝなり餘は一寫千里通過し直に之を總會に提出總會に於て原案を可決す

第九、排日風潮に關し外務大臣宛報告書の件

本件は最も重大なる問題なるを以て排日の實情材料は既提出以外今夕更に各員より御話を乞ふ旨會頭より促したるに淵田、石

橋、松本及太田會頭より材料出てたるか本件は前回に委任せられたる通り各部長に於て起草協會の名を以て提出のことに決定せり

第十、鹽業問題と青島居留地研究の件

當初調査部理事として原辰治氏の鹽業者間目下青島專管居留地と鹽田等に關し外務大臣に陳情書を提出すべく研究中の由なるがコハ青島貿易發展上至大の關係あるを以て當協會に於ても考慮しては如何との提議あり爾後議論の進むに従ひ青島に於ける居留地問題は更に研究するの價值ありとなし更に日を新めて會合討議講究するに決定即ち十三日(日曜)午前八時市民會内に於て臨時總會を開き本件を協議することなれり

以上議事日程を終り最後に次回例會をグランドホテルに於て開くことに申合せ午後十一時十五分散會せり

調査回答事項 (大正八年上半期中)

一、大正六年及同七年中山東特産品輸出統計の件

神戸 山口光太郎商店宛

一、青島に於ける東京品的情況の件

東京 東京府産業調査係宛

一、小麥賣買商況の件

青島 守備軍民政部宛

一、青島商工人名錄の件

大阪 高橋商店宛

一、ハルビン及新嘉坡商品陳列館の件

青島 勸業係宛

一、青島に於ける米糖取扱業者に關する件

一、建築用陶器類販賣業に關する件
東京 藤井商店宛

一、家畜加工品の休

小樽 池内商店宛

一、青島重要物産統計表の件

青島 民政署宛

一、青島貿易統計表の件

大連 古河商事出張員宛

一、青島に於ける石版及活版業者

大阪 商業商議所宛

一、青島に於ける三味線張替業者

元山 森川商店宛

一、青島に於ける鹽價及當業者の件

大連 木梨幹宛

一、卵粉業者の件

小樽 池内成長宛

一、電氣使用料其他に關する件

大連 商業會議所宛

一、落花生取扱業者

大阪 商業會議所宛

一、牛脂に關する件

上海 森村公司宛

一、石鹼に關する件

濟南 實業協會宛

一、青島に於ける鐵材商の件

一、青島に於ける織物業者に關する件	大阪	アサヒ商會宛
一、藥種商及病院に關する件	大連	三信洋行宛
一、青島に於ける雜貨商の件	大連	大成洋行宛
一、青島に於ける綿絲布の件	大阪	能勢商店宛
一、青島に於ける勞働者の件	濟南	實業協會宛
一、農業其他の產業に關する件	臺北	商工會宛
一、青島輸出獸骨に關する件	大連	滿鐵調查課宛
一、晒粉、苛性曹達外四件調査の件	青島	竹内和彦宛
一、青島に於ける小麥相場の件	大阪	南海晒粉株式會社宛
一、切込炭價の件	朝鮮	若林茂商店宛
一、牛骨取扱店の件	大連	商業會議所宛
一、麻糸及麻袋取扱店	下の關	黒川商店宛
一、石鹼其他に關する件	大阪	濱崎商店出張所宛

資料

青島の鹽

▽緒言 日本内地に於ける鹽の需要額は近年に至りて驚くべき増加率を示し來り政府は極力產鹽の増加を計ると共に各植民地鹽の輸入を慫慂し以て需給の緩和と價格の調節を計り大に各種企業の獎勵發展に資せんとせり元來内地鹽の年產額は八億九千萬斤より十億萬斤見當にして大藏省の平年作として豫定する所は九億五千萬斤なるが今其需給關係を見るに大正六年度迄は全需要に對する三分の二を自給し得て不足を臺灣、關東州及青島鹽の輸入により補充せらるゝ狀態に在りしが歐洲大戰の齎せる各種企業勃興と共に曹達工業の發展著しく工業用原料鹽の莫大なる需要を喚起し加ふるに従來主として英獨兩國より供給を受け居たる露領方面の鹽業者が其供給の途を失ひたる結果全部我邦より供給を受けることとなりたるを日用消費量増大せる結果大正七年度に於ては十六億斤の必需額に對し僅に七八億斤の自給を爲せるに止まり結局約半額の不足を生じたり此の不足を補ふべきは差當り關東州二億斤、臺灣一億五千萬斤、青島二億斤合計五億五千萬斤を數へ得るとするも尙充分ならず依て專賣局に於ては更に供給餘力ありと認むる植民地鹽に向つて大に納

入命令を發し應急策を講ずると共に一般鹽價の引上を行ひ工業用鹽に對しても十月三十日以來五割の値上げを斷行し原料鹽の減價直接輸入を許可せるも之が爲め曹達工業の蒙むりたる打撃は豫想以上に於て工業用鹽供給問題は一時期化學工業界に於ける重要問題たるに至れり如斯昨年以前に於ける本邦產鹽額は炭價の暴騰と天候不良の爲め產額激減前年に比し約一億三四千萬斤の減少を來したる上需要の激増に遇ひ各植民地鹽に向つて寧ろ適當の供給力を當にしたる結果自然鹽價の暴騰を招致し獨り工業界と云はず漁業界と云はず消費者は悉く不測の打撃を蒙むるに至りたるが就中曹達工業の如き原料鹽の價格如何は直に事業の盛衰を卜するに足り約四割の休業者を出すに至れり而して本邦の鹽需額が漸次増加の傾向あるは察するに難からざる所大正十年度以降に於ける需要鹽は恐らく二十億斤以上に上るべしとは六七兩年度に於ける増加率より推せる數字なるが現在の狀態にして大なる變動を來さざる限り毎年の需要額は十四億を以て足れりとするも昨年の減收により苦き經驗を嘗めたる政府は是非共七八億萬斤の豫備貯蓄を必要なりとし其準備中なるを以て茲三四年間は十六億斤以上の所要額を算し得べし今假りに本年度の内地自給高を最大限度の十億斤と見積り之に臺灣、關東州、青島の五億五千萬斤を加ふるも尙五千萬斤以上の不足を生ずるは明にして此不足補給の方法として既に安南、英國鹽及海州鹽の輸入契約整へるを報するあるも高價なる外鹽の輸入は一時的急を救ふべしとするも永久の策に非ずとなさる

▽本邦製鹽業 日本に於ける製鹽額は別表に示すが如く年々減少の傾向を辿り其製造業者及元賣捌人も亦年々減少しつつあり而して其元賣捌人激減の如きは事業の反面を語るものにし

て政府は百万之が挽回の策を講じ種々なる特點を與へて保護獎勵に努め幾度か賠償價格を引上るに至りたるも炭價の暴騰と生産費の増加とは益斯業の不利を誘致し殊に昨年の如きは最盛收獲時期に於て降雨切りに打續き生産地附近に於ける暴風雨の被害尠なからざりし爲產鹽額に大違算を生じ未曾有の鹽不足に苦しめらるゝに至れり然れども一朝炭價下落の曉に至らば元より現在の狀態に止まらざる可しと雖ども將來臺灣、關東州、青島の如き安價なる天日製鹽に對抗し何時迄も從來の狀態を維持し得るや否やは問題なり殊に其鹽田は炭價の暴騰以前と雖ども尙僅かに專賣制の保護により漸く荒廢を免れ居たる有様なれば將來各植民地鹽の増收により幾分需給緩和せられ或は衰頽の度を早くするに至るなきを保せず今内地に於ける鹽田一町步當りの收支概算を示さん大正二年に於ては三百三十八圓の利益を計上し得たるも同四年に至りては生産費の膨脹により百四十一圓の損失を來し六年に於ては賠償價格の引上により辛ふじて八十七圓の利益を收め得たり之即ち内地鹽の生産費の輕重は主として人夫賃及石炭代の高低により支配せらるゝものにして大正四六年は大正二年に比し兩者共約二倍の暴騰を爲せし結果なること別表の示す所により明なりされば政府は其救濟方法として賠償價格の引上を必要とし大正五年八月以來八回の引上を行ひたるを以て現行賠償價格は其改正以前に比すれば實に二倍半の騰貴を示せり

内地鹽生産高表 (單位千斤)	
年次	鹽田製鹽
大正元年	10,116,000
同 二年	10,500,000
同 三年	10,000,000
海水直煮製鹽	
年次	副產鹽
大正元年	10,400,000
同 二年	11,100,000
同 三年	10,800,000
計	
大正元年	20,516,000
同 二年	21,600,000
同 三年	20,800,000

同 四年	九三三三	一〇五五	二五三	九五七六八
同 五年	一〇〇三三	九七〇	四二六	一〇四一五
同 六年	九八六二	七八〇	七〇七	一〇三〇九

内地鹽田一町歩當收支比較表

費 目	大正二年	大正四年	大正六年
人 夫 賃	四五〇	八〇六	八一四
石 炭 代	三六五	七一九	六〇五
人繩代其他	一五五	三〇四	二七〇
營業費	九七〇	一、八二九	一、六八九
支出合計	一、三〇八	一、六八八	一、七七六
收入合計	(益) 三三八 (損) 一四一 (益) 八七		

内地鹽賠償價格異動表

施行 日	一等鹽鹽分 九割以上	二等鹽八割 五分以上	三等鹽八割 割以上	四等鹽七割 五分以上	五等鹽七割 割以上
大正元年一月	一・四五	一・三二	一・二〇	一・〇九	〇・九九
同 五年八月	一・四七	一・三四	一・二二	一・一一	一・〇一
同 六年一月	一・五七	一・四四	一・三二	一・二一	一・一一
同 六年四月	一・六九	一・五六	一・四四	一・三三	一・二三
同 六年七月	一・八九	一・七六	一・六四	一・五三	一・四三
同 六年十月	二・一七	二・〇四	一・九二	一・八一	一・七一
同 七年四月	二・七二	二・四九	二・三〇	二・一四	二・〇〇
同 七年九月	二・九七	二・七四	二・五五	二・三九	二・二五
同 八年一月	三・二一	二・九八	二・七九	二・六三	二・四九

制せられ充分の輸送を爲す能はざりし爲め一時内地は未曾有の鹽不足に苦しめられ將に發展の機運に向ひつゝ有し曹達工業を壓迫萎縮せしむるに至れりされど安價にして豊富なる原料鹽の供給を得るに於ては本年の内地需要額が十八億斤を超過すべしとは何人も齊しく豫想せし所なるも鹽價の暴騰と製品の暴落とは益斯業の不振を招致し原料鹽需要額も昨年比すれば約四割の減退を來せるの實情に在りされど本年勸察加並に沿海州漁業の盛況は是等の衰退を補つて餘あれば本年の需要額は昨年とは同一の状態に在りと觀測せらる我國に於ける曹達工業は歐洲戰亂の爲外國製品輸入の途杜絶せる結果自給の途を講ぜざる可からざる事となり茲に同工業の勃興を促し爾來順調の發展を遂げ來りたるも之が原料鹽の供給狀態と價格の如何は直に事業盛衰の岐るゝ所にして從來百斤九十錢にて供給せられたる原料鹽も六年十月政府賣價の引上と共に一躍一圓三十五錢に改正せられたるを以て従前に比し五割高の原料を使用せしめられたる各工業者側は尠なからぬ打撃を受けたるも當時の製品價格は尙四十圓臺を保ち居れる爲辛うじて頽勢を維持し得たるが大戰の終熄と共に外國品の安價輸入を見越し暴落に亞ぐに暴落を以てし遂に十八圓(最近十圓五十錢)を唱ふるに至り採算遂に引合はず折角發展の機運に向ひたる同事業も茲に一頓挫を來すの止むなきに至れり茲に於てか政府は同事業の頽勢を挽回せんとして臺關鹽に代るに青島鹽の直接輸入を許容し只管安價なる原料鹽の供給に腐心せるも昨年比の如き船腹の不足と運賃の暴騰に防げられ遂に良好なる効果を收むる能はざりしが其後青島鹽價も漸次昂騰特に年度末に至り政府納入終期の逼迫と共に市場愈々品拂底を告げ朝鮮内地も鹽不足の爲青島市場に向つて買注文を發

したれば遽かに暴騰噸銀十三圓と未曾有の高値を現はし益工業界の前途に暗影を投じたるの觀を呈せり從來我國に於て使用せし曹達は悉く英國ブランド會社の製品にして同社は二十七億の巨資を擁して豪氣世界に雄飛し其製品の安價なる到底他の窺ふを容さず將來同社と競争し得るものは只亞弗利加に産し殆んど無限の供給力を有すとせられたる天然曹達あるのみと迄に許容せらるゝの勢力を有せるを以て見るも日本の曹達工業が此大敵を撃退し自給の途を講ずるは蓋し容易の業に非ず尠くも百斤四十錢の原料鹽を得ざるべからず此要求は昨年の如き未曾有の鹽不足に遭遇し創傷未だ癒へざる内地及び之に關聯する製鹽界に望むべくもあらず尙數年間は現狀維持の外無かるべしと觀測せらる然れど我工業界に要する曹達の自給を完成するは幾多の意味に於て必要なるのみならず同時に製鹽事業の發展を幫助するに至るべし

更に一轉して水産界を見るに世界的食糧問題の要求は其多くを水産物に求むるの時機に到達し天恵の水産國たる我國は大いに力を此方面に灑ぎ豊富なる水産物の輸出を企圖獎勵せざる可からざる地位に立てり既に昨年沿海州近海漁業權擴張せられたる爲本年度より約一億圓内外の漁獲を増加するに至るべきは諸般の事情に徴して明なるが一方勘察加方面に於ける漁業用鹽の消費量は從來一億二三千萬斤見當なりしが之亦更に一億圓内外の漁獲高を増加せるに對し之に要する漁業用鹽の需要増加を來すべきにより水産獎勵の上より見るも此際充分供給増加の方法を講じ其潤澤により漁業の收益を増進せしむるは吃緊の事なるべし

△輸移入鹽 每年我國に於ける鹽の不足額は別表輸移入鹽の示

すが如く一億八千萬斤見當にして臺關鹽の輸移入に依り補充せられたりしが大正六年に於ては曹達工業の勃興により遽に三億八千萬斤に増加し同七年に至り更に六七億の不足を告ぐるに至れり茲に於てか政府は限りある臺關鹽を以てしては到底此莫大なる不足を補給し能はざるを知り更に青島鹽の豊富なる供給力に著眼し三植民地鹽の輸移入計畫を立つるに至りたるも六年末より七年に亘り船腹の不足と運賃の暴騰に制せられ充分其目的を達する能はざりしが國內の事情漸く急を告げんとするに當り支那鹽及安南鹽に向つて輸出の交渉を開始せるも何れも價格の點に於て纏まらず焦慮せる際一方近海の船線順調となり多少船腹の餘裕を得るに至りたるを以て極力臺灣、關東州、青島鹽の輸移入に全力を傾注し支那及び安南鹽に對する交渉は一時之を打切るに至れり然れど三植民地鹽の供給力は自ら限りありて各地方消費を控除するとき臺灣一億五千萬斤關東州二億斤青島二億斤計五億五千萬斤を出す尙二億餘萬斤の不足を生ずるものあり而も内地需要は逐年増加の趨勢に在るを以て豫め之が補給の方法を講ずるは最も緊要の事なるべく茲に原鹽供給の如何を以て生命とせる工業、漁業の立場より主として之が用途に仕向けられつゝある臺關鹽を紹介し進んで青島鹽の實況を説明せんとす今大正元年以來の各種鹽輸移入狀況を示せば

日本に於ける各種鹽輸移入高表 (單位千斤)

年次	英國	米國	獨逸	關東州	青島	臺灣	朝鮮	計
元年	七	一	一	一	一	一	一	六、六六七
二年	三	一	二	一	一	一	一	六、〇〇七
三年	三	一	一	一	一	一	一	六、九六六
四年	二	一	一	一	一	一	一	六、九六六
五年	六	一	一	一	一	一	一	六、八六〇

六年 二三 一、八三三 一、七〇三九 六、六六七 一四、八五二 五四七 三、六三二
 七年(七月迄) 三 三、六 一、六七〇 四、四三二 六、〇〇三 一、六九五

備考 大正七年中青島鹽內地輸入高三三三、四八六千斤
 輸移入鹽特別定價表

施行日	臺灣鹽		關東州鹽		歐米鹽		青島鹽	
	上等	並等	上等	並等	粗製	製	並	等
四年一月	七二	六七	六七	六四	三、三〇			
六年四月	九二	八七	八七	八四	三、三〇			
同 六月	九九	九四	九四	九一	三、三〇			
同 十月	一、四四一	一、三九一	一、三九一	一、三六	三、三〇		一、三六	
七年四月	一、五三一	一、四五一	一、四七一	一、四五	三、三〇		一、四五	
同 十一月	一、六八一	一、六〇一	一、六二一	一、六〇	三、三〇		一、六〇	
同 十二月	一、六九一	一、六四一	一、六四一	一、六一	三、三〇		一、六一	

備考 本表は工業漁業農業用鹽の特別定價にして臺灣青鹽の包裝鹽に付ては上
 記金額に金二十三錢を加ふるものとす

△朝鮮に於ける需給状態 現在朝鮮内地の需要年額は約四億萬
 斤と稱へられつゝあるが北韓地方に於ける漁類の鹽造盛んにし
 て加ふるに鮮人は一體に鹽漬を愛好するを以て其方面に費消せ
 らるゝもの亦年々尠なからざる數に上り居れるも其鹽産額は僅
 かに一億五千萬斤内外に過ぎずして毎年三億五千萬斤の補給を受
 けつゝあるの實情に在り而して其内一億萬斤は日本内地より五
 千萬斤は關東州より五千萬斤は青島よりの輸移入により補充せ
 らるゝも尙五千萬斤の不足を生じ此不足は數十年來の慣習に
 より山東角威海衛及石島一帶の地より供給せられつゝあり山東
 は由來繞角の地にして陸に産無く支那政府は海鹽を以て生民救
 濟の一助ならしめんとし民運民銷を許可せるに始まり對岸仁川
 どの交通最も容易なるより毎年朝鮮の不足を補給するの關係を
 結び青島の如きは寧ろ此補充を爲すに過ぎざりしが釜山地方に

於ける再製鹽業盛んなるに伴れ此方面への輸出は他地方に比す
 れば青島が最も近距離なるより毎年青島より朝鮮に仕向けらる
 〃總額の三分の二迄は釜山に廻送せらるゝこと後掲青島鹽輸移
 出表の示す所により明なり目下朝鮮總督府に於ては其自給策に
 就き腐心しつゝありと雖も急激なる産額の増加は到底望み得
 べからず左すれば尙當分は從來の状態に在るものと見て可なる
 べし而して青島としては地理的關係上仁川を從來の如く關東州
 及山東角の輸出鹽に委し主として釜山に輸出するを有利とする
 も山東角よりの輸出鹽に對しては支那政府が數年來の懸案たり
 し鹽制の斷行により多少の減退を來すことゝもならば將來之に
 代つて補給の地位に立つべきは差當り青島鹽を除き他に求むべ
 からざるにより青島鹽の朝鮮輸出は漸次其數を増加するに至る
 とも減退するが如き事斷じて無かるべしと觀測せらる

△臺灣鹽 現在臺灣の總鹽産額は二億斤にして内五千萬斤は地
 方の需要に充當せられ一億五千萬斤の輸出能力を有せり其品質
 稍劣等にして内地の食料消費としては不適當と認めらるゝも天
 日製なるにより極めて低廉なる生産費を以て足り其再製鹽は内
 地の四等鹽に相當し上等鹽は四等以上に及べるあり工業用並に
 醬油味噌漁業用鹽として毫も差支を見ず依て本邦政府は盛んに
 之を移入し加工して食料鹽と爲さんとする計畫ありと聞く然
 れば臺灣當局に於ても益前途の有望なるに鑑み鹽出の擴張に努
 め八年度に於て三百甲(一甲は約八反歩)九年度に於て百五十甲
 の増設計畫を立て益移出の増加と工業の獎勵に努力すべしと最
 近打拘に創立せられたる阿爾加里工業は現在僅かに二百萬斤の
 消化を爲すに止まるも同工業は將來大に勃興すべき曹達工業の
 先驅を爲すものにして將來は裕に一千萬斤を消化するに至るべ

しと故に當局は斯業に對する保護獎勵の意味により昨年十二月賣價改正に際しても之を其範圍外に置き依然百斤二十四錢三厘の低價を以て賣渡しつゝあり而して同地方の工業の勃興は同時に移出能力を減殺せしむるものなるが聞く所によれば總督府は十年計畫の下に安平地方に於て約三千町歩の鹽田開墾を規畫しつゝあるを以て十年後に於ては裕に六億萬斤の年産額を得るに至るべしと云ふ

臺灣鹽賣下價格表 (七年十二月改正)

用途	種別	改正前		改正(現在)		増加
		再	上	下	上	
一般用途	再	二七九〇	二二〇〇	一九七〇	二二〇〇	〇・二一〇
	上	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	〇・一〇〇
特別用途	再	二七九〇	二二〇〇	一九七〇	二二〇〇	〇・二一〇
	上	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	〇・一〇〇
アルカリ工業	再	二七九〇	二二〇〇	一九七〇	二二〇〇	〇・二一〇
	上	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	〇・一〇〇

△關東州鹽 關東州は臺灣及青島と共に天日製鹽の產地として知られ毎年日本内地及朝鮮の產鹽不足に向つて補給の地位に立てり殊に昨年本邦產鹽激減に際し臺青鹽と共に極力之が補給に努め漸く焦眉の急を救ふことを得たるは已に洽く知る所たり其年産額は平年約二億五六千萬斤を稱へらるゝが内一億五六千萬斤は専ら大日本鹽業會社の所有鹽田より殘餘の一億餘萬斤は支那人所有鹽田より產出せらるゝものにして毎年五六千萬斤内外の地方消費を除く外は悉く内地及朝鮮鹽補給の途に充てられつゝあること前述の如し今其の產鹽地の狀況を見るに鹽田の構造製鹽作業等は膠州灣鹽と同一なるも春季製鹽時期に於て北方の強風絶えず寒氣嚴敷して製鹽作業の容易ならざること膠州灣の

比に非らずと雖ども風勢迅き爲乾燥を容易ならしむるの特長あり產鹽能率の上より見るに膠州灣鹽と大差無きが如し而して其鹽田は各地方に散在し居れるを以て產地直接積取の便法設けられ輸移出上青島に比し毫も不便を感ずることなしされど青島鹽の將來あるに反し鹽田適地の殆んど全部は開墾し盡され居るを以て新設の餘裕なく從て產鹽額の如きも到底今日以上を望むべからざるが如し

△青島鹽 青島鹽の内地輸出を開始せるは大正六年後半期以後の事にして其以前は主として朝鮮香港の二方面に向つて毎年七八千萬斤の輸移出を爲し其内三分の二は仁川釜山を通じて朝鮮に仕向けらるゝの實情に在りしか六年後半期に入りてより俄かに日本内地の需要起り同七年に於て稀有の鹽不足に苦しめられたる日本政府は各植民地鹽に向つて極力輸入補充の途を講じたる結果青島よりも二億五千餘萬斤の輸出を爲すに至れるが從來の關係より朝鮮地方への輸出も亦六千九百餘萬斤に上り計三億三千餘萬斤の輸出を見るに至れり現在膠州灣鹽の年産額は其年の好惡により大差を生ずること勿論なるが鹽田面積等より推測するに平年作に於ては二億五千萬斤見當を普通とするも充分に其製鹽能力を發揮するに於ては優に之を二億七八千萬斤に増加する事を得べしと云ふ而して本年中新たに開設せらるべき豫定鹽田面積一千餘町歩を加ふるときは約三億五千萬斤の年産額を得ることとなり地方消費量として二千萬斤を差引くも三億三千万斤の輸移出能力を生ずべし然りと雖ども昨年の如きは未だ其域に達せずして克く三億の輸出を爲し年産鹽額に對し約七八千萬斤の過超を示せるは金家口方面の山東鹽にして特種契約により青島鹽として積出されたるもの多きにより前述の如く昨年

至り内地鹽不足の聲に驚かされ事實上灣鹽の有利なる證明を得たる上昨七年に於ける内地鹽の減收と鹽不足とは再び之に裏書を爲し鹽業發展の機運を促進せしむるに至れり間もなく歐洲休戰の報に次て講和成立確實となり各製業鹽者も始めて安心して巨資を鹽田開設に投じ得るに至れるより邦人經營の鹽田は忽ち急足の發達を遂げ著手日尙淺きに拘らず約五百町歩の關設を見るに至れり左れば灣内の鹽田適地は悉く開設許可濟となり些かも餘す所無き狀態なるに拘らず尙開設を願出づる者續出し當局者は其煩に堪へざるものゝ如し今其開設許可を得たる面積及氏名を擧ぐれば

灣内鹽田開設許可面積及氏名 (大正八年六月一日)

許可人名	所在	面積
東洋鹽業會社	陰島東	六四五町歩
同	同中	三二一
同	同西	一、八七一
青島鹽業會社	南萬	五五六
大日本鹽業會社	海庄	六八二
膠州鹽業會社	薛家島	七〇一
同	濠北頭	二一四
山東鹽業會社(創立中)	東港地先	五〇六
鹽川貞夫	紅石崖	三九〇
井上源太外一名	女姑口地先	一三一
同	塔埠頭	五六四
磯村合名會社	陰島東	一一三
南昌洋行(齋藤茂一郎)		一〇七
渡邊陽吉		一九六

石橋義雄

計

七、一〇二 九八

右の如く膠州灣の製鹽事業は四邊の事情に迫られて近年急足の發展を爲し尙需要の増加と共に益隆盛を來さんとするものあるを以て今日以後に於ては更に大に見るべきものあるを疑はず今茲に少しく膠州灣製鹽事業の經濟狀態に就て述べんに由來山東は繞角の地なるにも拘らず人口夥多貧民夥しく苦力の產地として有名なる土地にして勞銀の低廉なること他に其比を見ず從て鹽田築造費及產鹽費も頗る僅少なる經費を以て辨じ得るは膠州灣製鹽事業が他に比し有利なる所以にして將來多大の望みを囑する所たり鹽田築造費は土地の狀況により大差ある事勿論にして其大部分は堤防の築造に要するものなることは一般須知の事なり然るに灣内一帶緻密なる粘土質を以て蔽はるゝにより其築造工事は極めて容易にして費用も亦頗る低廉なる事他に其比を見ず今灣内一副當鹽田築造費を示せば

銀二百五十圓

堤防費を要せざる個所

銀三百圓

多少堤防設備を要する個所

銀七百圓：八百圓

灣内に於ける大規模鹽田にして防波堤

其他特種設備を要するもの

右の三種に分つことを得べし而して其生産費細目及產鹽相場は左表の如し

青島鹽生産費

大正六年度 百斤當 〔金七錢二厘 銀六錢〕

(一圓二十錢替)

大正七年度 百斤當 〔金十五錢二厘一毛 銀十錢一厘五毛〕

(一圓五十錢替)

七年度生産費內譯(百斤當)

勞 銀 金十一錢一厘九 銀七錢四厘六

鹽田修理費 一厘六 一厘一

製鹽器具補修費 三厘三 二厘二

鹽蓋費 四厘 二厘七

鹽田使用稅 三厘三 二厘三

固定資本利子 一錢六厘五 一錢一厘〇

流動資本利子 一厘〇 〇厘七

製鹽器具機械消却費 三厘九 二厘六

其他雜費 六厘六 四厘四

計 十五錢二厘一 十錢一厘五

青島鹽標準相場

大正四年 金 百斤當 一・七五 銀 二・七五

同 五年 金 二四六 銀 三・五〇

同 六年 金 三〇〇 銀 四・三〇

同 七年 金 三八二五 銀 六・二〇

同 八年(五月現在) 金 五九〇 銀 六・二〇

鹽の年産額は其年の天候により大差を生ずること勿論にして殊に當地製鹽業者の多くは農業を兼ねるを以て秋期農作物收納時期に於ては一時製鹽を休止すること珍らしからず一副斗子の鹽産額も土地の情況と諸般の事情とにより大は三十萬斤より小は十萬斤の收穫さへ覺策なきものあり殊に一般土人は統計的智識を缺き居るを以て正確なる數字は之を得難きも既設鹽田に就きて考ふるに平年作に於て約二億五千萬斤を普通とするも未だ製鹽能力を極度に發揮したるものに非ず尙努力によりて大に其産額を増加し得べきは明なり尙從來支那人の製鹽方法は幼稚なるものにして幾多改良の餘地あり之等の缺點を除去し少し

く改善を加ふるに於ては一副鹽田の製産額を二十四五萬斤に増加するは容易にして現在の鹽田を以て裕に三億萬斤の年産額を得るは難事に非ざるべし

△膠洲灣の鹽田 前述の如く灣内の干潟地は面積極めて廣く廣表三萬餘町歩を有し此半數以上は鹽田の適地として認めらるゝものなるが地勢上より之を大別して南部鹽場及北部鹽場の二に分つことを得べし而して既設鹽田は南部南萬、下崖地方を中心として開拓せられ北部は僅かに紅石崖、小石頭の百五十町歩を數ふるに過ぎざるは南部は濬筋多く製鹽搬出の便あるが爲にして北部と雖ども既に大日本鹽業及佐藤保孝氏等の大規模鹽場として設計せられ已に許可濟となり居るを以て遠からず一大鹽場を現出するに至るべし

現今最も旺盛を極めつゝある南萬下崖地方の鹽田に就て見るに多くは資力豊富ならざる土著支那人の經營に屬し是等は三四人共同出資の下に一鹽灘を開きて農業と製鹽とを兼營し始んど專業者と見るべきものなし故に農繁期に於ては一時製鹽を休止する事も珍らしからず此地方一帯は大正三年夏季稀有の水害により鹽田の多くを破壊せられたるが一昨年末頃より灣鹽の輸出益好望となれるにより急に修理を急ぎ昨七年にかけ其大部分を復舊せしめたり而して此地方に於て一鹽灘と稱するは海水を導入し之を貯溜する潮溝及鹽分を結晶せしむる小池堤防畦畔鹽夫小屋等より成る一區域を指すものにして小は一副斗子より大は十副斗子を包有するものあり一副斗子とは本邦に於て鹽田一戸別と稱するに均しく其面積は各鹽田により多少の相違あるも大體に於て一定し長百八十間内外幅三十間内外にして面積一町八反より二町二反歩を有するを普通とす今灣内各鹽産地の鹽田面積

副
數

三七 一一 六 六三 七四 一三七 八六 六〇 九八 一二 六七 五二 二八 八五 一〇 二一 一〇 五一 二八 三 七九 八六〇

は大正六年後半期以後の事に屬し其以前は主として朝鮮、香港の二方面に仕向られ其數量も亦六七千萬斤を超わざるの状況に在りしが大正六年後半期に於て始めて日本輸出を開始せしより

△鹽價並に取引狀態 鹽價の高低は主として生産需要を基本とし需給の如何と一般作柄の良否に支配せらるゝと雖も産地運搬の便否は大に鹽價に影響を及ぼすものにして亦季節によりて幾分の相違を生ずることあり從來青島の鹽價は毎年噸三四圓見當にて取引せらるゝを普通とせしが大正六年以來内地輸出の途開け殊に昨年の如きは内地及朝鮮沿海州方面の缺乏甚だしく日本各商店共競争的態度にて盛んに買煽りたる結果今年二月遂に噸十三圓といふ未曾有の高値を出すに至れり政府は青島の事情に通ぜざる爲過當の納入命令を發したるを以て爾來政府は頗る慎重の態度を採り當地の官憲と熟議を重ねたる結果大正八年度に於ける青島鹽の輸出能力を最大二億五千萬斤と假定し其内五千萬斤を朝鮮に二億萬斤を内地の補充に充つることゝし夫々納入命令を發せる爲め昨年の如き現品の拂底を再現するが如き事無かるべく從て鹽價は普通狀態に復すべしと豫想せられたるに昨今尙七圓五十錢より六圓五十錢見當を彷徨し毫も軟調を現はさず殊に本年度政府買上價格の發表と同時に稍強調に傾き二十錢の昂騰を示せるが未だ今日の相場が實際を離れたる突飛の高價たる事は何人も首肯する處にして此情勢を馴致せるは日本内地の需要旺盛なるを熟知せる製鹽側の賣惜しみに基因すべしとするも過般政府が海洲鹽に對し破格の高値買付を敢行せる事一般支那製鹽業者に知れ亘り居れるを以て之等を標準として本年の鹽價を打算せらるゝの不利に陥りたる亦確かに其一因たり即ち鹽價起算の標準たる生産費を離れて獨り需給の關係のみに支配せらるゝの狀態を示せり鹽價の高低が商人間の思惑により或は其術策に弄せられて變動を生ずるが如きは頗る危險の徴にして國家は米鹽の如き人類必須の食料品に對し常に周

到の注意を拂ひ此禍中に投ずるを避けしめざるべからず殊に鹽の如き價格の低廉なるものに於て然り現に我國の需要額を年十四億とし百斤の價格を一圓とせば千四百萬圓の資力を有するものは自由に之が買占めを爲し得べき道理にして此弊害を除去し不自然なる鹽價の變動を豫防せんと欲せば國家の強制力たる法の力に俟たざる可からず此點に於て我國の專賣法は確に有效なるを疑はず然るに專賣局に於ては大正六年以來數回に亘り値上げを斷行し從前に比し約二倍半の高値を示すに至りたるは專賣法あるが爲めに非ずして政府が鹽自給政策の上より生産費の膨脹せる内地製鹽保護の主旨に出でたるものなること明なり而して各植民地鹽の狀態を見るに此例證の一層適切なるを想はしむるものあり臺灣の如き内地同様專賣法の實施せらるゝ地方に在りては此種の弊害の絶無なる事明なるが關東州も亦鹽務局ありて鹽制を施行し之が監督獎勵に任じ居るにより昨年の如き場合に於てすら些の動搖を來さざりしは未だ記憶に新たなる處なり然るに青島は臺關地方に比し將來ありとして一般注視の間に立ち尤も發展努力を要する時機なるにも拘らず獨り何等の監督機關を有せざるのみならず統一的組織を缺き居たる爲め極端なる競争を惹起し鹽價は狂騰して停止する處を知らず遂に未だ曾て見ざるの高値を現すに至りたるは本年二月の事にして爾來當局は是が救済の方法として組合の組織を必要とし漸く其成立を見るに至りたるも之等の協議が那邊迄其力を及ぼすべきかは頗る疑問とする處にして必ずや將來鹽制の實施を必要とするの時期に到達すべしと觀測せらるゝ今大正四年以降の青島鹽價高低表を示せば左の如し

青島鹽價表 (一噸ニ對スル銀單位)

年次	高低	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
大正四年	最高	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
大正五年	最高	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
大正六年	最高	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
大正七年	最高	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
大正八年	最高	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇

青島に於ける鹽の取引状態を見るに輸出業者は毎年十一月下旬より十二月の頃に於て鹽田業者との間に翌年引渡すべき數量價格を豫約し同時に契約價格の約三割乃至五割を預入資金として鹽業者に前貸するを通常とす此間一種の仲次業者ありて契約を幫助す然れど鹽田業者中家計豐なる者は豫約又は前借を爲す事なく適當の時機に於て賣却する者あるも其數僅少にして大部分は前者に屬する者たり以上の契約は概ね噸建にて相場を立つるを常とすれど此外鹽業者相互間の賣買あり亦鹽田業者と支那仲買業者との賣買ありて之等は百十三斤入二包を以て相場を立つるを常とせり而して此等の輸出業者は如何なる手續により之を内地及朝鮮に輸出しつゝあるかを述べんに日本政府は毎年四五月の頃に於て内地の豐凶に考へ不足額を豫定し各植民地鹽の輸出能力に鑑み各地の鹽商と適宜に納入契約を締結するものにして青島に於ては昨年の事情に鑑み特に本年より納入契約に關する一切を當地民政部に依囑するに及び指名按配適當に行はるゝに至れり然るに昨年内地鹽減收に際し賠償價格の引上げを行ひたる際工業原料鹽も亦百斤一圓三十五錢に引上げられ各工業家は原價供給を受くるも尙戰後製品安の爲不引合の狀態となり何とかして此苦境より脱せんものと工業保護の名目の下に原料鹽

の直接輸入を出願し夫々許可を得たるを以て各工業家より直接當地鹽商に向つて注文を發する事となり昨年は其數一億萬斤以上に上りたるも本年は七千六百萬斤を出でず今昨年の受命者及直接輸入許可を得たるものと當地鹽商との契約高を示せば

一、政府より納入命令を受けたるもの

青島鹽業株式會社 受命額 一二、三〇〇萬斤

大日本鹽業株式會社 同 一二、九〇〇

一、政府より直接輸入許可を得て當地鹽商と契約せるもの

許可受命者 當地契約者 契約額

旭ガラス製造會社 許斐出張員 三、〇〇〇萬斤

日本舍密製造會社 三井物産 三、二〇〇

大阪晒粉製造會社 許斐出張員 八四〇

堺硫酸肥料製造會社 丁敬記 二四〇

東海曹達製造會社 許斐出張員 三六五

大阪曹達製造會社 同 六〇〇

神島硫酸肥料製造會社 丁敬記 二四〇

日本曹達製造會社 藤谷 一、〇五〇

南海晒粉製造會社 許斐出張員 五〇〇

大日本人造肥料製造會社 丁敬記 五〇〇

關東酸曹製造會社 許斐出張員 二〇〇

厚狹化學工業株式會社 同 二〇〇

堺工業藥品株式會社 丁敬記 一〇〇

合 計 三六、二三五萬斤

次に本年度の納入受命者及受命額を示せば

大日本鹽業會社 五千萬斤

青島鹽業會社 四千四百萬斤

中 村 組 三千萬斤
内地工業者 七千六百萬斤
合 計 二億萬斤

次に原鹽輸出業者の主なるものを示せば

邦 商 所澤町 三井洋行

北京町 鈴木商店

濟南町 青島鹽業株式會社

北京町 大日本鹽業株式會社出張所

早霧町 許斐支店

吳淞町 中村組

市場通 吉澤洋行

小港通 富士商會

支那商 青島 復成號

青島 丁敬記

青島 東泰號

青島 萬玉記

△青島鹽の將來 以上已に本邦に於ける鹽の需給狀態より我青

島鹽との關係に言及し其事業の概要を記せり然りと雖ども斯る需給狀態が果して永續すべきものなりや又一時的現象に止まるべきか或は他に有力なる供給力の出現により不測の打撃を蒙むる憂慄かるべきかは斯業盛衰の岐るゝ處にして大に研究の價値あるべし、先需要方面より觀察せんに需要増加の主因が曹達工業の勃興と漁業鹽の増加に在りしは今更喋々を要せざるも戰爭の影響を受け勃興せる各種工業は多少一時的色彩を有し殊に曹達工業の如き昨年政府の原鹽賣價引上と製品相場暴落とにより採算引合はずして遂に半數の休業者を出し現在繼續作業中の

ものと雖ども鞏固なる基礎を有せるものゝ外は秋風落葉の感なき能わす而して現在の原鹽需給狀態より推すに工業者が理想とする百斤四十錢の原鹽相場を實現するは當分望み難き所なりされど漁業用鹽に至りては全く事情を異にし殊に勸察加及沿海州の事情は今後益收獲の増加を示すのみなるを以て工業方面に於て生じたる剩鹽約七八千萬斤は之を漁業用に充當するも尙幾分の不足を告ぐるに至るべし而して更に政府は昨年の成績に鑑み急に六七億斤の豫備貯蓄を爲さんとするの意思あり故に今後兩三年間の内地需要年額十六億斤を下らざるべしとは何人も承認する所にして此外尙朝鮮に對し約一億五千萬斤の補充あるべきを閑却すべからず然れば當分内地及朝鮮の需要額は年十七億五千萬斤と假定するも大差なかるべし翻て供給方面の狀態を見るに昨年に於ける内地產鹽額の激減は主として天候の不良炭價の暴騰勞銀の騰貴に基因するものにして例令炭價の低落ありとするも燃料を用ひざるべからざる點に於て天日製鹽に對し頗る不利の立場に在るを免れず現に生産費の低廉を以て誇りとする十州鹽田地方に在りてすら百斤一圓三十錢の生産費を要するに至りては思半に過るものあり幸に政府の自給政策により獎勵保護せらるゝを以て昨年の如き激減を再びするなかるべしと雖ども此上の發展增收は到底望み難き事情あるを以て從來の如く九億五千萬斤乃至十億萬斤の收獲を維持すべく臺關青鹽亦前述の狀態に在りて其供給力は漸次増大すべしとするも急激なる増加を來す事無きは明なり次に外鹽の輸入に就て見るに英國鹽は其品質優等なるも從來濱著百斤四圓四五十錢を唱へ其高價なる他に比類無く將來と雖ども安値を望み得べからず米鹽も亦戰亂の餘波を受け當分安價供給の力無かるべきも茲に懸念に堪わざるは

獨逸岩鹽の襲來に在りとす同岩鹽は戰前濱著百斤八十錢の安値にて供給せられたるものにして品質亦優良含鹽量九五%を示し到底植民地鹽の比に非ず將來獨逸が充分國力を恢復し東洋方面に其羽翼を延すに至らば各植民地鹽は尠なからざる打撃を蒙むるに至るべきは豫想に難からず如斯は近く實現せらるべき問題に非ざるべきも確かに一考に値すべし前記の事情を綜合して爾後兩三年間の需給狀態を推考するに

一、需要額

内地鹽需要年額 十六億斤：〔内一億斤 朝鮮移出
同二億斤 豫備貯蓄〕
朝鮮鹽補充額 一億五千萬斤

計 十七億五千萬斤

一、供給額

内地鹽產年額 十億斤

青島鹽輸移出額 二億五千萬斤

臺灣鹽輸移出額 一億五千萬斤

關東州鹽輸移出額 二億斤

威海衛方面より 五千萬斤

計 十六億五千萬斤

右表によるときは尙一億斤の不足を生ずべし此不足額は本年の如く海州、安南鹽の輸入に據るか或は豫備貯蓄を減するに在るか別問題とし兎に角明年度よりは青島鹽其他の増收により補充し得らるゝこと勿論なるべし以上は以後兩三年間に於ける需給の大略を述べたるに過ぎざるも青島鹽の年産額は何時迄も現時の狀態に止まるべきものに非ず既に民政部は大正十二年度に於て六億萬斤收穫の豫算を立て此設計の下に事業を監督獎勵しつつあり臺灣亦十年計畫の下に大増收を畫策せりとせば例令

外鹽の襲來無しとするも一度は供給過剩に相遇するの時機有るべきを覺悟せざるべからず果して然りとせば之に處するの途は亦自から今日攻究し置かざるべからずと云ふ

内外經濟要報

綿織物輸出前途

我國の輸出貿易は歐洲戰の勃發と共に殆んど夢想だもなし得ざりし程度の漸進を見其好況は財界をして各種の變態的傾向をさへ帶ばしむるに至りたるが就中綿織物の如きは戰前なる明治四十四年より大正二年に至る三箇年間の平均輸出額は年二千六百萬圓なりしに大正七年に於ては二億數千萬圓の巨額に達し我國輸出品中の第二位を占むるに至りたり試みにこの増加の趨勢を農商務省の調査に據りて示せば左の如し

▽戰前（自明治四十四年至大正二年三箇年間平均輸出額）二千六百三十四萬九千圓

▽戰亂中（自大正三年至同六年四箇年間平均輸出額）六千三百七十九萬九千圓

▽右比較増加額 三千七百四十五萬圓

▽同上増加率 一倍四割二分

▽大正七年（自一月至十一月）輸出額二億八百十四萬一千圓

▽戰前三箇年平均輸出額に比し大正七年増加率 六倍八割九分弱

而して右輸出綿織物の種類は數千種の多きに上り一々枚舉に遑なきも大正七年一月より十一月に至る輸出額累計五百萬圓以上を算したる八種類につき増加の趨勢を示せば左の如し

（單位千圓）

品名	戰前	七年	指數
金巾粗布	九・九三	八・一五〇	八五七
綾木綿	六・二六	四・〇九二	七五七
天竺布	八・六〇	一・三九五	一・五五八
白木綿	四・二七	一・〇四〇	二四四
綿ネル	九・八二	八・九九三	九二六
綿縮	一・五五	六・二三	三九七
更紗	：	六・〇五	：
綿木綿	三・九六	五・四二	一・三四

備考 戰前は自明治四十四年至大正二年三箇年平均七年は自一月至十一月累計指數は前者を百としたるもの

是等綿織物の輸出仕向地に於ける狀況を見るに舊來の市場たりし支那、香港、關東州等の需要著るしく増加せると共に南洋、印度、濠洲、露領亞細亞は勿論遠く南亞、南米地方に新販路を開拓せり而して此の新需要國中南洋、印度、濠洲地方は地理的關係に於て將た又文化の程度經濟上の關係等よりして當然本邦製品の勢力圈内に屬すべきものにして歐米諸國との競争と常に優越の地位に立ち得べかりしに拘らず從來之れと拮抗し能はざる所以は一に我製産組織の不完全よりする生産費の増大と技術の幼稚とに基因するものにして我産業界の爲め遺憾に堪へざりし處なりき然るに時局以來歐米諸國は需要品の製作に全力を傾注せる爲め一般需要品の製作力を鈍りたるも海上交通の危険船腹の不足運賃の高率等多くの障害に依りて海外への供給減退し又は全く杜絶したるを以て代用品として我製品の歡迎せらるるに至たりものなり而して客年十月休戰の報傳はるや我經濟界は

一部惑亂の兆を呈し店舗工場の縮少又は閉鎖するもの少からず海外よりの註文も亦往日の如くならず或は既に契約せるものを破棄せんとするものをさね生じたるが獨綿織物のみは未だ斯くの如き兆候を見ざるのみならず露領亞細亞の需要の如きは蓋し多きを加へ輸出寧多からんとするの傾向あるも之れが將來永久に持續すべきや否やは疑問多きが如し

英米綿業復舊難

英米綿製品の海外販路復舊の聲は既に休戰當時一時世界の各仕向地に於て喧傳せられ爲めに戰爭中我國品を其代用又は補充品として購入せし地方は勿論從來製品を主要消費物とせし支那に於てさへ英米品來の聲の下に我製品に對する侮るべからざる買控へを見せたるを以て我綿業界に於ても爲めに輸出の前途を氣遣はれたりしも未だ想像されし如き復舊力を有せざる如く即ち先づ英國綿絲の販路復舊狀態を見るに本年三月に於る同國綿絲輸出を昨年同月に比せば歐洲大陸への輸出は昨年の六百八十萬封度より本年の一千百五十萬封度と約七割の増加なるが一面北米合衆國への輸出は七割を減じて十四萬六十封度となり東洋への輸出が是亦七割の激減を呈して五十封度となり其他埃及加奈陀を初め各地への輸出何れも一齊に減退せり又綿布に於ても歐洲諸國への五割増加の四千四百萬碼を初めとして中央亞米利加濠洲への輸出幾分増加せしも對北米合衆國及南米諸國の四割減對亞弗利加の八割減東洋諸國への四割減其他一様に減退せるは綿絲と共に英國の輸向至難の事情を證明せるものと謂ふべく又米國に於ける綿布輸出の復舊力を見るに是亦想像ほごに擴大せず即ち昨今兩年の三月中の輸出を比較すに輸出増加を呈せるは

英國、中亞、南亞、濠洲等當然増加すべき性質の者のみにして
 曾て戦後の發展を豫期されし東洋への輸出の如き却て六割の減
 退にて即ち昨年の一千萬碼を今年の四百萬碼を初めとし加奈陀
 歐洲大陸へ對する輸出皆減少を呈せは英國綿業狀態と共に戦後
 發展の尙は容易ならざるを語るものと稱せざるべからず最近我
 國綿製品に對する海外買註文漸く殺到し再び先年の熱狂時代を
 演出し空前の高値を出現するに至る如き是れ當然の成行にして
 今後如何に展開するかは不明なるも妄りに英米綿業の復舊を杞
 憂する必要なかるべしと

麥收穫豫想増加

農商務省の發表に係る大正八年度收穫豫想高は二千二百八十七
 萬二千七百三十一石にして前年實收高二千二百十七萬五千二百
 八十二石に比し六十九萬七千四百四十九石を平年作二千二百七
 十六萬五千五百六十石に比し十萬七千二百二十五石の增收に當れ
 り詳細左表の如し

大正八年麥豫想收穫高

	豫想收穫高	前年收穫高	平年收穫高	前年に比し増	平年に比し増
大麥	九四〇、〇二六	八三三、八八八	九六二、七七一	一〇七、一三八	一八、五五五
裸麥	七三、七六〇	七五、三一九	七五、七九	減	四、八二九
小麥	六、二四八、五五	六、三〇二、四一	五、四一六、九四六	減	七、七九
計	三、八七、七三	三、一七五、〇三	三、七五五、〇六	六、九七四、九	一〇、七三五

備考 新潟、長野、宮城、福島、岩手、青森、山形、秋田、の八縣は六月十日
 現在其他は五月二十日現在なり▲本表には北海道を含まず

麥作豫想高地方別

農商務省の發表に係る本年麥作豫想高は別項の如くなるが更に

其地方別を擧ぐれば左表の如し

地方	大麥	裸麥	小麥
東京	三、四〇二	二、六四七	二、八九七
京都	二、三三八	九、九四四	二、八九七
大阪	七、三〇九	二、七六〇	三、〇六九
奈良	三、三三八	四、九七六	一、五二九
兵庫	六、五九三	四、四五四	二、八三九
神奈川	八、七四六	三、四七二	一、〇四五
長崎	九、一五〇	六、五三	三、七一九
新潟	二、一四〇、九三	二、二二七	三、九八三
埼玉	五、七八一、〇	四、五五	三、五〇四
千葉	六、五八八、七	四、一七七	三、〇五八、八
茨城	九、七七一、五	六、八二五	六、三、九
栃木	五、〇一、五五	二、四四六	三、九、九四〇
群馬	七、四九八	一、〇一八	八、五〇六、四
奈重	九、〇八二	二、四一八、七	五、一〇七
愛知	三、四一、二七	一、七六、三	二、五五〇、〇
静岡	三、四四、九四	一、七五、八	一、七五、二
山梨	二、七四九、六	四、六八〇	一、〇三八、〇
滋賀	九、四三九	二、三八七	二、〇三六
岐阜	三、三二、五八	五、七三	一、五、〇六
長野	三、七二、六八	一、〇一	一、五、二九
宮城	五、二四、七〇	三、〇三	八、八八、三
福島	三、〇三、六八	四、八一	四、七、三九
青森	四、六四、〇	二、六二	二、一、三
山形	三、〇七、二	一、四四	二、七、三
秋田	四、一七、三	三〇	一、二、七
福井	七、六〇五	三、四	七、九
石川	五、六九、四	一、七、七	七、四、〇
石	六、〇九六	三、二、三	一、八、七

富	山	鳥	島	岡	廣	山	和	德	香	愛	高	福	大	佐	熊	宮	鹿	沖	計
山	取	根	山	島	島	口	山	島	川	媛	知	岡	分	賀	本	崎	島	繩	
三〇〇・五	二六・六三	二四・九六	二〇〇・五八	九・九三三	七〇・五六	二・七	二・九	二・九	六・四	一四・九六	一〇・八	五・八	二・五	二・七	七・三	三・五	五・五	四・〇	九・四
三・一	三〇・三五	四・三	三・二	五・七	三・五	二・七	四・七	四・七	四・七	五・九	二・七	四・〇	三・六	一・四	六・四	一・六	二・七	一・七	七・七
二・八	二・八	一・七	三・一	八・〇	四・九	三・四	五・三	三・二	六・八	一・八	一・八	三・四	一・八	二・〇	二・六	六・三	二・〇	五・三	六・三

紡績業の進展

支那改訂關稅は遠からず實施せらる可きを以て我が紡績界にては此高率なる關稅を免かるゝ爲め近時各紡績會社相競ふて支那内地に紡績工場經營を計畫しつゝあり既に確定せるは鐘紡（上海以外の地に一ヶ所）日本紡績（上海に一ヶ所、他に一ヶ所）豊田（上海に二ヶ所）東洋（上海に一ヶ所）にして當初各社とも日支合辦の下に經營すべく目論見居たるも由來支那人の特性として株式悉く經營者たらんことを欲し現在支那紡績會社の振はざるは全く之に基因し若し此際幸ひに日支合辦成るも到底日

本人にのみ經營を委ぬべくもあらざるより孰れも合辦を斷念し純然たる會社自營と爲す模様なり而して工場竣成の期は戰爭前後に於て英國に注文せる紡織機すら今尙到着せざる状態なれば何時頃より操業し得るや目下の所殆んど見込立たざるも併し各社にては非常に工を急ぎつゝあれば案外早く成立するやも計られず尙支那に於ける紡績工場の計畫は日本に比し頗る勞銀低廉なるを以て現在の生産費を夥しく減少し得るものゝ如く想像し居るも事實は然らず勞銀の低廉なることは今更論するまでもなきが熟練せる我國の職工が紡機一萬錘に對し約五百人にて充分作業し得るも支那職工に在りては八百人以上を要し且支那の氣候には紡績作業に適せず我國に於いて百二十梱製作し得るとすれば支那にては百梱が關の山にて是等の關係より彼我の生産能率を比較すれば我國は殆んど支那に倍し若し關稅問題さへ無きに於ては敢て態々支那に工場設立の必要を認めざるも高率なる關稅は氣候不良なる支那に於て而も不熟練なる職工を役するも尙且相當の利益あらしむるを以て茲に各社競争的に工場の設立を計畫しつゝある次第なるが利益の多寡は兎に角我紡績會社の海外發展は確に斯界の一進展と稱すべき也

大連港自由港撤廢問題

明治四十年大連海關設置に關する日支協定を改正して大連自由港を撤廢するの問題は既に數年來の懸案にして最近又復兩國朝野の間に論議せらるゝに至れるが本問題の要は大連港に輸入する貨物に課稅すると共に彼の青島に於ける獨逸以來の制度に則り輸入稅收入の一部を支那側より我關東廳に提供すべしといふに在りて其額等に就ては尙研究の餘地あるべしと雖も這是貿易

事業者等に甚大の關係ありて往年支那側より協定改正の提議に際しても我大連商業會等の猛烈なる反對ありし位にて其の決定までには猶ほ相當の期間を要すべきが兩國政府としては大體に於て大連自由港撤廢を以て有利とせるものゝ如く殊に阿片密輸入の取締等に就ても寔に好都合とする處なるを以て我政府に於ても目下折角調査研究中にありといふ

支那の生漆

▲漆 は支那重要物産の一にして湖北、湖南、河南、陝西、四川、貴州、の各省より産出し何れも漢口に集るもの多く世界的市場として知られ毎年少くも百五十萬兩以上なるべし漆樹には天然生及び人工栽培との二あり年代古き樹木より採取せるもの程品質佳良なりといふ漆液採取法は大體我が國と同じきものあれど其の方法粗漏にして損失多く之を改善して品質の向上採取量の増加漆樹の保護を計るは必要なるべし

▲支那漆 の種類は産地又は集散地により區分され毛堤、龍潭建妃、大木、毛油子、渣子等あり毛堤は湖北省施南府下利川縣の産にて年産額五千擔内外なるべし龍潭は湖北省の一地名にして四川省西陽秀山地方に産するもの此處に集散するを以て此の名あり年額六千擔内外なり建妃は湖北省建妃縣一帶の産に係り産額約四千擔あり大木は陝西省西安府下に産出するものにして老河口を其の集散市場とし年産三萬擔と稱す毛油子も亦老河口に集散する一部の名稱なるも産額少量なり渣子は河南省光州府及び湖北省鄭陽府より産するものにて品質概して劣等支那内地向を主として年産額一萬七千擔と稱す

▲品質の鑑定 需要の増加と生産減退の傾向とは年々價格を騰

貴せしめ上等品百斤につきて百兩内外中等品八十五兩下等品六十五兩内外なり而して支那の漆は不正混合物多く純良のものは殆ど之無しと云ふも可なる有様なるが支那人從來の鑑定法は先づ生漆の一定分量を取り之を火上にて乾燥せしめたる後秤量し水分の多少を鑑別するものにして純漆の成分七〇乃至八〇%なり又生漆を白紙上に滴し乾燥の程度色合光澤等により或攪拌して粘りの度合其他を鑑定す一般に乾燥程度適當にして色黒く光澤あるを上等品とす

▲漆の輸出地 に主として日本にして香港新嘉坡之に次ぐ大正六年の各地向輸出量及び價額を擧ぐれば左の如し

日	朝	印	新	暹	香	計	數	量	價	格
本	鮮	度	嘉	羅	港					
一二、三一二	三四	二	五七	二〇	一八四擔				八、二一九兩	
一二、六〇九									三六〇	
									一、四二七	
									四三	
									一、三七一	
									六三九、四一八	
									六五〇、七三八	

是等生漆の取引は風袋を引き賣買され多くは木桶詰となし普通に通に毛堤五十斤龍潭六十斤建妃四十五斤大木五六十斤より百七十斤渣子百七十斤毛油子二百斤内外なるが如し

▲漆油 漆の産地には大抵小規模の搾油場あり舊式の方法により漆實より搾油し子實百斤につき約二十斤の漆油を製出し得べく支那蠟燭及び石鹼製造原料に供せらる産額少量なるを以て輸出も亦少く大正四年には千三百六十九兩五年は八萬七千四百十九兩六年には又減じて六千六百八十五兩となり價格も又一定せず百斤につき十兩乃至十三兩なるが如しと

支那の染料

戰前獨逸より支那に輸入されたる染料はアニリン染料及合成藍の一ヶ年一千萬兩に達し支那に豊富なる植物性染料を壓倒したるが時局の影響は再び支那固有の染料工業を復活し且輸出貿易に於ても又注意さるゝに至れり支那固有染料中最も重要なもの藍は支那全國を通じて各地方の自給のために栽培さるゝも南支那にては取引上重要視せらるゝ支那藍は概して純粹インデゴの含有量少く僅に一パーセントに過ぎずといふ黒色染料は大部分五倍子より製造し橡の實の鞘も又此の目的に供せらるゝ又黃色染料はイナゴマメの蕾を薄橙色となる迄焙り冷水に入れ之を沸騰せしめて製す薑黃の根も黃色染料として殊に綿織物に對して有効なりとせらる紅色染料は四川省にて栽培さる紅藍を主としてバルサムアンキユシアチンクトリア、ロオソニアアルバ等を用ひらる婦人用臘脂は多くロオソニアアルバより製せらる綿布用綠色染料は四川產のラムヌスバルダイフオリウスの樹皮其他種々の鼠李屬の葉より製す又褐色染料は廣く支那の南西部に生ずるフオールスガンビーヤを使用し濃褐色たらしむるには五倍子及び明礬を加ふるが如し夏期支那人の好んで用ふる褐色織物は光澤強く護謨合羽の如き觀ある染色麻布にしてフーオスガンビーヤより製せる染料を使用せるものあり支那の植物性染料概して其品質良好にして耐久力強く特に支那絨毯の染色に適し殆ど褪色すること無しといふべく大正六年の統計によれば九江及び汕頭其他より五千噸の藍と二千噸の各種染料とを輸出せり



貿易

青島貿易近況 (五月)

本月中埠頭輸出入貨物の數量を見るに其陸揚(輸入)は四萬五百九噸七にして船積(輸出)は五萬九千三百四十九噸三を示し前月に比し輸入に於て六千六百餘噸輸出に於て五千四百餘噸の増加を來せり

	五月中	四月中	比較
陸揚貨物	四〇、五九七	三、八五三	六六、四四四
船積貨物	五九、三四九	五、九二八	五四、三三五
計	九九、八五〇	八、七七一	一一〇、九七九

更に之を昨年同月分と比較するに輸入貨に在りては九千六百餘噸輸出貨に在りては實に二萬三千七百餘噸の増加を示せり

	本年五月中	昨年五月中	比較
陸揚貨物	四〇、五九七	三〇、八八二	九、六二五
船積貨物	五九、三四九	三五、六七五	二三、七三六
計	九九、八五〇	六六、五五七	三三、三三三

主要輸出入貨物情勢 (五月中)

輸入貨物中昨年同期と比較し著しき減退を示せるは米、石油、綿絲に過ぎずして他は悉く増加の傾向を有し殊に卷煙草、支那紙箱材、石油空罐、綿布等は其著しきものに屬せり毎年油類の輸出が夥しき數量に上れる結果容器たる石油空罐及同古箱の需要を喚起せるが本年は從來の古箱を捨てゝ多くは新らしく製作せるものを使用せると空罐の高價にして銀高なりし爲め内地に於

て購入輸送するも充分引合たる爲にして綿布にありては日貨排斥繼續中の手當買一時旺盛を極め計らずも此盛況を呈するに至りしなり輸出貨に在りては石炭の著しき減退をなせると桐材の稍不況を現せる外は何れも尠ながらさる増加を示せるが就中花生實、小麥、鹽、花生油の如きは五千噸乃至一萬噸の増加を示し葉煙草、豆油、豆粕等も亦頗る盛況を呈せり花生油は大戦の終熄歐米市況回復と同時に日本を通じて續々買注文到來初期の情性を一掃し殊に米國筋の注文殺到せる爲既に端境期に入れるにも不拘輸出の好調を持續し如斯盛況を呈するに至れり落花生實の増加も油と其事情を同じくし搾油原料として内地、上海方面の需要を喚起せるによる鐵礦は久敷問題たりし金嶺鎮鐵礦石の八幡輸送を開始せる爲にして爾來益輸出を賑はすに至るべく石炭の減退は淄川出炭減少に伴れ輸出の餘裕を殺がれたる一方煉瓦製造其他工業用として淄川粉炭需要の程度増大せるは其大なる原因なりとす

△輸入品

品目	四月中	五月中	昨年中	昨年との比較
米	一八三	一五三	八三〇	減 六七八
麥粉	八五八	五五二	四四二	減 二九五
白砂糖	三九九	七二六	五五五	減 二六〇
赤砂糖	二七四	六四二	九七六	減 三六四
卷煙草	一五八〇	一、二七三	五三六	減 五九七
石油	二五二七五	二四八	四、九八七	減 三九五四九
燐寸	一、七五〇	一、五九二	一、五七八	減 三三
綿絲	三〇八四三	三、四四〇	四、七三三	減 七五八
綿布	一、〇三九四	一、三九八	六四四〇	減 七五八
洋物雜貨	五五七七	六七七六	三八九三	減 二八四
支那紙	一、〇七〇	一、九三七	五五九	減 一、一三八

△輸出品

花生實	七、八二五	七、八一九	二、〇八七	五、五〇二
小麥	六、〇三〇	六、五三五	一	六、五三五
牛肉	八、八八四	九、九七	四、二七七	四、九二〇
鹽	一、〇四三九四	一、〇六〇	三、六二〇	七、四四〇
葉煙草	二、〇四三	一、九四九	二、四九六	一、七〇三
花生油	四、八三二	二、二七三	二、七三〇	九、四六五
豆油	三、四九	七、六五	三、八三	三、五〇〇
淄川炭	一、〇〇五〇	二〇	二、三五〇	二、三五〇
博山炭	六、〇五〇	三、八三二	四、〇六八	一、八六六
桐材	七、三六	七、六九	八、五三	七、五四
麥稈眞田	五、七五	四、七九	一、七三六	三、四三
豆粕	四、一九九	一、三三三	七、五〇三	六、八四二
鐵礦	一	五、二七五〇	一	五、二七五〇

五月民船貿易

五月中の民船貿易は移出極めて振はず豆油の三千九百二十八擔小麥三千三百五十三擔花生油二千六百四十九擔石灰二千六百六擔を除けば殆ど云ふに足るもの無きも移入は盛時に比し稍衰へたるも尙相當の數量に上り就中豆粕、玉蜀黍、花生實、同油は何れも二三萬擔を計上せり即ち主なる移入數量を見るに左の如し

豆粕	三二、一〇九	黃白豆	一、〇一七
穀	二、八〇九	大麥	一、三六〇
玉蜀黍	一八、一九五	米	六、九三〇
小麥	二、二〇〇	鷄卵	一、四八八千個
鹽乾魚	五、八二八	花生實	二五、一三一
花生油	二九、八七八	下等紙	五、一二六

(單位擔)

海運及鐵道

青島最近出入船舶 (五月)

本月中の入港船舶(汽船)は百十八隻此登簿噸數十萬六千八百三十四噸出港百十八隻十萬七千六百八十一噸にして入港卸荷四萬五百九噸七出港積荷五萬九千三百四十九噸三を示せり而して之を一月以降の累計に徴するに入港五百四十二隻四十五萬七千三百五十六噸出港五百四十四隻四十五萬九千四十三噸、卸荷十六萬五百六十七噸入積荷三十二萬五千五百六十噸二に達せり之を昨年五月分と對比すれば左の如し

本年五月中		昨年五月中		比較	
入	五〇隻	四七隻	三六〇噸	三〇隻	三二四噸
出	五〇隻	四七隻	三六〇噸	三〇隻	三二四噸
卸	一〇、五八八	一〇、五八八	一七、五四四	減	六、九五六
積	三二、五六三	三二、五六三	三二、九八八	增	八、四二四

更に入港船舶の仕出地別を示せば日本内地三十七隻大連十六隻上海三十隻天津一隻其他の支那諸港二十三隻仁川三隻其他の朝鮮沿岸一隻香港四隻麻尼刺三隻にして出港船舶の仕向地は日本内地三〇大連一八上海二八芝罘一天津一其他の支那諸港三二釜山一仁川二香港一麻尼刺二浦鹽一なりとす

内地備船運賃近況

歐洲方面大型船引合は依然旺盛にして曩に川崎新造船歐洲片道十九圓乃至二十圓見當にて久原に備船せられたるが最近倫敦よりの入電によれば此上の好況は期待し得られざるものゝ如く當分は現狀維持の狀態に在るものと觀測せられつゝあり然れど

近海方面に在りては其範圍を擴張し比律賓、瓜哇、蘭貢邊迄を包容せらるゝ事となりたるを以て現在沿岸航路に就航せるものゝ内より幾分南洋方面に引抜かれつゝあれば沿岸も亦急に船腹の不足を感じ近海と相前後して運賃稍強調を呈するに至れり目下岩松濱石炭五圓四十錢室蘭濱石炭五圓三十錢門司香港七圓九州麻尼刺八圓五十錢北見阪木材二百九十圓大連濱豆粕六十錢を唱へ益強硬の成行を示せるが運賃界の情勢斯の如くなるを以て備船界も亦依然強調にして歐洲片道十二圓世界十五圓普通遠洋十圓近海八圓五十錢見當を唱へつゝあり最近備船の成立せるものを示せば

和神	二、六二七噸	濠洲往復	一三、〇〇	鈴木
大海	三、五〇九	倫敦同	一六、〇〇	久原
愛國	四、七二〇	歐洲片道	一六、五〇	同
二大信	二、二〇〇	近海六箇月	八、五〇	山下
京都	三、七四六	濠洲一航路	一〇、五〇	鈴木
神取	二、〇三四	近海三箇月	七、五〇	栗林
香港	二、四〇〇	近海六箇月	九、五〇	八卷
智利	九、一〇〇	歐洲片道	一九、〇〇	久原

香港航外船活躍

目下青島香港間航路に従事しつゝあるは郵船以外に在りては主としてチャイナ、ナビゲーション社の廣西、鎮安、潁洲の三隻なるが最近同航路は支那各地に瀰漫せる排日影響により積荷著しく増加し三十日青島に入港せる廣西號の如き雜貨一萬六千擔の揚荷を有し尙來月七日入港の豫定なる鎮安號も亦前者と同一の積荷を有すべしと豫想せらる

歐航運賃値上

歐洲向食料品及び貨物の輸送は頃者著しく増加し往航は毎航殆んど滿船の盛況に在るを以て日本郵船は歐洲航路臨時船の運賃引上げを斷行し八月より實施することゝなれり

品名	現行運賃	新運賃	増率割合
雜品	一〇〇志	一五〇志	●五〇
豆及穀類	一三五	一九五	●四四
油類	一〇〇	一五〇	●五〇

然るに油類の如きは既に百八十志を唱へ改正運賃より遙かに上鞘を示し居る有様にして運賃の如何よりも寧ろ船腹を得るに急なるの狀態なれば郵船會社に於ては獨り臨時船のみならず權衡上命令船の運賃引上を必要とし値上げ方目下主務省に申請中なりと云ふ

遠洋航路繁忙

五六、七の三箇月間に於ける歐洲行船腹は既に二十五萬噸に上り尙此上二十萬噸位の貨物を得るに於ては今後大型備船界は二十五圓臺を實現するに至るべしと豫想する向あるもそは別問題として前月來歐米濠の三航路は著しく繁忙を加へ來りたるが就中瓜哇の砂糖、蘭貢、西貢の米、支那の油、麥、麥粉、雜穀、日本の罐詰、澱粉等の歐洲向輸出は益繁忙狀態に入り往航二百志を唱へ米日間は最近八弗と昂進濠日間亦前々月五十志より九十志に暴騰頗る活氣を呈せるが這是濠洲よりの麥、麥粉の輸送多きに依るものにして濠英間は百四十志を唱ふるに至れり其他南米より英、佛、西班牙、和蘭に向つて牛肉、食料品、羊毛、皮革等の輸送せらるゝあり遠洋航路は概して繁忙狀態を繼續す

べき狀態に在り

對佛備船成約

最近の海運界は漸く戰前の狀態に復しつゝあり從て戰時中極力建造せし多くの船舶並びに續々竣工しつゝある新船とに依り大型船舶の過剩を生じ前途之が處置如何は各船主の最も焦慮せる所にして國際汽船創立の如きは之等船主救済の意に出でたるに外ならざりしも是が創立進捗の結果を見れば多く頭初の所划に反し一部大船主の便宜に止まり一般に均霑せず一方戰時船舶管理令の依然として存せるあり船主側に於ては尠なからざる不便を感じつゝありし處曩に佛國より日本汽船に對し中型七千噸級貨物船五隻の備船申込あり備船者にして四箇月以内に買船意志を生じたる場合に於ける船價をも問合來りたるに徴すれば其究極は買船意志あるものゝ如く遞信省に於ても此間の事情を諒とし管理令の適用を緩和し對外國買備船を自由に許可するの方針を採りつゝあり其結果最近山下汽船の武陽丸(四千百噸)外二三隻は馬耳塞一航海噸四十志にて佛國へ備船成立せりといふ

三驛發著主要貨物情勢 (六月中)

本月中青島、大港、埠頭荷扱所の三驛に於ける主なる發著貨物を昨年同期と對照するに發送貨物中綿絲布、燐寸の減退著しく殊に綿絲の如きは昨年に比すれば十分の一にも足らず前月に比すれば千百餘噸の激減を示し其他魚類、燐寸材料等何れも減退の跡を語るものにして日貨排斥の黒手は漸く山鐵輸送貨物の上にも現はるゝに至れり到著品中花生油、花生實、小麥の如き昨年は聊か事情を異にせるを以て多少の増加を示せりと雖ども之を前月に比すれば激減の跡蔽ふ可くもあらず前者と同一の狀態

に陥り其災禍の度益甚だしからんとするものあり其他桐材、木材、牛、棉花等例令數の土に現はれざるも已に其運命に遭遇せるもの數へ來れば多大なり獨り豆油の到著昨年及前月と比較し遙かに優勢を示せるが這是濟南邦商手持品の一部と比較的排日の強烈ならざる青州、張店、博山、藍村等より輸送されたるものあるに過ぎずして爾來輸出入共何品に限らず極度の排斥により取引困難に陥りたれば月を越わなば益思はしからざるべし

△發送品

品目	五月中	六月中	昨年 六月中	昨年 本年との比較
石炭	二五五〇	二八五〇	一九四七	二七〇三
木材	七六六五	八七六六	五三四	八六六三
綿布	八四三	三三二	三七九二	三四七〇
綿絲	一八七三	一一八一	一三三〇	一一七九
石油	一六三〇	九〇四六	六〇〇六	三〇四〇
砂糖	一九六六	九六八八	一九一三	三三三五
煙草	二一〇一	二四八	二四三	一一七六
魚類	一〇〇五四	九六〇八	一八五七	三三四九
燐寸	六六二	六四五	三六〇	三〇一五
燐寸材料	二七五三	三四五一	三六四〇	一八九

△到著品

品目	五月中	六月中	昨年 六月中	昨年 本年との比較
石炭	五九四二〇	八七五五	一五、四〇〇	六七五三五
コークス	二一九五九	六三二〇	四三〇八	三六六八
石灰	一五〇〇	四九五五	六八〇	二二五
桐材	六七三	八九五五	一〇四三	九一三
木材	三九三	六六二	六三〇	五六八
小麦	一〇七二九	六七八四	一五二	六七三三
花生實	四、九三〇	一七三六	八七	一六三九
棉花	五三八	二七八四	二六六	二四八
蘭	二〇六	二六三	二〇四九	三三

花生油	五、六七七	二、八九〇	二、五八	二、六三三
豆油	一、七九九	二、八五三	三、五四	二、五九九
葉煙草	二、三三	一〇八五	六二	一〇二四
牛	一、五五頭	七〇〇頭	七、二〇頭	減
				五、三〇頭

英國の貿易政策に關する

商務大臣の演說

英國商務大臣は政府貿易政策の宣明を迫りたる議員の質問に對し六月二十四日下院に於て左記要領の演說を爲せり、

英國は破産に瀕せる歐洲と繁榮限なき米國との中間に於て爲替關係頗る錯綜し居れるを以て此間に生ずる貿易政策として從來の政策を其儘踏襲すること能はざるのみならず假に關稅制度を以て最良なるものと爲すも同一稅率を以てダムピングに付米獨兩國に對し同一効果を擧ぐるること不可なるべしと云ひ終に同國政府が今日の過渡期に際し輸入制限等を採用せざりしならば米國側の絶大なる輸出能力は軌近英國に於ける一般消費の増大及生産能力の微弱と相俟ちて不必要なる米國品をして英國内に横溢せしめ爲に對米爲替相場逆潮の激成竝に之に伴ふ食料及原料の價格騰貴を惹起したるべきのみならず斯くて國內産業狀態安康を失ふ結果失業者の數今日以上に上るべかりしことを述べ最後に政府は努力の結果今後の政策に就き成案を得たるが右は過渡政策と同一にあらざるを以て戰後經濟狀態鎮靜以前其實施期日を定めずして之を發表するときは徒に製造業者をして困憊せしむるの虞あるに依り時機の到達する迄暫く之が發表を差控ふるの要あり云々

青島港出入船舶細別表

(大正八年五月中)

(空船ヲ除ク)

△入 港 之 部

入 港 月 日	國 籍	船 名	登 簿 噸 數	揚 荷 噸 數	揚 荷 主 要 貨 物 名	本 船 仕 出 地
五 月 一 日	日 本	第 二 萬 盛 丸	三九七・〇	五八一・九	燐寸、麻袋、木材、荳類、木炭、食料品	大 阪
同	同	龍 平 丸	四三一・〇	九三・五	卷煙草、麻袋、清涼飲料水、其ノ他	大 連
同	支 那	新 飛 雲 號	七一・〇	五二・一	豆類、食料品	海 州
同	日 本	海 州 丸	七五・〇	二四・〇	穀類、其ノ他	石 臼 所
同	同	第 十 六 共 同 丸	九一七・〇	一七一・一	木材、木炭、燐寸材料、雜貨	大 連
二 日	同	臺 北 丸	一、五二二・〇	七七六・〇	綿絲布、麻袋、日本酒、食料品、雜貨	大 阪
三 日	同	東 榮 丸	四五〇・〇	七六四・五	木材	小 樽
同	英 國	官 陸 號	一、三三三・〇	七七九・四	米、麥粉、綿絲布、支那紙、其他	上 海
同	支 那	光 利 號	不 明	四〇〇・〇	木材	安 東 縣
四 日	日 本	一 進 丸	八四一・〇	一、七五五・〇	石炭	秦 皇 島
五 日	同	博 進 丸	八二六・〇	八二四・六	卷煙草、茶、綿絲布、竹材、箱材、其ノ他	上 海
同	英 國	鎮 安 號	一、三三五・〇	一、〇〇三・三	麥粉、砂糖、蠟燭、棉花、竹材、其他	同
同	日 本	第 八 多 聞 丸	一、九〇八・〇	六九九・一	金屬製品	マニラ
同	同	ア ン デ マ 號	四、八四五・〇	八八四・四	車輛	タコマ
同	日 本	櫻 城 丸	五〇二・〇	六四九・九	石油、燐寸、綿絲、燐寸材料、箱材、金屬品雜貨	大 阪
六 日	同	第 二 富 美 丸	三九九・〇	五七六・三	卷煙草、棉花、綿絲、支那紙、竹材、其ノ他	上 海
七 日	同	神 戶 丸	一、五三六・〇	二八・八	車輛、燐寸材料、其ノ他	大 連
同	同	龍 平 丸	四三一・〇	二五九・〇	砂糖、石炭、清涼飲料水、雜貨、其他	同
同	同	薩 摩 丸	一、二二二・〇	五二八・八	綿絲布、果實、紙、燐寸材料、箱材、金屬品雜貨	大 阪
同	支 那	新 飛 雲 號	七一・〇	三九・三	穀類、其ノ他	石 臼 所
同	日 本	研 究 丸	四一一・〇	四九七・一	木材、家具	門 司
同	支 那	廣 利 號	六四六・〇	三八・〇	箱材、其ノ他	芝 罘
同	日 本	第 八 平 安 丸	三二六・〇	四四九・五	石油空罐、燐寸、同材料、硝子製品、其ノ他	大 阪
同	同	大 進 丸	五七〇・〇	一、二八・六	燐寸、麻袋、燐寸材料、鐵類、石油空罐、其ノ他	大 阪
同	同	第 十 六 共 同 丸	九一七・〇	一七四・九	米、石油空罐、清涼飲料水	大 連

△出港之部

出港月日	國籍	船名	登簿噸數	積荷噸數	積荷主要貨物名	仕向地
五月二日	日本	龍平丸	四三一・〇	二七一・七	花生油、麥酒、穀類、牛肉	大連
同 三日	同	第十六共同丸	九一七・〇	六四九・五	花生油、麻、絹屑糸、牛肉、其他	同
同 三日	同	海州丸	七五・〇	二七・七	綿絲布、麻袋	海州
同 三十一日	同	三國丸	五七三・〇	二七四・二	石油空罐、綿絲、箱材	上海
同 三十日	日本	大得丸	六九九・〇	五二〇・〇	木材	安東縣
同 二十九日	英國	官得號	一、三三三・〇	五一九・一	麥粉、茶、卷煙草、綿布、支那紙、竹材、鐵	上海
同 二十九日	同	第二御崎丸	五四三・〇	一、〇一一・七	砂糖、綿布、金屬、石油空罐、箱材	神戶
同 二十九日	同	第二貴船丸	一、四〇〇・〇	一、〇三〇・七	燐寸、同材料、石油空罐、箱材、食料品、雜貨	大阪
同 二十八日	日本	第十六共同丸	九一七・〇	三三・四	砂糖、卷煙草、木材、木炭、清涼飲料水	大連
同 二十八日	支那	福利號	八五九・〇	三四〇・一	棉花、綿絲布、支那紙、茶、其ノ他	上海
同 二十七日	日本	西京丸	一、五一一・〇	九五三・五	綿絲布、箱材、金屬品、食料品、雜貨	大阪
同 二十六日	英國	鎮安號	一、三三五・〇	一一一・〇・六	砂糖、卷煙草、綿絲布、金屬品、雜貨	大阪
同 二十六日	米國	ヲーレン號	二、五一〇・〇	二九・四	金屬製品	マニラ
同 二十五日	同	第十雲海丸	六八四・〇	九三二・八	石油空罐、砂糖、燐寸、金屬品、其ノ他	同
同 二十五日	同	宗像丸	五七三・〇	四九九・九	石油空罐、箱材、麻袋、鐵類、食料品、雜貨	神戶
同 二十五日	同	湖北丸	一、六二〇・〇	〇・四	蔬菜	大連
同 二十五日	同	神戶丸	一、五三六・〇	一五九・二	棉花、綿絲、車輛	上海
同 二十四日	日本	江原丸	四二六・〇	六五・一	米、味噌、醬油、其ノ他	大連
同 二十四日	支那	新飛雲號	七一・〇	三五・三	穀類、油類	仁川
同 二十三日	支那	新利號	七二〇・〇	五九・一	木材、金屬品、卷煙草	海州
同 二十三日	同	三國丸	五七三・〇	六五七・〇	砂糖、染塗料、麻袋、鐵、其ノ他	香港
同 二十三日	和蘭	益進丸	一、〇五六・〇	二三四・一	綿絲、金屬品	上海
同 二十三日	同	トリア號	五五八・〇	三八・〇	油類	新嘉坡

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

繁多を來したるも大正七年度に於ては先づ豐作を告げ輸入高粱を仰ぐの必要なかりしに歸す又コークスの減少は歐洲大戰の終熄と共に内地化學工業界の衰微に因り製鍊業も退歩し需要頓に減退せるが爲めなり石油減少の因は運賃關係上天津方面より濟南市場へ送らるゝもの多かりしを以てし、落花生油、豆油の減少は彼の需要の本場たる米國に於て輸入制限行はれ市場消化力の減退に歸せざるべからず其他品目別全體の増減は左表に據るを便とす

山東鐵道取扱貨物比較表

(△印ハ大正七年度ノ減ヲ示ス)
(單位噸以下一位數類ハ頭數)

品目	有貨貨物	無貨貨物
石炭	七年度 六年度 比較増減	七年度 六年度 比較増減
コークス	三、四九六、二七二	九、四七三、三五五
石炭	六、四四三、五七	三、七四八、七四〇
煉瓦(瓦ナ含ム)	九、九四八	三、六四一、二
セメント	一、九七二	一、三三〇
硝子板	六七一	一、五八四
硝子製品	一、七五九	一、五八四
桐	六、〇四三	四、四六七
木材(板ナ含ム)	二、〇六五、八	四、九二五、八
竹及割竹	一、一四一	一、九六八
石材及同製品	四、七五九	一、九〇八
鐵板鐵製品	六、六四四	二、三六三
鐵鍋	九、二二四	一、〇六四
古鐵	四、五八〇	一、六八二
大豆	一、六一九、七	三、三三〇
豆類(大豆ナ除ク)	二、四〇八、三	一、一八九

高粱	二、八五八	六、九六八	△四、一〇七	三、二	六〇〇	△	六〇〇
小米	三、二五〇	九、六七〇	四、四二〇	三、八	一、三〇		二〇八
米	七、五八二	六、九六〇	五、四三	三、八三	二、八三		二〇三〇
穀類(表中記載ノモノナ除ク)	五、七五三	一、五九九	△九、八六〇	二、九六九	五、七		二四三八
落花生	一、八五四	七、六九三	八、五二	〇			〇
麥粉	三、八〇二	七、三三六	△三、五三三	〇			〇
陶磁器及土器	九、五四七	九、五四六	二、七一	一、九六二			八九三
支那紙	七、三九四	六、六一	一、三八三				
紙(支那紙ナ除ク)	三、〇九〇	八、六五	五、四七五				
麻	一、九六四	九、一七五	九、九八九				
綿布	八、三九三	一、五五〇	六、七六三				
綿絲	六、七九四	五、九四六	七、三三				
綿製品	一、六三四、五	三、〇一八	四、〇七七				
絹絲(屑ナ含ム)	五、五一	五、七三〇	四、七九	六、三			一、六三
絹布	三、七六一	三、六〇四	一、七七				五〇〇
繭(屑繭ナ含ム)	三、九一	二、七八九	四、〇三				
梨	一、四〇三	四、八五一	九、一七三	二、三			二、三
棗	一、三九四	一、六一三	△二、七〇				
乾柿	四、五	三、四	一、五二				
胡桃	一、四五一	四、六四九	九、六八				
密柑	一、一三七	四、二〇	七、〇一七				
瓜及西瓜	二、七五二	二、〇八一	六、七一				
瓜子	二、五四四	一、九八三	五、六一				
果實(表中記載ノモノナ除ク)	一、〇六三	六、〇一	四、六三				
石花生油	一、八二八	二、一九七	△二、九六三	三七五			二、七二
落花生油	一、四三九	一、六一九	△一、二五				四、六
豆油	六、〇九四	八、六八三	△二、五八九	三八			一、四六
牛油	九、五七五	一、九六九	△一、〇一一				二〇八
油類(表中記載ノモノナ除ク)	一、六四九	五、四八四	一、二六五				八、七五
油類(表中記載ノモノナ除ク)	二、七六九	七、四一三	二、〇一五				三、五八〇

肥料各種	一九七五五	七九六	二、六五七	一七	一	一七
麥稈真田	七九〇四	七三七	六八七	一	一	一
安平	九八八	七七二	二〇六	七〇	三〇△	五〇
藻及粟稈	二四〇〇	八九三八	六五八	八五八	三四五五	四六三三
鹽	一四七八六	五三三	一四六三三	一七三	一	一七三
砂	一九三九四	一六、〇九八	三六九六六	二二	四五△	二四
日本酒	二四九〇	二五五〇	二〇四	二八	五四△	二六
ビール	三九九七	四三三二	六三五	一〇〇	四六	五四
支那酒	二〇三八	一三五五	六三三	一	一	一
食料品(表中記載ノモノヲ除ク)	二、九三二	一、六九七	四〇五	五七三	一九六△	二五〇
乾菜	二六六	一〇四〇	三六	一	一	一
野菜	二、九六九	二、八〇七	一九四二	一	一	一
鷄卵	七〇三五	二〇三一	五〇〇四	一	一	一
藍	四七	一四	三三	一	一	一
染料塗料	二、二八七	一、四八四	八〇三三	二四三	八四	一五八
藥品及藥材	一、五五七一	一、四〇八	二〇六三	一	一	一
曹達	五〇六三	三六九〇	一三七三	一	一	一
石鹼	二八二〇	三四三二	六二	一	一	一
煙草	三、〇一九三	三、五一八四	四九二	一	一	一
葉煙草	二、四九七六	三、六五五	二、三三三	一	一	一
茶	一、一〇三	一、一五九	二二七	一	一	一
豚毛	五九八五	四〇二三	一九六三	一	一	一
羊毛	一、一四四五	一、三三七	一八四三	一	一	一
獸骨	三、八七七	三、二九七六	五〇二	一	一	一
牛皮	一、九〇九七	二、二八六五	三六八	一	一	一
豚皮	二、四七二	二、二七	一五五	一	一	一
魚類	五、八五八八	五、〇七五〇	七八三八	一	一	一
昆布其ノ他海草	一、五〇六三	一、〇四九〇	四三七三	一	一	一
帚	二、八八二	四七六三	二、四一九	一	一	一
木粉	一、〇四六一	九〇〇五	一四七六	一	一	一

雜貨(表中記載ノモノヲ除ク)	一九六五九	一五、四四五	三八五、四	四四七六	二四、三三	二〇、二四
燐寸	三九〇一	四、二七六五	三七六四	一	一	一
燐寸材料	二、七九七六	一、七五四四	一〇、四三三	一	一	一
火藥類	一七六	九四	八二	二六〇三	一六六	七九七
銅貨	二、三三八七	二、一六三一	七五六	一	一	一
青銅錢	二、一二五	二、九一九	二、八〇四	一	一	一
銅具	二、〇〇七	二、六九四七〇	△二、五九四六三	三三二	二七〇	六二
家袋及布袋	三〇六二	四三三	一、二六一	三四三	四、五八△	二〇、五
石白	一九九三二	一、五九五	三九九七	一	五〇△	五〇
其	一九一七七	八二二	一、〇六四	二〇〇	一	二六〇〇
豚	二〇五八八	九八六一	六九三八	一七二	四四〇五五九	二、六九八八
羊	二〇五	一六〇△	一四七五	一	一	一
馬	五、五四九	四八八	七二	一	一	一
牛	五四	二二三	六九	二七	一八四	一三
合計	八、五六六二	六〇、七七八	二、五四八四三	六八〇、二四四	一、五八二、四三三	九、七、〇三

金 融

銀塊並に爲替相場 (六月中)

△銀塊 前月米國に於て輸出許可されたる當時は需要一時に輻輳し非常の高値に達したりしが其後稍落付き本月は五十三片に始りたるも相場の下落は各地の需要を喚起し相場は常に強固にして五十四片八分の七に達し其後再び引戻し五十三片八分の一に至り本月を終りたり

△爲替 は日本向電信爲替百七十八圓五十錢に始りたるも各地輸出爲替のみにて輸入爲替非常に少きを以て相場は昂進の一方に傾き又排日運動は日々激烈を極め支那商人のみならず銀行も一時取引を中止するに至りたれば金融硬塞し爲替銀行は輸入爲替の仕拂減少し爲めに非常の窮境に陥りたり去れば相場は益々奔騰し最高百七十五圓に達し月末に至り排日運動も表面多少緩和したると米國に於て先月來買付たる銀塊も七月上海に到着すべきを氣構へ市場多少緩和し相場も從て少しく引緩みたり然れども輸出爲替は依然多く相場の強固たるは免れざる所なりとす

△金融 排日運動激烈を極め一部商業は各地共杜絶し殊に當地は輸入の取引絶對に行はれざれば其影響甚しく一時各種取引中止の有様なりしが排日運動稍下火となり多少輸出貿易行はるゝに至りたるも奥地取引は硬貨を要することゝなり取引困難なりとす

主要貿易品概況 (六月中)

◎綿絲布

△綿絲 ボイコット中の手當買旺盛なりし爲め前月末一時珍らしき活況を告げたる當地市況は恰かも燈火滅前の一輝に過ぎず其後上海天津の餘波を受け排日氣勢漸次險惡となり沿線客筋の引揚となり折柄農繁期に入れる事とて連日殆んど商内無く頗る閑散なる商況を續けたりしが現物品拓により相場の暴騰せる大連市場より當地の安値に向つて買進み來れる爲め十六手扇面、紅月二十手水月等相當の手合せを見るに至りしが爲替の低落につれ漸次相場不出合姿となり商況再び不振に陥れり折柄阪地三品當月五百九十八圓二十錢(廿一日)と未會有の大飛躍をなせしも何等の好況を與ふる無く頗る不振の裡に本月を経過せり

△綿布 綿絲と略同様の足取にて月始大連市場と九龍粗布の手合出來たる外殆んど纏まりたる商談無く頗る閑散の狀態にて本月を送れり

綿絲相場

	十日	二十日	三十日
紅月 (十六手)	一六八 _兩	一七二 _兩	一七二 _兩
扇面 (十六手)	一七二	一七五	一八〇
水月 (二十手)	一八四	一八五	一八八
綿布 相場			
粗布 九龍	五八 _兩	五、九七五 _兩	六 _兩

◎砂糖

前月來の日貨排斥は表面上稍平靜の姿なるも内部の傳播力は意外に根強く輸入日本品は殆んど手合行はれず砂糖糖界も亦本月を通じて頗る不振閑散を極めたるが産地瓜哇に於ける原料糖の歐洲向積取は益々旺盛となり相場は依然強調を脱せず殊に本年の作柄不良にして減收の見定め付きたるより益々目先の強硬を誘致し當地も之に伴れ商内振はざるにも拘らず唱へ相場は初旬より下旬にかけ上騰一方にして月始四溫糖七兩より月末九兩五匁と二兩五匁の上鞘を示し尙頗る強氣を含めり市中在荷月末約三萬俵に達せり

◎燐 寸

・内地相場は原料關係上強保合なるに拘らず當地は前月より引續き漸落步調を辿り居れるが日貨排斥の影響にて思惑大手筋一體買見送りに出でたると折柄の閑散時期を控へて商況頗る不振を極めたるのみならず奥地一帯に於ける日本製品は學生團の壓迫等にて取引杜絶の姿に在りされば奥地は濟南振業公司の製品のみを以て辛うじて實需を補給しつゝあるの狀態にして當地製品及輸入品は唯僅かに青島附近に於ける當用小口取引ありたるのみ然れど奥地一帯手持薄なるは明なるを以て多少狀態の變化と共に大口手合行はるべしと豫測せらる

◎米

内地現米相場の暴騰につれ朝鮮米も同一步調を辿り赤一呎茲十五圓二十錢と是迄に無き高値を唱へ俄かに六十錢見當の暴騰を見せたるを以て益々需要薄となり青島市場は全く支那米に獨占せらるゝの狀況を呈せしが江蘇米上等品は產地移出嚴禁以來

當市場頗る品薄の態にて昨今市場より其姿を絶ち現在一般に上等品として需要せらるゝものは其中等品或は松江米上等品に過ぎず之等も數月前よりデリ高の步調を辿り來りしが需要の旺盛に伴れ益々其傾向を現はし本月の如きは月末二百磅入一袋金二十圓見當を唱へ前月末に比し一圓の昂騰を示せり

◎紙卷煙草

輸入各商品中排日排貨の最大打撃を受けたるは東亞煙草の支那人向製品にして沿線及奥地との取引全然杜絶折角其緒に就きたる販路を蹂躪せらるゝの實情を呈せり同社は既に英米、南洋兩社對抗品として「コロンブス」兩切罐入の作製を試み遠からず市場に現はるゝ運に至りたる矢先此事あり爲に刻下不利の立場に在り但し日本人向製品は需要旺盛にして就中敷島、朝日の如き曩日に勝る盛況を示し居れり

◎石 油

日油の振はざること既に久敷多少の手持を有しながら今回の日貨抵制に遇ひて手の付け様なく彼我の商狀全く杜絶するに至れり外油は閑散期なるにも拘らず俄かに需要を増加し沿線方面より夥しき注文を受け聊か奇異の感ありしが這は他品と同じく學生妄動中の手當買を爲せるに過ぎずして幾何もなく平常に復するに至れり

◎紙 類

内地洋紙界は各紙商の手持消化せらるゝと共に持直し特に品薄にして需要旺盛なる有光紙、ザラ紙は聊か強調を呈するに至りたるが其他は閑散時期の事として暫く現狀維持に止まるものゝ

如し青島は日貨抵制の熾烈につれ濟南及沿線奥地筋の顧客を逸したると閑散期を控へて殆んど商賣なく日支間の商取引は一時休止の止むなきに至れり然れど天津に輸入せられし米ザラ紙も昨今頗る品薄となり需要の満足を買ふ能はざる有様なれば早晚何れかの方面に向つて供給の途を求むるに至るべく何時迄現状に堪へ得べきやは頗る興味ある問題なるが時局の變轉と共に却而反動的結果を現はし來るやも知れずと

◎落花生實

月初油の盛況につれ活潑なる商狀を呈せしも中旬に入りてより奥地出廻減少と共に市場品がすれの狀態にて一向手合行はれず相場も月始八弗九十錢より稍下向氣配を見せしが再び持直し二十五日十弗十錢を高値として漸く閑散期に入れるものゝ如し月末九弗九十錢見當を保存へり

◎花生油

久敷盛況を續けたる花生油の需要は尙旺盛にして月始相當手合行はれたるも端境期の事とて出廻頓に減少し市場は常に品がすれ賣手皆無の狀態なりし爲相場も月初め二十二弗三十錢より十日二十三弗と昂騰爾來高保合中本月を終れり月末箱油神戸シフ四十九圓五十錢を唱へ原油と同一歩調を辿り居れり

◎豆油

油界の活況に伴れ花生油は漸次品がすれの狀態に傾けるも期節に入りたる豆油の輸出は益好況を呈し月初神戸シフ三十七圓五十錢と昂騰せし折柄大連安値入電あり急に三十四圓八十錢迄

落込稍目先の不安を想はしめたるが世界的需要旺盛なりし爲中旬再び三十六圓七十錢迄盛返し此邊にて尠からざる手合行はれしが青島は始終下澁りの氣味にて十六弗七十五錢見當を保存下旬に入りてより講和調印の報と英國豆、油類輸出制限等強氣材料の續出も毫も市場を刺戟するに至らずして一體に買氣薄く相場は漸次軟調に傾き月末神戸シフ三十六圓茲十六弗五十錢と弱保存へりされど六月中の出來高は約六萬箱に達し近頃には無き盛況を呈せり

◎棉花

例年端境時期に於ける棉花相場は幾分上向を例とせるが本年は日貨排斥の影響を受け奥地よりの出荷は著しく減少せる矢先米棉高に刺戟され前月來の弱氣配を一掃し得て相場は月初四十二弗より四十四弗と昂騰し目先益高見込の商狀を呈せしが產地高及割高の爲め輸出の不利を招致し日本向爲替の不利と相俟て商況稍不振に陥れり其れが爲め本月中を通じて濟南在荷六千俵に上り奥地及沿線各地方消費亦一服の姿を呈せり

◎麥稈眞田

月初頃米國大手筋の買進みにより商況益活潑となり箱物、袋物を併せて約一千五百箱程の手合行はれ相場も始終強氣一方にして勉強六ミリ四分の一、月始九十兩より月末九十八兩を唱へ大幅の暴騰を見せしも農繁期の事とて奥地品出廻り著しく減少せると月末に至り輸出爲替不利に陥れる爲商況頓挫し茲一服の姿

◎石炭

淄川の出炭依然思はしからず市中供給の餘裕無く此狀態は尙

暫く繼續せらるべき模様なるより前月來内地炭及開平炭の輸入を呼ひ章邱炭亦漸く市中に其姿を現はすに至りたるが暑氣の増加と共に需要著しく減退し支那人方面に少許の需要あるに過ぎざる有様なれば中旬以後は聊か荷もたれの氣味にて市況頗る閑散を呈し相場は稍下向氣配を示せり博山の出炭は兩期を控へ幾分の減少を見たるも地元としては大なる變化なく一時博山驛に於ける滯貨三萬噸以上に上りたるも金嶺鎮礦石輸送手控と排日騷擾に因り貨物出廻り減少せる爲め貨車繰付き僅かの内に滯貨を一掃するに至りしが是等は皆上海市場に向け輸出せらるべきものなるにも拘らず上海市況益不振に傾き輸出の減少を見るに至れり從來上海に輸出せらるる博山炭に對しては二割七分強の山鐵運賃割引を爲し來りたるも上海の現狀より見るときは尙採算引合はざるを以て此儘にして推移せば博山炭の上海輸出は漸次衰退を來すべきものあり

◎牛 肉

本月は開治洋行の麻尼刺輸出の終結と共に佛蘭西方面も亦休止の止むなきに至り各方面共遽かに閑散を告げ僅かに三百七十六頭の屠殺を見たるに過ぎず内日本輸出八頭、ロース五十貫を除くの外は少許の大連輸出と他は悉く地賣に充當せられたるものとす從來夏期に於ける鮮肉輸出は開治洋行の獨占たる姿にして冷蔵船を有せざる邦商は需要地を眼前に控へつゝ拱手傍觀の外なき有様なり本年度麻政府鮮肉納入契約は遂に開治洋行の手に落ち來月二日其第一回輸送を開始する由なれば月を超へなば再び活氣を呈するに至るべし

◎牛 皮

留相場下落の爲露國向貿易中絶の姿に在ると閑散期に入れる爲内地青島間の取引も頗る閑散を告げ居るにも拘らず相場は稍上向加減にて大皮三十四兩中皮三十一兩小皮三十四兩見當を唱へ前月末に比すれば大中兩皮は二三兩高を示し小皮は却つて三兩の下落を示すに至れり原因は露國向輸出は中小兩皮に限られたる爲貿易の不振と共に小皮は全く其需要の途を失へる結果にして大中兩皮の暴騰は品出廻り激減せる爲支那商中殆んど手持を有せるものなきと一般支那商が日本内地原料薄なる事を了解し得たるに基因せるものゝ如し

◎桐 材

桐材の輸出は本年に入りてより頗る振はす各月共昨年に比較し著しき減退を示せるが本月に入りてより漸く好況を呈し尠なからざる輸出を見るに至れり目下各店共相當手持を有せるも排日の影響により河南、山東共出廻不如意なれば現在の狀態にして持續せらるゝに於ては茲二三箇月中には在荷の一掃を見るに至るべし相場は山東材上銀九錢河南材上銀九錢五厘を唱へ内地上物二十五錢見當を唱へ居れり

◎鹽

本年上半期に於ける作柄は稍々良好なりしものゝ如く昨今品出廻益旺盛を極めたるも多くは既約品にして現物として賣買せらるゝものは極めて少數に過ぎず相場は上等品銀六圓五十錢並品六圓三十錢見當を唱へ目先頗る強調を呈しつゝ保合へり

◎小 麥

排日の瀰漫と共に日支間の商取引全然不可能たるのみならず既約小麥の如きも解約を餘議なくせしめられたる有様なれば濟南市場の影響一方ならず其結果は直ちに青島市場に反映して折角好況を呈しつゝありし輸出小麥取引上に蹉跌を生じ一大打撃を受くるに至れり而して現時の状態か何時迄繼續するものなるかは不明なるを以て旺盛なる内地の買注文を引受くる能はず商談中絶の姿に在り然れど二三仲間同志の思惑賣買ありて形勢甚だ面白からざるにも拘らず内地市場の強調と奥地搬出停止による當市場の品薄とにより相場は強氣一方に傾き十八日エフオービー八圓七十錢と新高値を出し過般の低値に比し二圓五六十錢の上鞘を示せるが神戸は横濱に比すれば船便多く小口運送自由なる爲相場も常に幾分の相違ありて月末神戸シフ九圓六七十錢濱シフ九圓八九十錢を唱へ目先強硬尙充分の上向氣配を示し居れり

青 島 雜 錄 (六月)

◎生水、水揚、高、五月中に於ける水産組合魚市場水揚高は日支人及び内地物合計六萬三千二百貫餘此價格六萬三百八十六圓八十三錢にして就中鯛の賣揚高大部分を占む之を前月に比し數量に於て四萬二千七百五十一貫餘價格に於て三萬二千九百四十四圓餘の激増を示し之を昨年同期に比すれば數量に於て二萬五千三百五十八貫餘價格に於て三萬六千九百八十二圓餘の増加を示せるが同月は一年中の最盛漁期なるが昨年に比し斯の如き激増を

示せるは販路の擴張に伴ふ市價の昂騰及び組合の改善に依る一般漁夫の拔賣皆無となりしに原因するものならんか

◎魚市場成績 上旬に於ける魚市場成績は日支人物合計二萬四千四百三十二貫價額一萬九千八百八十八圓三十六錢にして依然として鯛の漁獲大部分を占め二萬一千八百八十八貫價額一萬五千八百四十四圓を算せり之を前月下旬に比すれば總數に於て約一割を減じ價額に於て約二割を減少したるが昨年の同期に比すれば數量に於て約六分を増し價額に於ては約二倍の増加を示せり

六月中旬魚市場水揚高は日支人物合計三百八十三貫一萬六千四百廿九圓七十九錢にして依然鯛の漁獲大部分を占め一萬七千三百七十貫一萬三千四百五十二圓三十錢あり其他ニベの四百四十一貫三百九十圓四十錢鮑の三十六貫二百七十圓三十錢之に亞ぐ内地物は本旬に於ては一も輸入せられず之を前旬に比すれば數量に於て四千四十九貫匁を減少し價格に於て二千六百五十八圓五十七錢を減少せり即ち鯛の盛漁期は既に過ぎ去りたる觀あるを知る

◎許可方針決定 管内産鹽の輸出取締に關する當局の方針は屢記の如くなるが尙本年度輸出に付不健實なる仲介業者跋扈し種々の名目を設けて輸出許可を強要し鹽政の前途に惡影響を及ぼすより今回更に左の如き許可方針を決定し青島在留鹽業者に此の趣旨を周知せしむると共に十分取締の實を擧ぐべしと

一、本年度輸出鹽總數量貳億五千萬斤

内 貳億斤 内地仕向數量

五千萬斤 朝鮮其他仕向數量

但期秋製鹽時期を経過し確實に増量の餘地ありと認めたる場合は内地仕向を主として更に詮議を加ふるとあるべし

二、前項朝鮮其他仕向數量は爾今朝鮮以外の輸出を許可せず但し軍に於て特に其の必要ありと認めたる場合は此限にあらず

三、朝鮮輸出鹽は飽まで朝鮮内の需用に充て他に轉輸するを許さず若し轉輸の事實を發見したるときは爾後其の者に對し許可を與へざるべし朝鮮に於て再製したるもの亦同じ

四、輸出出願の場合には確實に其の手持なることを證し且つ積出の都度其の船名並に出帆豫定期日を明記して出願するを要す
五、輸出に従事する者は前年度に於て輸出を實行したる者たるを要す

◎前年度輸出鹽 前年度中當港より日本朝鮮浦鹽等に輸出されたる青島產鹽は既記の如く三百七十三萬一千三百三十一擔七にして之を月別に就て見るに十二月の八十一萬九千五百四十六擔九を筆頭として十一月の七十九萬五千七百四十五擔之に次ぎ以下三、十、一、八、二、四、七、六、九、五の順序なるが其仕向地は日本内地二百七十二萬一千百十六擔七朝鮮浦鹽百一萬十五擔（内浦鹽九萬二千八百九十九擔）なり

◎鹽相場の變動 前年度に於て未曾有の暴騰を見たる青島鹽相場は新年度に入てより大いに緩和され目下噸銀六圓二三錢見當にて取引されつつあるが今日本の青島占領後即ち大正四年一月來の相場の變動を見るに四年一月に三圓十錢二月に三圓廿錢なりしものが三月に至て三圓八十錢に暴騰し四月は三圓三十錢に低落したる後は逐日昂騰一方にて十月は六圓丁度となれり然るに十一二の兩月は五圓五十錢に低落五年に入ても一月は五圓二月は四圓三十錢三月は四圓の相場を示し其後末年迄差したる變化なく六年も三圓乃至三圓七十錢の間を上下せるに七年は一

月の四圓を最安値として頻りに昂進し十二月には五圓臺を突破して五圓十錢となり更に本年に入てよりは專賣局其他の納入期限の切迫と品拂底を原因として一月は六圓二月七圓三月十二圓と意想外の成行を示せり大正四年より本年三月に至る各年相場の最高最低を見るに左の如し

	最 高	最 低
大正四年	六、〇〇（二月）	三、一〇（十月）
同 五年	五、〇〇（二月）	三、六〇（八月）
同 六年	三、七〇（十二月）	三、〇〇（九月）
同 七年	五、一〇（十二月）	四、〇〇（二月）
同 八年	二、一〇（三月）	六、〇〇（二月）

◎鹽暴動の原因 膠東十八縣地方の鹽暴動の原因に關し濟南某支那紙は論じて曰く之れ表面人民の鹽稅納付を抗拒せんが爲の舉に過ぎざる如くなるも其内實は全く鹽務稽核所長米人ピアソンの倒行逆施が民を驅りて此舉に訴へしめしなり由來山東沿岸一帶の鹽梟は全く生計を立つべき田園を有せず總て私鹽を偷運して生活するものにして一家の生計是に依り一身の糊口亦之に俟つ故に若俄かに新政を施き此の私運の道を絶たば爲に彼等は生計日に蹙まり勢ひ鹽稅を抗拒せざれば一身一家を全うし得ざるなり故に新政を實施せんとせば先づ正に地方の情勢を詳察し臨機應變の策を講じ漸進主義を執りて進むの要あり成見を固執すべからず特に事情を究めずして早急決行すべからざるなり前車の覆轍依りて以て戒むべき例多きに非ずや然るにピアソン氏之を覺らず歐洲より移し來れる制度を以て直ちに此地に實施して不可なしとなし更に稽核所長の威嚴を以て聊か其監督權を振廻はさんとせるを拒むべからず斯くて遂に短刀直入此倒行逆施をなす即ち所管官廳を督責して自己の欲するが儘に命令を遵

奉せしむると共に法規を嚴にし取締を苛酷にして民生を催殘し請願も聽かず輿論も顧みずして遂に今日の大事を釀成す而も同氏は形勢の非なるを見るや身を以て逃れ到るところ謠言を放つて責任免れの辯解を試む、人各辨別力あり社會自ら公論を有す豈口舌を以て胡麻化し得んや聞くところに依れば總稽核所に於ても既に其内情を調査しピアソン氏を轉任せしめて改めて一英人を派遣し其局に當らしむべしと然れども何人を以て此任に當らしむるも其地の慣習情勢に隨つて機宜を制し漸進以て事を處せざれば不可なり必ずや今回の覆轍を踏まんと

◎落花生輸送高 本月中旬中山東鐵道濟南驛より當地に輸送せられし落花生は三十九車五百八十五噸にして之を上旬の五十九車八百八十五噸に比すれば二十車三百噸の減少なりと

◎牛肉輸出激增 青島屠獸所に於ける五月中屠獸數は總計二千八百六十六頭にて前月に比し二千九百九頭の激減を告げ一月以降累計二萬六千二百二十八頭となれり詳細左表の如くなるが前月中に於ける特種現象は前記屠獸數中の大半を占むる牛の大部が殆んど輸出向たりし事なり即ち總數千九百七十六頭中千一頭は馬尼刺に五百五十四頭は佛蘭に輸出せられ市價消費と稱せらるゝ四百二十一頭も其の大半は内地へ輸出せられたりと云ふ

▲屠獸種類別

五月中

四月中

一、九八六頭

四、七五八頭

牛

羊

四〇

五〇

豚

羊

八四〇

九六六

合

計

二、八六六

五、七七五

◎生牛輸送將來 五月中濟南より山東鐵道によりて青島に輸送せられし生牛の頭數は七百七十四頭にして昨年五月の一千六百零一頭に比すれば半分以下に減少せるが是は最近マニラに對する納入契約一段落を告げ輸出皆無の有様となりしに依るものなりされど目下當地カッ洋行及び大倉組にては目下米國政府と其納入契約をなす爲め前記マニラに人を派し居り結果良好の由なれば近々の中には多數の輸出を見るに至るべく従つて山東鐵道の輸送する生牛數も又復増加を見るならんと

◎乳牛移轉遲延 臺東鎮乳牛業者の移轉は今日に至るも決行を見るに至らざるが聞く所に依れば當業者に交附す可き賠償金は一頭に付銀十三圓即ち合計三千圓の豫算を得たる由なるも移轉地選定に暇取れる爲め斯く遲延し居れる次第なるも既に略ぼ四方に決定したる模様なれば近く移轉の運びに至る可きかと云ふ

◎生牛輸送列車 マニラに於ける米國軍隊用の牛肉は今回入札の結果開治洋行大倉組共同の手にて納入する事となりたるが本年度の納入高は九百萬磅にして昨年度分に比し五割方の増加なり而して是等の牛肉は山東鐵道によりて濟南より當地に輸送せられし生牛を當地の屠獸場に於て屠殺してマニラに向け輸出するものなるが故に一時減少せし山東鐵道の生牛輸送數も近く又復増加すべきを以て鐵道部にては已に何時にても必要に應じ特に生牛のみを積載せる列車即ち所謂生牛輸送列車を運轉して其輸送に支障を生せしめざる準備を爲し居れりと

◎生牛輸送數 大正四五六七の四箇年度に於て山東鐵道が輸送せし生牛の頭數四年度八〇四六頭五年度一五〇四〇度六年頭は

二五七四三頭七年度二七四一五頭總計七萬六千二百四十四頭なるが其内濟南驛發送の分及び青島驛到著の分を示せば左の如し

濟南驛發送の分

四年度五、三四二頭五年度一一、六二二頭六年度二二、二五六頭、七年度一九、八六三頭合計五萬九千零八十三頭

青島驛到著の分

四年度七、〇〇〇頭五年度一四、八六九頭六年度二一、六八九頭、七年度二六、九〇三頭、合計七萬零四百六十一頭

◎小麥輸出數量 昨年九月約十萬噸を限り小麥の輸出解禁せられしより本年五月に至る間に當地より輸出せられし小麥の數量左の如し(單位噸)

昨年▲九月一、二五九▲十月六、一四六▲十一月五、七三九▲十二月六、九六七本年▲一月六、九三四▲二月六、八四〇▲三月六、四四九▲四月六、〇八三▲五月六、五六三合計五二、九七〇

即ち合計五萬二千九百七十噸にして尙豫約數量に充分の餘裕あり

◎小麥受戻困難 輸出小麥は三、四、五の三箇月間に約二萬噸に上れるも月初に於て埠頭及び市内倉庫に停滯せる物尙二千噸

内外ありたるが此等の内千五六百噸は最近迄に輸出され且又排日の爲め沿線よりの出廻りは約定物の一小部分に過ぎざるを以て現在市中在荷は極めて僅少なるに内地商との間に商談成立せる物六七七分を合して概算五六千噸ある由なれば若し沿線よりの出廻依然不如意なるに於ては或は契約履行不能となるやも知れず

◎小麥輸送減少 本月中旬中山東鐵道が濟南驛より當地に輸送

せし小麥は九十七車一千四百五十五噸にして上旬中の百七十七車二千六百五十五噸に比すれば八十車一千二百噸の減少を示せるがこは濟南驛に於ける停滯品殆んど發送し盡されたる排日の餘波を受けて新たに持込まるゝもの激減せしに因るものなりと

◎麥作四分見當 愈々麥の收穫期に入れるが本年は春來殆んど降雨無かりし爲め非常に其發育を妨たげられ特に灣内沿岸の畑地は慘憺たる有様にて收穫成績に依れば平年に比し四分乃至五分作なるが先月中頃より兩三回稍多量の降雨ありたるに依り今後適度の降雨あるに於ては高粱甘薯落花生等は旱魃の影響を受ける事なくして發育を見るならんと

◎蠶繭取引終る 山東繭の出廻期は六月一日より七八日頃迄約一週間と豫想されたるも本年は各地共二三日乃至五六日早く出廻り然かも出盛期は僅々三日に過ぎりし由なるが山鐵沿線及び奧地に於て買収に従事せる邦商は青島糸廠を初め九正洋行、中松洋行、義成公司の四者にして外に裕厚堂、同豐公司、其他二三の支那商等之に加はれり而して最も早く出廻れるは青州周村の兩地にして先月廿九日に出盛り三十一日にて大體に終了を見引續き各地も出盛れる由にて當初邦商の買付値段は支那商の夫れに比較し多少上鞘を示したる爲め随つて買収高も多く其後支那商の買煽りたる際は既に其時期を逸したる事とて周村青州は邦商の蹂躪する所となれりと云へるが先月廿九日より本月上旬に至る邦商の買収高概算は青島糸廠の八十萬斤を筆頭として九正七八萬斤なれば全部を合算する時は百萬斤内外に上る可く本年の繭作柄は平年の六分見當なるにも拘はらず斯くの如く割合に好成绩にて取引終了を告げたるは農民中賣放す者逐年増加したるに外ならず然も買出中宣教師が各地に出沒して頻りに對日

不賣を煽動したるも毫も其影響の認むべきものなかりしは爾は他の土産物と異り貯藏に不便なると座繰に消費さるゝ物以外は貯藏の必要なきに依るならんも我憲兵隊守備隊が直接間接に邦商援助に努めたる其事か興りて力ありたるものゝ如し尙取引値段は日々異なる爲め一概に云ひ難きも大體の平均相場は黃蘗六十五文白蘗七十二文の見當なりと

◎博山炭輸出數量 本年五月中當地より輸出せられし博山炭の數量は三千八百六十二噸にして之を四月の六千四百零五噸に比すれば二千五百四十三噸の減少にして又昨年五月の四千零八十八噸に比すれば一百四十六噸の減少なり

◎管内裁判制度 一昨年占領地の軍政撤廢せられて民政に代る際裁判制度も亦當然變改さるべしとは當時多數市民の期待せる所なりしが事實は全く其の事なく單に形式的名稱の改められたるに過ぎざりき占領後五年の今日諸種の行政組織は多大の改善進歩を見たるに拘らず單に同法組織のみは舊態依然として裁判の公開辯護人の附添を認められず民事訴訟に於ても公然訴訟代理人の選任を許されざる現狀に在り併しながら青島が未だ軍事占領地たるの名を脱せず且つ陸軍省管轄の下に在る間占領治下の帝國臣民が憲法に依て與へられたる權利を享有するとなく一般軍人軍屬と同様に軍法會議の審判に服するは事態已むを得ざる所ならん従つて青島に於ける裁判制度の改革を望むは青島の土地其ものが軍事占領地たるの性質を離れたる時か然らずんば本國に於ける軍法會議の制度が根本的に改正せらるゝことを前提とせざる可らず

最近傳へらるゝ處に依れば政府は豫ての計畫に基き今回愈々陸海軍々法會議の制度に一大改正を加へて之を來るべき議會に

提出し通過の上は遅くも來年の秋頃より實施することとなるべしと云ふ若し此の豫定にして遂行せられんには占領地の裁判制度も當然之れに準據するに至るは勿論にして從來經驗したる諸種の不利不便は茲に一掃せらるべし唯だ其の當時迄占領狀態が繼續するや否やは大なる疑問にして或は其の時を俟たずして青島の統治組織先づ改まり延て裁判制度の改革實現するに至るやも知れず

◎歸還苦力輸送數 山東鐵道が本年二月十四日(第一回)より最近に至る迄の間に輸送せし歐洲より歸還せる苦力の數は二月十四日一、一六八人同十九日三、一一五人三月二日一、三八二人同四日一、二〇三人五月四日一、〇八九人同八日四三〇人同二十日一、三〇九人合計九千六百九十六人なるが尙本日入港の豫定なる英船タルチピアス號は約一千三百三十人の歸還苦力を積載し來る筈なれば是と前記九千六百九十六人とを合すれば一萬一千零二十六人となる勘定なり

◎建築物と空地 家屋建築の際存置す可き空地は規則上全敷地の四分の一と定められ實際に於て從來建築者は之が爲めに左程不便を感ずる事なかりし如きも近來地所不足の結果家屋建築者は所要の敷地を得る事困難となり何れも其幾分の一にて満足せざる可らざる實狀にあり然かも貿易港として工業地として將來ある青島が偉大なる發展を遂げたる曉即ち數年若くは十數年後に於て地價暴騰の場合を豫想する時は今日に於て之に對して相當の用意を要す可く彼の建築規則に改正を加ふるか然らずんば其適用に際し文面に拘泥する事なく適宜手加減を加ふるの要ありと一建築家は云へり

◎郵便爲替貯金 管下各郵便局に於て五月中取扱ひたる爲替は

受入四十九萬四千五百二圓餘拂出十九萬八千五百五十二圓餘にして郵便貯金は受入十九萬六千九百五十一圓餘拂出十五萬四千二百三十圓餘を算し爲替貯金受入總計に於て前月に比し十萬九百二十九圓餘又拂出に於て三萬七千九百六十五圓餘孰も増加を示せり

爲替	同	四九四、五〇二、五〇〇	一九八、五三三、七九〇
外國	同	六、九〇〇	
貯金	同	一九六、九五一、四六六	一五、一一〇、〇〇三
振替	同	一四、五三三、四五三	五、四六六、二五八
年金恩給及債券元利金			四、六三〇
計		八六六、六四九、九	三五八、六五三、〇

◎空罐箱材需給 青島に於て一箇年間に包裝用として需用さるゝ木箱は落花生油の約一百萬箇を筆頭として燐寸十五六萬、麥酒六萬内外の順序なるが之等の内麥酒の全部及び花生油の一部は本月より其製函を和田製材所に依託する事となれるも從來は殆んど全部箱材として輸入の上當地にて組立られたるものなるが本年一月以降四月迄の輸入高を見るに

一月	五九二噸五	二月	五八二、〇
三月	四八一、〇	四月	五九二、八

即ち合計二千二百四十八噸三にして主なる仕出地は日本、上海、安東縣等なり又空罐は當地沿線方面にて買付らるゝ者かなりの數量に上る由なるも過去四箇月間の輸入高は三千三百六十噸二に達せり

◎貯水池竣成期 若鶴山に於ける貯水池増設工事（新たに四千噸の貯水池を作る工事）は公和興宮世雲氏の請負に係り竣成豫定期日は十月二十三日なるが其後工事大いに進捗し今や側壁の

三分通りと天井作成工事とを残すのみとなりたるに依り八月中には全部竣成の運びとなるべき由なり

◎内外綿の擴張 内外綿會社の青島工場は當初より六萬鍾計畫の下に著手せられたるものなるも紡機の英國積出不如意なる爲め不取敢第一期計畫として二萬鍾の設備を進め茲二三箇月内に完成の見込なるが同社にては休戦と共に英國に向て紡機四萬鍾の注文を發し該機械は明年一月頃より弗々當地到着の筈なれば之に伴ふて工場も擴張を見る可く然れば九年上半年中には尠なくとも三四萬鍾運轉の運びに至る可しと

◎石油輸入漸増 本春來不需要期に向へる爲め其輸入全く控へられし石油も茲許漸く下半期に懸らんとするに及び來るべき秋季需要に應せんが爲め昨今手當輸入弗々開始せらるゝに至れるが前月下旬はスタンダード會社品老牌五萬箱、虎牌九百八十八箱、ナイト、テンプラー號にて亦アジア會社製品散油一千九百噸揃みツリゴニア號にて何れも紐育、新嘉坡兩方面より輸入せり内地寶田石油製品も第三萬盛丸にて赤全勝二千箱青全勝五百箱輸入せられたり尙スタンダード箱物は既に例年の山東全需要額を輸入し終れりと傳へられつゝあるが自今市價はス社物一等品老牌六圓二十五錢二等品六圓十五錢三等品鷺牌五圓八十五錢アジア會社物三等品僧帽印五圓八十五錢見當にて日本物の前述赤全勝は五圓五十五錢青全勝は五圓四十五錢なりと因に本月に入りてよりも上旬中既に紐育より二千百餘噸の輸入ありたりと◎貸下地轉賣時價 工場地及び店舗住宅敷地は需要に對して著しく不足せる結果權利の賣買は盛に行はれつゝある由にて其標準相場も場所に依り略一定せるが山東問題の講和會議に上れる際恰新町移轉が問題となれる爲め其當時に於て新市場附近は坪

金十圓見當なりしも其後右兩問題は好都合に解決して在住者は安定を得殊に市場附近は新町の有無に重大の關係を有するに依り此落着に伴ひて自然に昂騰し昨今は坪銀七八圓となり工場地も坪金十圓を唱へ居れりと云へば二千坪の敷地を得る爲には金二萬圓を要する計算なり

◎埠頭倉庫業況 鐵道部埠頭倉庫に於ける本月中旬の受寄貨物は小麥、棉花、麥粉、綿布等千六百十六噸三、價額銀十五萬五千十三圓、出庫貨物は米、小麥、麥粉、棉花等千九百九噸三、價額銀九萬六千九百八十七圓五十五錢にして旬末在庫貨物は五千五百三十五噸四、價額銀四十八萬三千七十二圓七十五錢なるが其主なる貨物は米、小麥、麥粉、屑煙草、石油、棉花、煉瓦及び瓦等なり更に之を前年同期に比較すれば受寄貨物は一千五百九噸九、出庫貨物は千四十二噸五を増加し旬末在庫貨物數量亦四千三百五十六噸八を増加せり

◎食料品の暴騰 青島に於ける物價の騰貴は近來特に著るしきものあり昨年の如く連續騰貴を見るに於ては如何に生活に無關心の者と雖も異常の騰貴に氣付かざるを得ざるが今生活必需品數種に就て本年五月と昨年六月との相場を比較するに白米は角九印特撰赤一石三十三圓六十錢なりしものが四十七圓に茶は正喜撰一斤九十二錢より一圓十錢に白砂糖は十七錢より二十二錢に鶏卵は九圓(千個)より十七圓に騰貴し居れり即ち詳細左の如し

	昨年六月	本年五月	比較高
白米特撰赤單位(石)	三三、六〇	四七、〇〇	一三、四〇
同 青	三二、三〇	四五、〇〇	一二、七〇
同 黑	三一、三六	四四、〇〇	一二、四〇

白砂糖(一斤)	一七	二二	五
同 中 白	一六	二一	五
大豆(二升)	三八	四〇	二
小豆(同)	三五	四五	一〇
櫻麥(同)	二七	三五	八
麥(同)	三一	三七	六
鶏卵(千個)	九、〇〇	一七、〇〇	八、〇〇

◎鑛石輸送數量 金嶺鎮鐵山鑛石の八幡輸送の爲め中村組にては本月初頭小樽、雲海、久美愛、研究、神祐の五隻を配給し月内に一萬二三千噸積取の筈なりしも沿線滯貨一掃の爲め鐵道輸送の鑛石が一日四百五十噸より三百噸に減少されたと赤鐵青鐵積合不能の關係より中途船繰に變更を加へられたる結果小樽外二隻に依て約八千噸を輸送せるのみなるが來月は鐵道輸送も復舊する事とて配船數も増加を見る可しと

◎兩石油倉庫移轉 大港附近の亞細亞及スタンダード兩石油會社の倉庫は今回當局者に於て他に移轉せしむる必要を生じたるを以て昨日午前十時早川民政署長は署長室に兩會社代表者を招きて其旨を傳へたるが兩會社は他に適當なる候補地を選定して近く移轉すべしと

◎日本人課稅實施 當守備軍にては豫て管内の支那人に對して相當の課稅をなし來れるが其種目は地租、營業稅、船車稅、鹽稅、雜稅等にして稅率も亦全部獨逸時代の制度を其儘踏襲せり然るに同一治下に在る邦人が殆ど何等の負擔をなさざるは不合理なりとの説は從來屢々繰返されたるも元來土地の繁榮發達を期する爲め成るべく在住者の負擔を輕減する方針の上青島の運命も其だ曖昧なりし事とて當局者は寧ろ尙早を唱へ居たるが今日は占領以來既に六星霜を經過し且つ其前途も略々逆睹し得べき

を以て前記の意見再び頭を擡げ最近斷行説に傾きて來れるものゝ如く愈々其方針を以て調査の歩を進むべしと聞く而して其稅率に關しては例へば人車稅の毎刻金一圓五十錢に比して自働車稅の僅に倍額なるが如く稍々權衡を缺くもの尠からざるも其の改正は姑く別問題として日支八全く同一程度に於て課稅をなす外特に邦人に對しては一般に公平を保つ必要上支那人に賦課以外の新稅を課する場合あるやも知れず尙ほ其實施の時期は未定なるが一部には守備軍撤廢後を以て妥當なりと説く者あれども早晚實現せざるべからざる事實なるを以て多分其時期を早めて軍政會計本年度次期の始め即ち十月頃より開始せらるべしと云ふ

◎青島銀行成立 青島銀行創立總會は六月二十二日午後三時市民會に於て開催先づ高木鐵太郎氏の創立經過報告ありたる後同氏議長席に就き豫て通知の各議案を順次附議可決し最後に役員の選舉を行ひ左の如く當選せるが頭取及び専務取締役は更に取締中より互選の筈なり

取締役 井上精一、吉澤干城、高木鐵太郎、石井久次、田邊郁太郎、山田三平、松崎翠、大山格可

監查役 吉岡嘉次郎、馬場長兵衛、峰村正三

◎早川署長記者招待會 早川民政署長は六月二十日午後七時より在青各新聞雜誌記者約三十名及び日頃記者側と最も密接の關係を有する當局十數名氏膠州町第一樓に招待して懇話會を催せるが開宴と共に早川氏起つて開宴の挨拶を述べ今後益々時局の多事を加ふるに際し兩者の親睦諒解を厚くし以て圓滿なる進展を期し度き希望を述べ次で來賓記者側を代表して大戸青島新報編輯長の謝辭あり餘興には帮間蝶真吉の落語藝妓連の手踊等あり

一同十二分の歡を盡して十時盛會裡に散會せり

人事 (六月中)

△大阪校長團一行 大阪小學校長團一行七名三日見學の爲め來青四日濟南に向ふ

△夏秋東拓理事發 東拓理事に新任せる元青島守備軍民政部總務部長夏秋十郎氏は四日臺北九にて東上せり

△米國新聞記者來 紐育イヴニングポスト記者シヨルツ氏は六日濟南より來青七日上海に向ふ

△早川氏民政署長 中野氏轉任後青島民政署長心得なりし早川清氏は九日附青島民政署長に補せらる

△尾藤侍從武官來 侍從武官尾藤陸軍少將は十三日來青 聖旨を傳へ十四日沿線に發程

△米國武官の著發 北支那駐屯米國軍司令官ワイルダー大佐は十四日來青十五日歸國の途に就けり

△山田陸軍少將來 陸軍少將山田陸槌氏は十六日濟南より來青二十一日沿線に向ふ

△德川書記官著發 北京公使館書記官德川家正氏は十八日來青二十一日濟南に向ふ

△町内總代の指名 市内各町の町内總代二十五日決定夫々指名されたり

△入澤氏總務部長 朝鮮總督府道事務官入澤重慶氏は今回青島守備軍民政部總務部長に任せらる

法規

軍軍令第二十一號

大正四年五月軍軍令第四十三號電話通話規則左ノ通改正ス

大正八年六月二十二日

青島守備軍司令官 大島 健一

電話通話規則

第一條 電話ノ通話以下通話ト稱スハ本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ爲スヘシ但シ同一電話加入區域内ニ於ケル加入者相互間ノ通話ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 通話ノ種類ハ普通通話及至急通話ノ二種トス

第三條 通話ノ順位ハ左ノ如シ但シ同一種類ノ通話ノ順位ハ其ノ請求順序ニ依ル

一 至急通話

二 普通通話

第四條 通話ハ每五分時ヲ以テ一通話時トス但シ五分時ニ滿タサル端數ハ之ヲ一通話時ト看做ス通話時ハ關係電話回線ヲ接續シ通話開始方ヲ通話請求者ニ通告シタル時刻ヨリ之ヲ起算ス

第五條 通話ハ二通話時ヲ超エテ繼續スルコトヲ得ス但シ他ニ通話請求ナキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 通話區域ヲ別チテ市内通話區域及市外通話區域ノ二種トス

市内通話區域トハ同一電話普通加入區域ニ屬スル地域ヲ謂ヒ市外通話區域トハ通話ヲ爲シ得ル其ノ他ノ地域ヲ謂フ

市外通話區域ハ別ニ之ヲ定ム

第七條 加入電話ニ依リ通話セムトスルトキハ左ノ事項ヲ所屬電話官署ニ申出ツヘシ

一 通話種別

二 對話地名及對話者電話番号

三 請求者電話番号

通話事務ヲ取扱フ電話官署ニ於テ通話セムトスルトキハ前項

第一號及第二號ノ事項ヲ當該電話官署ニ申出ツヘシ

自働電話所ニ於テ通話セムトスルトキハ當該自働電話ニ依リ

第一項第一號及第二號ノ事項ヲ所屬電話官署ニ申出ツヘシ

自働電話ニ依リ通話スルコトヲ得ル區域ハ自働電話所ニ之ヲ

揭示ス

第八條 對話者ヲ電話官署ニ呼出シ通話セムトスルトキハ加入

電話ニ依リ又ハ通話事務ヲ取扱フ電話官署ニ出頭シ左ノ事項ヲ告ケテ之ヲ請求ヲ爲スヘシ

一 通話種別

二 通話時數

三 對話地名及被呼者居所氏名

四 請求者ノ居所加入電話ニ依ル場合ハ其ノ電話番号及氏名

電話呼出區域ハ別ニ之ヲ定ム

第九條 呼出請求者ハ被呼者ニ左記指定事項ノ通告ヲ請求スルコトヲ得

一 本人ニ限ル

二 代人ニテモ可ナリ

三 即刻又ハ何時迄通話ヲ待ツ

四 何時頃ニ通話シタシ

五 何處何番電話番号ヘ通話アレ

第十條 呼出請求者ハ呼出ノ取消又ハ指定事項ノ變更ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲ストキハ當該呼出料ト同額ノ料金ヲ納付スヘシ但シ關係電話官署ニ對シ呼出通知前ナルトキハ無料トス

第十一條 呼出ノ請求アリタルトキハ呼出受持電話官署ニ於テ左ノ事項ヲ記載シタル前納通話券ヲ發行シ之ヲ被呼者ノ居所

ニ配達ス

一 前納料金額

二 通話種別

三 指定事項

四 請求ヲ受付ケタル局

五 被呼者居所氏名

六 請求者カ加入者ナル場合ニハ所屬電話官署名及電話番号

請求者カ加入者ニ非サル場合ニハ請求ヲ受ケタル電話官

署名及請求者氏名

七 發行年月日

第十二條 呼出請求者第十條ノ請求ヲ爲シタル場合ニ於テ前納

通話券配達濟ナルトキハ前條ノ例ニ準シ請求ノ要旨ヲ被呼者

ニ通知ス

第十三條 前納通話券ハ當該呼出通話以外ノ通話ニモ之ヲ使用

スルコトヲ得但シ一通ノ前納通話券ヲ以テ數箇ノ通話ヲ爲シ

又ハ二通以上ノ前納通話券ヲ以テ一箇ノ通話ヲ爲スコトヲ得

ス

前納通話券ヲ以テ爲シタル通話ノ料金該前納料金額ヲ超過ス

ルトキハ其ノ不足分ヲ納付スヘシ

前納通話券ノ有効期間ハ其ノ發行ノ日ヨリ起算シ三十日トス

第十四條 居所不明其ノ他ノ事故ニ因リ前納通話券ヲ被呼者ニ

配達スルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ呼出請求者ニ通知ス

第十五條 市内普通通話料及呼出料左ノ如シ

通話料 一通話時 金五錢

呼出料 一回 金五錢

市外通話料及呼出料ハ別ニ之ヲ定ム

至急通話料ハ普通通話料ノ二倍トス

第十六條 通話ニ關スル料金ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ納付スヘシ

一 加入電話ニ依ル通話ニ在リテハ毎月分ヲ翌月二十日迄ニ

納付スヘシ

二 通話事務ヲ取扱フ電話官署ニ於ケル通話ニ在リテハ通話

請求ノ際納付スヘシ但シ呼出通話ニ非サルモノハ一通話時

ノ料金ヲ前納シ二通話時以上ニ亘リタルトキハ通話ヲ終リ

タル後其ノ不足料金ヲ納付スヘシ

三 自働電話所ニ於ケル通話ニ在リテハ所屬電話官署ノ指定

スル方法ニ依リ本邦通貨ヲ以テ納付スヘシ

第十七條 加入電話ニ依リ爲シタル通話ハ總テ當該加入者ノ爲

シタル通話ト看做ス

第十八條 左記各號ノ料金ハ納付人ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

一 電話官署ノ過失ニ因リ徵收シタル通話ニ關スル料金

二 電話官署ノ過失ニ因リ呼出ノ請求ニ對シ其ノ取扱ヲ爲サ

サルカ又ハ呼出ノ取扱カ普通郵便ノ連絡ニ依ルヨリモ遅レ

タル場合ノ呼出料

三 電話官署ノ過失ニ因リ第十條ノ請求ニ對シ其ノ取扱ヲ爲

ササルカ又ハ其ノ取扱カ普通郵便ノ連絡ニ依ルヨリモ遅レ

タル場合ニ於ケル當該取扱料金

四 電話官署ノ過失ニ因リ至急通話ノ請求ニ對シ至急ノ取扱

ヲ爲ササリシ場合ニ於ケル至急通話料ト普通通話料トノ差

額

五 前納通話券ヲ被呼者ニ交付シ得サリシ場合ニ於ケル前納

通話料

六 前納通話券ヲ使用セスシテ其ノ有効期間ヲ經過シタル場

合ニ於ケル前納通話料

七 前納通話券ヲ以テ通話シタル場合ニ於ケル通話料カ前納

額ニ滿タサルトキハ其ノ殘餘ノ料金

前項ノ請求ハ料金納付ノ日ヨリ起算シ六十日以内ニ其ノ料金ヲ
納付シタル電話官署ニ之ヲ爲スヘシ但シ第六號ノ請求ニ對シテ
ハ當該前納通話券ヲ添付スヘシ

附 則

本令ハ大正八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

軍告示第百二十二號

電話市外通話區域並其ノ普通通話料及呼出料左ノ通定メ大正八
年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正八年六月二十二日

青島守備軍司令官 大島 健一

通話區域

一通話ニ對スル料金

一回ノ呼出料

青島李村間

金 拾 錢

金 拾 錢

青島滄口間

金 五 錢

金 五 錢

李村滄口間

軍告示第百二十三號

電話呼出區域左ノ通定メ大正八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正八年六月二十二日

青島守備軍司令官 大島 健一

呼出區域

呼出受持電話官署

青島(臺東鎮局ニ屬スル區域ヲ除ク)

青 島

臺東鎮、青島若鶴町二丁目、青島巽通(若鶴バラ
ツク以北)

臺東鎮

李 村

滄口驛所在地、東滄口

軍告示第百二十四號

大正八年二月軍告示第三十四號青島郵便局滄口出張所取扱事務
中ニ左記一項ヲ追加シ大正八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正八年六月二十二日

青島守備軍司令官 大島 健一

五、電話通話、電話呼出

倫敦銀塊相場

(大正八年六月)

一日	日曜	十一日	同	二十一日	同
二日	五十二片二分一	十二日	五十四片四分一	二十二日	日曜
三日	五十三片八分一	十三日	五十四片八分七	二十三日	五十四片二分一
四日	五十三片八分三	十四日	同	二十四日	五十三片四分三
五日	同	十五日	日曜	二十五日	五十四片六分五
六日	同	十六日	五十四片四分一	二十六日	同
七日	五十三片八分一	十七日	五十四片四分三	二十七日	五十三片四分三
八日	日曜	十八日	五十四片八分七	二十八日	同
九日	五十三片八分一	十九日	同	二十九日	日曜
十日	同	二十日	五十四片四分三	三十日	五十三片八分一

寄贈書類目錄

(六月中到著ノ分)

日本棉花週報	自第一一五二號	日本棉花週報社
通商公報	自第六二二號	外務省通商局
報	至第六三〇號	仁川商業會議所
報	第一〇九號	

[illegible]

品名		建物		單位		本月ノ價格		前月ノ價格		比較	
木	材	同	四連	一立方	米	銀	28,000	金	30,000	△	2,000
		鴨綠江赤松	一連	"	"		24,000		29,000	△	5,000
		同	二連	"	"		30,000		31,000	△	1,000
		同	三連	"	"		32,000		32,000	×	
(蔬菜及果實類)											
大馬薩牛人	根薯芋芣蓼	紅新	大根	百	斤	金	4,000		5,000	△	1,000
		齡摩		"	"		10,000		—		
				"	"		5,000		3,000	□	2,000
				"	"		10,000		10,000	×	
菠	穫貨	草類		一	貫		300		250	□	50
綿	絲	雙虎十六手	一	件	銀兩	128,000		168,000	△	40,000	
		紅團龍	"	"		125,000		166,000	△	41,000	
		丹鳳	"	"		122,800		167,000	△	44,200	
		銀月月	"	"		125,000		175,500	△	50,500	
憐	寸	紅萬福喜大	一	大箱	銀	41,000		—			
		雙	"	"		41,000		—			
		新	一	枚		300		330	△	30	
		同	"	"		280		300	△	20	
麻	袋	舊		"		250		250	×		
		撫順塊炭	一	噸		16,500		16,500	×		
		博山塊炭	"	"		15,000		15,000	×		
		淄川塊炭	"	"		12,000		12,000	×		
石	炭										

品名		建	物	單	位	本月ノ價格		前月ノ價格		比	較
落花生油	豆油	上	肉	百	斤	銀	23,500	銀	19,000	□	4,500
				"	"		17,200		13,400	□	3,800
				"	"		3,000		2,900	□	100
				一百	磅	金	250		250	×	
				一百	目	金	200		200	×	
牛	肉	中下	肉	"	"		180		180	×	
				"	"		160		160	×	
				"	"	銅元	300		300	×	
				"	"	銀	300		300	×	
豚鷄鷄	肉卵			千	個	金	17,000		17,000	×	
牛	皮	大大大中中	上中下上中	百	斤		32,000		33,000	△	1,000
				"	"		29,000		30,000	△	1,000
				"	"		28,000		29,000	△	1,000
				"	"		28,000		31,000	△	3,000
				"	"		26,000		30,000	△	4,000
				"	"		24,000		29,000	△	5,000
				"	"		35,000		37,000	△	2,000
				"	"		33,000		36,000	△	3,000
				"	"		31,000		35,000	△	4,000
				"	"	銀	1,800		1,800	×	
牛	油			"	"		15,500		16,000	△	500
牛(建築材料)	灰粉	普通花崗石	三才以下ノ平均	百	斤	銀	650		650	×	
				十一	貫		2,550		2,700	△	150
				十一	才		400		400	×	
				"	"		450		450	×	
				一	才		600		600	×	
				"	"		700		700	×	
				千	箇		9,000		9,000	×	
				"	"		8,000		8,000	×	
				"	"		30,000		30,000	×	
				"	"		60,000		60,000	×	
煉瓦	瓦類	鱗中黑	瓦葺煉瓦	"	"		7,500		7,500	×	
				"	"		8,000		8,000	×	
				"	"		22,000		22,000	×	
				"	"		26,000		26,000	×	
				"	"		29,000		29,000	×	
木	材	同	手押煉瓦(支那型)	一	立方	米	22,000		22,000	×	
				連	"		26,000		26,000	×	
				連	"		29,000		29,000	×	

品名		建物		單位		本月ノ價格		前月ノ價格		比較		
綿	布	九龍	龍	一	疋	銀兩	5,950	銀	5,900	□	50	
		太鼓	天竺	"	"	"	5,850	"	5,800	□	50	
		得寶	牌	"	"	"	3,650	"	3,450	□	200	
		雜	牌	一	大箱	"	31,500	"	31,500	×		
				"	"	"	31,000	"	31,500	△	500	
石	油	青	金	一	箱		5,600		5,600	×		
		赤	金	"	"	"	5,500	"	5,500	×		
		美		"	"	"	6,250	"	6,250	×		
		美		"	"	"	6,150	"	6,150	×		
		亞細亞	僧帽	"	"	"	5,850	"	5,850	×		
石	炭	幸	福	"	"		6,200		6,200	×		
		星		"	"		6,300		6,300	×		
		姪	濱塊	一	噸		17,500		17,500	×		
		若	松塊	"	"		17,500		17,500	×		
		人	吉小丸	六	貫倭金		3,200		3,200	×		
木	炭	同	角	"	"		3,100		3,100	×		
		同		"	"		2,800		2,800	×		
		丸	上角淺	"	"		2,500		2,500	×		
(支那品)												
農畜產及加工品												
白	米	上	海	一	等	品	百五十斤入	銀	10,000	8,500	□	1,500
		同	同	二	等	品	"	"	8,500	6,300	□	2,200
		同	同	三	等	品	"	"	6,400	5,500	□	900
高	梁	滿	洲	一	等	品	百	斤	2,300	2,400	△	100
		同	同	二	等	品	"	"	2,150	2,300	△	150
		同	同	三	等	品	"	"	1,850	2,100	△	250
大小黃落	麥	同	同	三	等	品	"	"	1,900	2,000	△	100
		同	同	三	等	品	"	"	4,200	3,900	□	300
		同	同	三	等	品	"	"	3,250	3,200	□	50
花	豆	無	殼	"	"	品	"	"	9,000	7,600	□	1,400
		兵	船	一	等	品	"	"	2,300	2,250	□	50
		同	同	二	等	品	"	"	2,200	2,150	□	50
麥	粉	同	同	三	等	品	"	"	1,600	1,500	□	100
		綠	魚	一	等	品	"	"	2,500	2,400	□	100
		同	同	二	等	品	"	"	2,300	2,250	□	50
棉	花	同	同	三	等	品	"	"	1,600	1,400	□	200
		同	同	三	等	品	"	銀兩	27,000	27,000	×	

銀兩

品名	建 物	單 位	本月ノ價格	前月ノ價格	比 較
ヘ ツ ト ラ ー ド (建築材料)		三 磅 入	金 1,500	金 1,500	×
丸 鐵	5/1/8"-3/4" 平均	拾 貫 銀	4,300	銀 4,300	×
鐵 板	十 三 入 3'×6'	一 貫 枚	品切レ		
	五 入 二 厘 3'×6'	"	2,400	2,550	△ 110
	平 板 #30-3'×6'	"	2,000	2,120	△ 120
亞 鉛 板	同 上 #26-3'×6'	"	2,00	2,380	△ 380
	浪 板 #30-3'×6'	"	1,800	1,800	×
	同 上 #26-3'×6'	"	2,150	2,100	□ 50
洋 釘	1/11-5/11	百 斤 入 一 樽	15,600	16,100	△ 500
阿 部 ペ イ ン ト	鍍色A 二十八磅入	一 樽	3,200	3,300	△ 100
セ メ ン ト	白鉛 "	"	7,200	7,400	△ 200
	小 野 田	"	4,800	5,200	△ 400
	普 四 分 板	一 坪	1,100	1,100	×
	二間 正 四 分 板	"	1,600	1,600	×
	同 正 六 分 板	"	2,400	2,400	×
	同 正 一 寸 板	"	3,900	3,800	×
	同 一 寸 五 分 角	一 本	280	380	△ 100
	同 二 寸 角	"	480	480	×
	同 二 寸 ノ 三 寸	一 本	700	700	×
木 材	同 三 寸 角	"	1,000	1,000	×
	同 四 寸 角	"	1,760	1,760	×
	中横三寸四分ノ五分	一 枚	230	230	×
	大横三寸七分ノ七分	"	330	330	×
	木 摺	一 坪	950	1,000	△ 50
	鹽 地 柚 角	一 才	130	130	×
	栓 柚 角	"	100	130	△ 30
	樺 柚 角	"	130	130	×
	桂 角	"	120	120	×
	櫻 角 { 樺 太 地	"	130	130	×
		"	160	160	×
雜 貨	菊 花 四十二手燃絲	一 表	銀 290,000	305,000	△ 15,000
	日 鳥 二 十 手	"	192,000	195,000	△ 3,000
綿	一 扇 面 十 六 手	"	173,000	175,000	△ 2,000
	金三馬 同	"	172,000	175,000	△ 3,000
	藍 魚 同	"	品切レ	177,000	

品名	建物	單位	本月ノ價格	前月ノ價格	比較
飲料	水	四打入一箱	金 7,800	金 7,800	×
	シトロナ	一	9,500	9,500	×
茶	三矢喜撰柳	一斤	1,100	1,100	×
	正青川	一	600	600	×
	川	一	500	500	×
砂	糖	一	220	200	□ 20
醬	油	一	210	190	□ 20
	白中龜	一斗入一樽	6,500	6,500	×
	龜澤	一	6,300	6,300	×
	甲甲	百目	150	150	×
漬物類	梅奈樂干椎	一	200	200	×
	其京	一	400	400	×
	干漬漬瓢葺	一	180	150	□ 30
	干椎	一	300	300	×
乾物類	昆凍凍劍二	一	2,500	2,500	×
	豆茹	一	250	250	×
錫	布腐弱先番	十個	250	250	×
	劍二	百目	200	200	×
	上中下龜松	一	2,500	2,500	×
鯉	節	一	1,000	1,000	×
	松	百目	1,300	1,300	×
	印葺	一	1,200	1,200	×
	一	一	1,100	1,100	×
	一	一	1,200	1,200	×
罐詰類	筍鯉赤サ	一	650	650	×
	豆	一	450	400	□ 50
	豆	一	380	380	×
	豆	一	380	380	×
	豆	一	450	380	×
大豆	豆	一	400	450	×
小隱挽櫻	豆	一	450	450	×
	豆	一	600	700	△ 100
	麥	一	380	380	×
	麥	一	360	360	×
	麥	一	350	350	×
薯片	麥	一	370	370	×
	麥	一	150	150	×

日	次	牛	犢	豚	羊	山 羊	計
九	日	11	—	21	1	—	33
十	日	11	—	23	2	—	36
十	一	17	—	22	1	—	40
十	二	10	—	19	1	—	30
十	三	14	—	21	2	—	37
十	四	21	—	42	3	—	66
十	六	11	—	22	2	—	35
十	七	12	—	20	3	—	35
十	八	12	—	18	1	—	31
十	九	11	—	20	3	—	34
二	十	9	3	21	1	—	34
廿	一	19	—	35	4	—	58
廿	三	12	—	22	1	—	35
廿	四	14	—	21	2	—	37
廿	五	16	1	21	1	—	39
廿	六	11	—	24	2	—	37
廿	七	12	2	37	—	—	51
廿	八	19	2	41	4	—	66
三	十	20	—	18	1	—	39
合 計		376	11	623	45	—	1,055
一月以降累計		21,986	33	5,204	308	6	27,537

青 島 物 價 表 (五月三十一日)

□印騰貴 △印下落 ×印保合

品 名	建 物	單 位	本月ノ價格	前月ノ價格	比 較
食 料 品					
白 米	印 特 撰 赤	一 石	47,000 金	46,000	□ 1,000
	" 青	"	45,000	44,000	□ 1,000
	" 黑	"	44,000	43,000	□ 1,000
糯 米	特 撰 一 等	"	51,000	53,000	△ 2,000
	特 撰 二 等	"	50,000	52,070	△ 2,000
清 酒	白 眞 東	鶴 四斗五升入一樽	57,000	57,000	×
	正 宗	"	53,000	53,000	×
	キ リ	"	49,000	49,000	×
	ア サ	四 打 入 一 箱	15,000	15,000	×
ビ ー ル	サ ツ ホ	"	14,500	14,500	×
	サ ク	"	14,500	14,500	×
	ラ	"	12,500	12,500	×

驛名	乘客數				降客數			
	一等	二等	三等	計	一等	二等	三等	計
嶺鎮田店尙莊	13	217	19,801	20,031	20	252	21,815	22,087
	—	23	2,313	2,336	—	17	681	698
	96	2,564	44,352	47,012	109	2,718	44,374	47,201
	—	20	9,951	9,971	1	59	12,002	12,062
周大王營明	—	—	—	—	—	—	—	—
	151	1,404	116,561	118,116	162	1,282	101,583	103,027
	1	13	3,766	3,780	—	22	4,508	4,530
	8	116	9,062	9,186	9	118	9,414	9,541
萊園莊山堡店莊	6	196	14,106	14,308	6	202	15,685	15,893
	31	271	26,071	26,373	21	286	28,507	28,814
	61	1,073	41,843	42,977	81	1,023	46,071	47,175
	2	81	15,860	15,943	2	49	18,889	18,940
郭舍人	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	25	18,516	18,544	2	24	18,424	18,450
	—	77	23,201	23,278	—	25	15,458	15,483
	—	—	—	—	—	—	—	—
八黃北濟南	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	612	29,586	30,207	12	179	2,714	2,905
	33	685	58,843	59,561	6	11	1,872	1,889
	1,697	6,643	154,274	162,614	1,753	8,072	251,879	261,703
淄川炭	1	192	9,609	9,802	1	164	10,548	10,713
	84	2,161	45,701	47,946	102	1,839	46,170	48,161
	33	577	31,700	22,310	18	505	20,157	20,680
	477	6,067	65,223	71,767	441	5,739	67,378	73,558
合計	17	1,763	11,512	13,292	46	2,053	12,341	14,440
	5,625	42,676	2,111,639	2,159,940	5,625	42,676	2,111,639	2,159,940

青島屠獸場屠殺數 (六月中)

日次	牛	犢	豚	羊	山羊	計
二	15	—	29	2	—	46
三	22	—	17	1	—	40
四	13	1	21	2	—	37
五	21	—	22	1	—	44
六	19	—	24	—	—	43
七	18	2	42	4	—	65
八	6	—	—	—	—	6

大正七年度山東鐵道乘降客驛別表 (自大正七年四月至大正八年三月)

驛名	乘客數				降客數			
	一 等	二 等	三 等	計	一 等	二 等	三 等	計
青島	1,613	6,249	204,256	212,118	1,769	8,015	298,876	308,660
大埠頭事務所	379	2,374	90,229	92,982	107	387	7,137	7,631
四滄	—	—	—	—	—	—	—	—
女姑口	15	297	16,587	16,899	20	391	4,764	5,175
城陽	42	1,165	93,789	94,996	41	1,048	81,223	82,312
南泉村	18	522	28,968	29,508	20	412	31,644	32,076
藍村莊	42	891	60,977	61,910	76	956	71,251	72,283
李哥莊	4	72	19,513	19,589	1	87	19,828	19,916
膠州	18	172	41,153	41,343	26	209	41,485	41,720
膠臺	—	36	12,040	12,076	—	40	12,109	12,149
芝蘭	—	20	3,224	3,244	—	10	819	829
姚哥莊	50	713	68,199	68,962	62	722	69,263	70,047
高密	—	—	—	—	—	—	—	—
蔡家莊	—	12	8,230	8,242	—	20	9,048	9,068
塔耳堡	1	20	2,814	2,835	—	15	1,430	1,445
丈嶺莊	24	364	47,368	47,756	27	421	48,226	48,674
太堡	3	35	12,219	12,257	2	20	11,542	11,564
昨山	—	20	3,184	3,204	—	16	2,619	2,635
黃旗堡	4	97	10,915	11,016	1	104	9,695	9,800
南流屯	—	—	—	—	—	—	—	—
蝦蟆子	17	228	16,734	16,979	13	215	16,252	16,480
坊子	—	29	5,579	9,608	—	39	10,821	10,860
二里堡	9	54	6,715	6,778	11	52	6,502	6,565
濰縣	—	25	9,061	9,086	—	8	9,361	9,369
大圩河	220	1,065	100,844	102,129	147	1,535	97,767	99,449
朱劉店	120	290	18,502	18,912	181	170	1,966	2,317
昌樂	195	1,363	217,122	218,680	208	1,386	221,984	223,578
堯家坊	—	26	3,175	3,201	—	20	960	980
譚家莊	—	51	18,615	18,666	—	21	20,778	20,799
青普河	4	199	39,391	39,594	10	210	41,245	41,465
辛店	2	100	14,769	14,871	1	80	15,923	16,004
	—	46	27,029	27,075	—	36	39,971	30,007
	—	17	6,966	6,983	—	16	1,234	1,250
	119	1,187	112,483	113,789	105	1,207	117,040	118,352
	—	20	4,379	4,399	1	10	1,183	1,194
	3	68	21,511	21,582	3	47	25,811	25,861
	—	69	19,248	19,317	2	62	21,412	21,476

國籍	男女別	大連	神戶	門司	上海	朝鮮	芝罘	威海衛	牛莊	安東縣	マニラ	ハプ ール	香港	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
支那人	男女	2,431 316	18	22 1	173 66	70 5	114 18	21 1	88 6	909 169	—	2,869	—	433 51	65 5	1,532 337	428 226	59 22	395 112	9,627 1,334
英國人	男女	—	—	—	4 3	—	—	—	—	—	—	12	—	—	—	—	—	—	—	16 4
米國人	男女	3 1	—	—	2 1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	6 2
露國人	男女	3 7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3 8
希臘人	男女	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
意大利人	男女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	男女	2,715 417	281 222	583 426	217 80	88 10	117 18	21 2	88 6	906 169	1	2,881	1	436 51	69 5	1,532 337	428 226	59 22	395 112	10,821 2,103
計		3,132	503	1,009	297	98	135	23	94	1,078	1	2,881	1	487	74	1,869	654	81	507	12,924

出 港 乘 船 ノ 部

國	籍	男女別	大連	大阪	神戶	門司	其 他	上海	朝鮮	芝罘	安東縣	香港	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
日	本	人	男女	330	130		422	65	6	1	—	—	1	1	—	—	—	—	956
				131	84	190	17	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	426
支	那	人	"	3,402	7		6	123	4	13	521	2	144	64	498	154	45	137	5,120
			"	254	—	—	28	—	2	64	—	—	—	7	6	50	89	10	22
英	國	人	"	—	1		—	3	—	1	—	—	3	—	—	—	—	—	8
			"	—	—	—	—	7	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	8
米	國	人	"	1	—		—	4	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	6
			"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
露	國	人	"	—	—		—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
			"	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
和	蘭	人	"	1	—		—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
			"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合	計	計	"	3,734	133		428	199	10	15	52	6	145	65	493	154	45	137	6,095
			"	387	84	190	53	4	2	64	2	7	6	50	89	10	22	970	
			"	4,121	222	618	252	14	17	585	8	152	71	548	243	55	159	7,065	

青島大港兩驛乘降客人員 (五 月 中)

驛 別	一 等 車		二 等 車		三 等 車		計	
	乘	降	乘	降	乘	降	乘	降
青 島 驛	148	212	440	578	17,789	27,886	18,377	28,676
大 港 驛	38	5	211	22	11,146	481	11,395	503
合 計	186	217	651	600	28,935	28,367	29,772	29,184
一 月 以 降 累 計	884	854	3,869	5,135	129,771	173,014	134,524	179,003

汽船國籍別	日 本 內 地			朝鮮	臺灣	大 連	上 海	芝罘	天津	其ノ他 支那港	香 港	其ノ他 外 國	計
	大 阪 神 戶	門 司 其ノ他											
和 蘭 船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	88.0	88.0
露 國 船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
支 那 船	—	—	—	—	—	—	340.1	38.0	—	126.7	657.0	—	1,161.8
合 計	10,588.6	8,205.1	467.4	—	1,454.8	11,403.1	51.4	0.3	4,114.1	2,524.0	1,700.9	40,509.7	

出港汽船積荷噸數國籍別 (五月中)

汽船國籍別	日本内地			朝鮮	臺灣	大連	上海	芝罘	天津	其ノ他 支那港	香港	浦鹽	マニラ	其他 外國	計
	大神	阪戸	門其ノ司 ノ他												
日本船	17,413.8	23,391.7	1,385.2	26.1	5,397.6	5,902.8	112.9	988.1	83.6	—	507.8	—	—	—	55,209.6
英國船	—	—	—	—	—	1,944.6	92.9	—	409.6	121.9	—	—	—	—	2,569.0
米國船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	506.1	—	—	506.1
和蘭船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66.0	66.0
露國船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
支那船	—	—	—	—	—	—	7.5	—	39.1	—	—	—	—	—	46.6
合計	17,413.8	23,391.7	1,385.2	26.1	5,397.6	7,847.4	213.3	988.1	532.3	121.9	507.8	506.1	66.0	—	58,397.3

埠頭營業倉庫出入貨物

月	次	繰越		受寄		出庫		残高	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
一	月	3,076.1*	134,965.67 200,827.30	3,829.5	517,896.20	2,107.3*	33,313.24 153,688.80	4,798.3*	101,652.43 565,034.70
二	月	4,798.3*	101,652.43 565,034.70	1,323.7	336,413.10	1,263.7*	46,109.24 472,986.25	4,858.3*	55,543.19 428,461.55
三	月	4,858.3*	55,543.19 428,461.55	2,754.3	287,285.20	1,581.5*	55,543.19 146,381.55	6,031.0	569,365.20
四	月	6,031.0	569,365.20	1,300.9	115,036.20	1,571.7	179,349.60	5,760.2	505,101.80
五	月	5,760.2	505,101.80	668.9	81,854.50	1,036.0	121,552.50	5,393.1	465,403.80
一月以降累計		24,523.9*	292,161.29 2,258,790.55	9,877.3	1,338,535.20	7,560.3*	134,965.67 1,073,958.70	26,840.9*	157,195.62 2,533,367.05

青島港出入船舶旅客 (五月中)

●印ハ帆船出入旅客ヲ示ス

入 港 上 陸 ノ 部

國	籍	男女別	大連	大神 阪戸	門其 ノ司他	上 海	朝 鮮	芝 罽	威海 衛	牛 莊	安東 縣	マニ ラ	ハ ブ ル	香 港	石 臼 所	海 州	●山東 省	●江蘇 省	●福建 省	●關東 州	計
日	本	人{ 男女	277 -93	263 222	561 425	38 8	18 5	3 —	— 1	— —	— —	— —	— —	1 —	3 —	4 —	— —	— —	— —	— —	1,164 758

仕 向 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			和 蘭 船			支 那 船			計		
	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數
釜 山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
仁 川	3	1,769	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1,769	—
其 他 朝 鮮	1	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	7	—
香 港	—	—	—	3	14,402	—	—	—	—	—	—	—	1	720	—	4	15,122	—
麻 呢 刺 蘭	1	1,908	—	—	—	—	2	5,020	—	—	—	—	—	—	—	3	6,928	—
浦 其 他 外 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	94	67,987	—	13	30,191	—	2	5,020	—	1	1,056	—	8	2,580	—	118	106,834	—

出 港 部

日 本 內 地	30	31,242	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	31,242	—
大 連	16	11,696	1	4,601	—	—	—	—	—	—	1	859	18	17,156	—
上 海	19	16,535	8	20,759	—	—	—	1	1,056	—	—	—	28	38,350	—
芝 罘	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	720	1	720	—
天 津	2	1,065	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1,065	—
其 他 支 那 諸 港	23	5,841	3	3,999	—	—	—	—	—	—	6	1,001	32	10,841	—
臺 灣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釜 山	1	662	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	662	—
仁 川	2	852	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	852	—
其 他 朝 鮮	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
香 港	—	—	1	832	—	—	—	—	—	—	—	—	1	832	—
麻 呢 刺 蘭	—	—	—	—	2	5,020	—	—	—	—	—	—	2	5,020	—
浦 其 他 外 國	1	941	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	941	—
合 計	94	68,834	13	30,191	2	5,020	1	1,056	8	2,580	118	107,681	—	—	—

入港汽船揚荷噸數國籍別 (四 月 中)

汽船國籍別	日 本 內 地			朝鮮	臺灣	大 連	上 海	芝罘	天津	其ノ他 支那港	香 港	其 他 外 國	計
	太 神	阪 戶	門司 ノ他										
日 本 船	10,588.6	8,205.1	467.4	—	—	1,454.8	7,340.6	13.4	0.3	3,980.5	30.0	1,583.5	33,664.2
英 國 船	—	—	—	—	—	—	3,722.4	—	—	6.9	1,837.0	—	5,566.3
米 國 船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29.4	29.4

品 目	單位	日本内地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
日本炭	"	—	—	—	—	—	—
開平炭	"	—	—	—	—	—	—
コークス	"	506.1	—	—	75.0	—	581.1
陶磁器	"	—	—	—	0.4	—	0.4
硝子及同製品	"	4.8	—	—	85.3	—	90.1
鐵 (古鐵ヲ含ム)	"	4.9	—	—	—	—	4.9
銅 (眞 鍮) 塊	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他金屬	"	—	—	—	7.2	—	7.2
金屬製品	"	3.5	—	—	38.8	—	42.3
機械	"	—	—	—	6.9	—	6.9
車輛	"	0.9	—	—	—	—	0.5
桐材	"	769.3	7.6	—	—	—	776.9
其ノ他木材	"	15.3	—	—	1.4	—	16.7
麥稈 眞田	"	228.7	—	—	179.2	—	407.9
家 具	"	1.7	0.1	—	9.4	—	11.2
豆 粕	"	1,334.3	—	—	—	—	1,334.3
燐 寸	"	—	—	—	20.6	—	20.6
セメント	"	—	—	—	—	—	—
石 油	"	—	—	—	807.5	—	807.5
鐵 鑽	"	5,275.0	—	—	—	—	5,275.0
金銀銅貨紙幣	"	0.5	—	—	5.1	—	5.6
其ノ他	"	799.2	0.2	—	125.0	79.2	1,003.6
合 計	"	40,805.5	1,385.2	26.1	14,978.7	1,201.8	58,397.3

出入汽船仕向地別 (五月中)

入 港 ノ 部

仕 出 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			和 蘭 船			支 那 船			計		
	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數
日 本 内 地	37	28,910	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37	28,910	—
大 連	15	17,811	1	4,601	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	22,412	—
上 海	21	13,781	7	9,133	—	—	—	—	1	1,056	1	859	—	—	—	30	24,829	—
芝 罘	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
天 津	1	1,610	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,610	—
其ノ他支那諸港	15	2,191	2	2,055	—	—	—	—	—	—	—	—	6	1,001	—	23	5,247	—
臺 灣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
其 他 獸 肉	噸	—	—	—	—	—	—
其 豆 素	"	—	—	—	—	—	—
雞 卵 製 品	"	331.7	6.8	—	—	—	338.5
麥 酒	"	33.6	—	—	174.6	—	208.2
	"	0.2	150.0	—	534.1	—	684.3
其 他 酒 類	"	—	—	—	—	—	—
其 鹽	"	9,458.0	1,100.0	—	—	500.0	11,058.0
其 他 食 料 品	"	0.3	3.7	—	2.5	6.2	12.7
卷 (刻 ミ) 煙 草	"	—	—	—	10.5	—	10.2
葉 煙 草	"	—	3.2	—	1,946.7	—	1,949.9
獸 骨	"	4.4	—	—	—	—	4.4
骨 粉	"	49.7	—	26.1	—	—	75.8
牛 皮	"	28.2	—	—	38.7	—	66.9
其 他 獸 皮	"	0.1	—	—	0.1	—	0.2
其 羊 毛	"	—	—	—	30.6	—	30.6
豚 毛	"	—	—	—	—	—	—
落 花 生 油	"	8,218.0	—	—	3,897.1	42.2	12,157.3
豆 油	"	566.5	—	—	170.0	—	736.5
牛 脂	"	35.4	—	—	—	—	35.4
豚 脂	"	—	—	—	—	—	—
蓖 麻 子 油	"	—	—	—	—	—	—
其 他 油 類	"	0.1	0.7	—	0.3	—	1.1
藥 料 及 塗 料	"	—	—	—	28.2	0.9	29.1
綿 絲	"	—	—	—	—	8.1	8.1
	"	—	—	—	175.5	—	175.5
絹 絲	"	—	—	—	35.8	—	35.8
絹 屑	"	21.7	—	—	3.1	—	24.8
麻 絲	"	—	—	—	52.8	—	52.8
棉 花	"	—	—	—	—	—	—
繭 (屑ヲ含ム)	"	0.2	—	—	67.5	—	67.7
綿 布	"	—	—	—	106.5	—	106.5
絹 布	"	—	13	—	24.4	11.6	37.3
麻 袋 類	"	—	—	—	3.3	—	3.3
紙 類	"	1.6	—	—	17.2	—	18.8
溜 川 炭	"	2.0	—	—	—	—	2.0
博 山 炭	"	2.2	—	—	3,860.0	—	3,862.2
撫 順 炭	"	—	—	—	—	—	—

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
電 氣 用 品	噸	52.5	—	—	10.1	—	62.6
車 輛	"	48.5	1.0	—	52.9	884.4	986.8
竹 材	"	38.0	—	—	1,132.9	—	1,170.7
木 材 (板ヲ含ム)	"	2,637.7	—	—	2,209.8	—	4,847.5
燐 寸 材 料	"	1,262.0	—	—	108.3	—	1,370.3
木 炭	"	240.9	—	—	39.0	—	279.9
庭 類	"	195.2	—	—	5.8	6.7	207.7
家 具	"	32.2	3.2	—	8.5	—	43.9
豆 粕	"	—	—	—	73.2	—	73.2
阿 片	"	—	—	—	—	—	—
石 油 空 罐	"	3,815.5	97.0	—	1,371.9	—	5,284.4
箱 材 料	"	1,053.9	218.7	—	217.5	—	1,490.1
金 銀 銅 貨 紙 幣	"	—	—	—	0.4	—	0.4
其 ノ 他	"	763.1	26.9	—	433.4	261.1	1,484.5
合 計	"	18,793.7	467.4	—	17,023.7	4,224.9	40,509.7

埠頭船積貨物噸數仕向地別 (五 月 中)

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
生 牛	噸	32.5	—	—	31.5	—	64.0
其 ノ 他 動 物	"	33.0	—	—	—	—	33.0
落 生 花 實	"	6,074.3	—	—	1,726.9	17.7	7,818.9
豆 類	"	9.5	—	—	—	—	9.5
小 麥	"	6,563.5	—	—	—	—	6,563.5
其ノ他穀類及種子	"	306.8	—	—	156.2	—	463.0
麥 粉	"	37.2	111.6	—	—	—	148.8
蔬 菜	"	—	—	—	1.9	—	1.9
果 實	"	—	—	—	33.7	13.0	46.7
核 子	"	—	—	—	6.9	21.9	28.8
白 砂 糖	"	—	—	—	16.9	—	16.9
赤 砂 糖	"	—	—	—	0.4	—	0.4
冰 砂 糖	"	—	—	—	0.6	—	0.6
鮮 魚 介	"	—	—	—	0.3	—	0.3
其ノ他海產物	"	5.1	—	—	87.4	—	92.5
牛 肉	"	45.9	—	—	372.8	501.0	919.7
鹽 豚	"	—	—	—	1.9	—	1.9

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支 那	其ノ他外國	計
麥 酒	噸	5.1	—	—	—	—	5.1
清 涼 飲 料	"	25.1	—	—	157.1	—	182.1
醬 油	"	31.7	8.0	—	7.3	—	47.0
味 噌	"	2.1	7.3	—	7.0	—	16.4
其ノ他食料品	"	240.2	—	—	221.7	7.7	469.6
卷 (刻ニ) 煙 草	"	8.3	10.9	—	1,098.1	—	1,117.3
皮 草 類	"	0.3	—	—	12.7	6.1	19.1
石 油	"	243.8	—	—	—	—	243.8
桐 油	"	—	—	—	30.5	88.0	118.5
其ノ他油類	"	65.5	—	—	34.7	—	100.2
蠟 燭	"	5.5	—	—	41.3	—	46.8
石 鹼	"	53.3	—	—	20.3	2.5	76.1
藥 品	"	174.2	—	—	200.3	16.8	391.3
磷 寸	"	1,559.1	—	—	—	—	1,559.1
染 料 及 塗 料	"	84.7	10.1	—	76.0	117.8	288.6
綿 絲	"	817.6	—	—	2,596.4	—	3,414.0
絹 絲	"	—	—	—	12.2	—	12.2
麻	"	1.3	—	—	8.2	—	9.6
棉 花	"	61.6	—	—	602.8	30.0	694.4
綿 布	"	1,080.3	—	—	304.5	15.0	1,399.8
絹 布	"	0.8	—	—	6.8	0.1	7.7
麻 袋	"	339.9	—	—	19.9	176.8	536.6
洋 物 雜 貨	"	271.3	—	—	170.2	234.1	677.6
日 本 紙	"	41.6	—	—	1.2	—	42.8
洋 紙	"	43.5	—	—	5.2	5.8	54.5
支 那 紙	"	—	—	—	1,693.5	0.2	1,693.7
石 炭 (撫順)	"	—	—	—	250.0	—	250.0
石 炭 (開平)	"	—	—	—	1,755.0	—	1,755.0
石 炭 (日本)	"	40.0	—	—	—	—	40.0
セ メ ン ト	"	912.4	3.2	—	53.6	—	969.2
煉 瓦 及 瓦	"	0.5	—	—	3.9	—	4.4
陶 磁 器	"	175.4	—	—	1.7	—	177.1
硝 子 及 同 製 品	"	257.2	4.0	—	29.0	—	290.2
鐵 (古鐵ヲ含ム)	"	1,160.2	—	—	73.6	331.6	1,565.4
其ノ他金屬	"	4.7	—	—	140.8	1.1	146.6
金 屬 製 品	"	396.5	—	—	306.4	829.8	1,532.7
機 械	"	108.7	—	—	139.5	—	248.3

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
其 他	發著	40.3 111.9	29.1 9.3	14.6 543.6	— 4.1	— 55.2	4.7 0.9	88.7 725.0
豚	"	—	9	—	—	—	—	— 9
羊	"	— 77	—	—	—	—	—	— 77
騾 及 驢 馬	"	—	—	—	—	—	—	—
馬	"	1	—	—	—	—	—	1
牛	"	—	—	—	—	—	—	—
牛	"	1,425.0	—	—	—	—	—	142.5
合 計	"	12,251.5 6,602.5	446.7 138.9	2,315.1 15,174.6	— 8.2	2,801.8 15,303.4	112.6 0.9	17,927.7 37,228.5

備考 發送貨物埠頭小口扱關中連絡貨物 108.4 ナ含ム

埠頭陸揚貨物噸數仕出地別 (五 月 中)

品 目	單 位	日 本 內 地	朝 鮮	臺 灣	支 那	其ノ他外國	計
白 米	噸	—	59.6	—	95.6	—	155.2
豆 類	"	6.7	4.0	—	25.7	—	36.4
高 粱	"	—	—	—	—	—	—
蜀 黍	"	—	—	—	—	—	—
小 麥	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他穀類及種子	"	0.1	1.8	—	80.1	21.5	103.5
麥 粉	"	—	—	—	651.6	—	651.6
蔬 菜	"	23.1	—	—	0.4	—	23.5
果 實	"	87.9	1.5	—	8.7	—	98.1
茶	"	5.2	—	—	166.3	—	171.5
白 砂 糖	"	130.6	—	—	159.8	381.2	671.6
赤 砂 糖	"	—	—	—	6.9	634.3	641.2
冰 砂 糖	"	92.9	—	—	44.1	127.0	264.0
鮮 魚 介	"	2.1	—	—	0.8	—	2.9
昆 布 及 海 草	"	6.3	—	—	0.2	—	6.5
其ノ他海產物	"	4.5	4.2	—	5.1	2.3	16.0
日 本 酒	"	79.9	4.2	—	1.4	—	85.5
洋 酒	"	2.6	1.8	—	5.6	—	10.0
支 那 酒	"	—	—	—	26.5	41.0	67.5

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
煙 草	發 著	119.2	49.9	—	—	45.0	87.0	301.1
		—	1.6	4.6	0.1	—	—	6.3
葉 煙 草	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	2.4	20.9	—	—	—	23.3
茶	"	32.8	1.3	—	—	—	—	34.1
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
豚 毛	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	6.3	0.5	—	—	—	—	6.8
羊 毛	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	1.0	—	—	—	—	—	1.0
獸 骨	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	55.1	—	—	—	—	—	55.1
牛 皮	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	6.6	1.3	2.3	—	5.2	—	15.4
豚 皮	"	7.3	—	—	—	—	—	7.3
	"	12.0	1.0	—	—	—	—	13.0
魚 類	"	1,350.1	29.8	23.9	—	—	—	1,403.8
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
昆布其ノ他海草	"	5.4	0.3	0.2	—	—	—	5.9
	"	—	—	—	—	—	—	—
蓐	"	—	—	—	—	445.8	—	445.8
	"	—	—	—	—	—	—	—
木 粉	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	0.3	—	—	—	—	0.3
雜 貨(表中記載ノモノヲ除ク)	"	1,725.4	10.3	—	—	20.8	—	1,877.1
	"	49.0	2.3	—	—	—	—	51.3
燐 寸	"	486.1	2.2	—	—	30.0	—	666.1
	"	—	—	—	—	—	—	—
燐 寸 材 料	"	7.0	—	—	—	263.3	—	275.3
	"	—	—	—	—	—	—	—
火 藥 類	"	1.2	—	—	—	—	—	1.2
	"	—	—	—	—	—	—	—
銅 貨	"	—	3.8	9.8	—	—	—	13.6
	"	—	9.8	—	—	—	—	9.8
青 銅 錢	"	—	—	9.8	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
銅	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	1.0	0.3	—	—	—	—	1.3
家 具	"	—	2.7	—	—	—	—	2.7
	"	6.0	2.3	—	—	—	—	8.3
麻 袋 及 布 袋	"	85.0	46.1	67.3	—	48.2	—	246.6
	"	—	4.1	4.7	1.4	—	—	10.2
危 險 品	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
容 器 類	"	19.1	2.7	—	—	—	—	21.8
	"	175.0	13.6	—	—	17.2	—	205.8
清 絲 飲 料 水	"	17.3	12.9	—	—	—	—	30.2
	"	—	—	—	—	—	—	—

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
石 油	發 著	—	—	951.4	—	681.6	—	1,633.0
落 花 生 油	"	—	—	—	—	—	—	—
豆 油	"	88.1	0.5	5,474.1	—	105.0	—	5,667.7
牛 油	"	165.0	—	1,564.9	—	—	—	1,729.9
	"	0.5	0.5	8.5	—	—	—	9.5
油 類 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	29.1	3.5	37.4	—	—	0.2	70.2
	"	17.8	1.7	8.9	—	—	—	28.4
油 粕	"	—	—	—	—	5.4	—	5.4
	"	—	—	66.4	—	202.2	—	268.6
肥 料 各 種	"	194.4	—	10.5	—	—	—	204.9
麥 稈 眞 田	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	184.9	1.6	—	—	—	—	186.5
安 平	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	104.5	0.1	—	—	—	—	104.6
藁 及 粟 稈	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	31.7	—	5.5	—	—	—	37.2
鹽	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
砂 糖	"	1,285.2	5.3	203.2	—	472.9	—	1,966.6
	"	—	—	0.2	—	—	—	0.2
日 本 酒	"	0.8	12.5	1.2	—	—	—	14.5
	"	—	—	—	—	—	—	—
ビ ー ル	"	6.2	16.7	23.5	—	—	—	46.4
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
支 那 酒	"	—	0.5	—	—	—	0.3	0.8
	"	3.4	3.8	0.6	—	—	—	7.8
食料品 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	7.2	17.2	45.8	—	—	0.1	70.3
	"	26.1	3.0	—	0.8	—	—	29.9
乾 物	"	—	3.4	—	—	—	—	3.4
	"	—	—	—	—	—	—	—
野 菜	"	6.6	0.3	0.1	—	—	—	7.0
	"	19.3	6.7	—	—	—	—	26.0
鷄 卵	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	2.5	34.8	257.4	—	—	—	294.7
藍	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
染 塗 料	"	4.9	14.8	—	—	5.4	—	25.1
	"	11.5	0.8	—	0.6	—	—	12.9
藥 品 及 藥 材	"	19.7	18.9	—	—	2.5	0.2	41.3
	"	9.9	0.5	—	—	—	—	10.4
曹 達	"	43.2	3.2	—	—	34.0	—	80.4
	"	—	—	—	—	—	—	—
石 鹼	"	1.8	2.5	—	—	—	—	4.3
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
高 粱	發 著	—	—	0.7	—	15.0	—	15.7
小 麥	"	128.0	—	26.5	—	—	—	154.5
米	"	1,560.7	—	2,265.5	—	6,925.7	—	10,751.9
穀 類 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	38.5	18.5	91.1	—	86.4	—	234.5
	"	165.7	0.4	80.6	—	129.7	—	376.4
	"	20.8	0.3	—	—	—	—	30.1
	"	19.4	0.1	0.6	—	—	—	20.1
落 花 生	"	43.2	0.1	60.6	—	—	—	103.9
	"	495.3	—	2,794.5	—	1,105.2	—	4,395.0
麥 粉	"	1.2	1.1	7.1	—	—	—	9.4
	"	103.9	—	3.6	—	—	—	107.5
陶 磁 器 及 土 器	"	—	1.2	—	—	—	—	1.2
	"	71.6	0.2	—	—	—	—	71.8
支 那 紙	"	188.3	—	6.9	—	28.3	—	223.5
	"	—	5.9	—	—	—	—	5.9
紙 (支那紙ヲ除ク)	"	17.3	1.5	—	—	—	—	18.8
	"	—	—	—	—	—	—	—
麻	"	—	0.3	—	—	—	—	0.3
	"	41.6	0.8	—	—	—	—	42.4
棉	"	—	0.4	19.5	—	143.7	—	163.6
	"	17.0	—	37.8	—	—	—	54.8
綿 布	"	742.6	11.8	—	—	59.8	—	814.2
	"	—	5.7	—	—	—	—	5.7
綿 絲	"	1,188.3	64.3	34.7	—	—	—	1,287.3
	"	—	0.3	187.2	—	—	—	187.5
綿 製 品	"	—	5.3	—	—	—	—	5.3
	"	—	4.4	—	—	—	—	4.4
絹 絲 (屑ヲ含ム)	"	5.9	0.1	—	—	—	—	6.0
	"	2.4	3.5	—	—	—	—	5.9
絹 布 類	"	—	9.1	—	—	—	—	0.1
	"	11.4	8.4	—	—	—	—	19.8
繭 (屑繭ヲ含ム)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	31.7	—	3.0	—	34.7
棗	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	22.6	0.8	—	—	—	—	23.4
梨	"	—	—	—	—	—	—	—
乾 柿	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
胡 桃	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
蜜 柑	"	—	1.0	—	—	—	—	1.0
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
瓜 及 西 瓜	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
瓜 子	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
果 實 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	—	0.5	—	—	—	—	0.5
	"	—	1.3	—	—	—	—	1.3

品 目	單位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	合 計
砂 糖 (赤)	擔	—	—	—	—	—
同 (白)	"	—	—	270	—	270
茶	"	675	—	—	—	675
煙 草 刻 ミ	"	21	—	—	1	22
木 製 品	"	126	—	—	—	126

青島三驛發著貨物主要品 (五月中)

(單位噸以下一位獸類頭數)

品 目	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
石 炭 {	發著	2,796.3	—	285.0	—	30.0	—	3,111.3
コ ー ク ス {	"	1,018.0	0.5	347.0	0.5	4,575.0	—	5,941.0
石 灰 {	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	107.0	0.1	156.7	0.1	2,030.0	—	2,293.9
棟 瓦 (瓦ヲ含ム) {	"	—	0.4	—	—	—	—	0.4
	"	1,350.0	—	—	—	150.0	—	1,500.0
セ メ ン ト {	"	5.0	1.7	—	—	—	—	6.7
	"	—	0.1	195.0	—	—	—	195.1
硝 子 板 {	"	2.9	7.9	15.0	—	—	—	25.8
	"	—	—	285.0	—	—	—	285.0
硝 子 製 品 {	"	6.6	0.8	13.3	—	11.0	—	31.7
	"	11.0	0.1	—	—	—	—	11.1
桐	"	8.0	3.6	—	—	—	—	11.6
	"	21.3	0.3	—	—	—	—	21.6
木 材 (板ヲ含ム) {	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	142.4	—	504.9	—	—	—	647.3
	"	446.8	10.7	82.1	—	206.9	—	763.5
	"	17.5	0.1	301.7	—	—	—	319.3
竹 及 割 竹 {	"	2.2	0.9	0.9	—	25.0	—	29.0
	"	—	—	—	—	—	—	—
石 白 {	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
石 材 及 同 製 品 {	"	—	0.2	0.5	—	—	—	0.7
	"	—	0.5	—	—	—	—	0.5
鐵 板 鐵 製 品 {	"	406.4	21.8	13.3	—	96.9	20.1	558.5
	"	26.8	1.8	20.2	0.6	—	—	49.4
鐵 鍋 {	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	36.2	—	—	—	—	—	36.2
古 鐵 {	"	649.1	0.2	0.6	—	38.7	—	688.8
	"	—	—	—	—	—	—	—
大 豆 {	"	29.8	1.0	—	—	—	—	30.8
	"	255.9	—	—	—	—	—	255.9
豆 類 (大豆ヲ除ク) {	"	—	0.9	—	—	—	—	0.9
	"	15.7	0.1	—	—	—	—	15.8

輸入支那品仕出地別 (同上)

品 目	單 位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	合 計
(綿 製 品 類)						
シーチング(上海)	疋	12,545	—	—	—	12,545
雲 齊 布(同)	疋	50	—	—	—	50
土 布	擔	39	—	—	—	39
花 色 土 布	擔	58	—	—	—	58
綿 織 絲	擔	23,863	—	—	—	23,863
(雜 貨)	擔					
砒 石	担	1,026	—	—	50	1,076
砒 竹	箇	193,508	—	—	—	193,508
砒 竹	担	1,335	—	—	—	1,335
筍	〃	91	—	—	—	91
書 籍	〃	60	—	—	—	60
蠟 燭	〃	—	—	—	—	—
米	〃	1,732	—	—	—	1,732
磁 石	〃	9	—	—	—	9
紙 卷 煙 草	担	2,459	—	240	1	2,700
石 炭(撫順開平)	噸	—	—	270	1,840	2,110
紙 扇	箇	95,248	—	—	—	95,248
小 麥 粉 機 械 製	担	10,512	—	2	—	10,514
夏 布 粗 製	〃	21	—	—	—	21
同 精 製	〃	58	—	—	—	58
藥 桐	〃	36	—	60	11	107
紙 一 等 品	〃	352	—	—	—	352
同 二 等 品	〃	608	—	—	—	608
同 錫 箔	〃	7,069	—	—	—	7,069
同 其 ノ 他	〃	1,464	—	—	—	1,464
糖 三 蒸 酒	〃	177	—	—	—	177
同 其 ノ 他 菓	〃	112	—	—	—	112
靴 綿 及 絹 製	担	77	—	—	—	77
生 絲 白 黃 品 形 田	担	1,873	—	—	—	1,873
同 絲 白 黃 品 形 田	担	—	—	—	—	—
同 製 條 形 田	担	96	—	—	—	96
石 鹼 稈 真	斤	267	—	150	—	417
麥 稈 真	担	24	—	117	—	141
	〃	3	15	—	—	18

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
日 本	酒 樽	465	—	—	—	—	—	10	—	475
石 鹼	條	263	—	—	27	—	2	—	—	292
同 化 粧	用 海關兩	3,646	—	—	—	—	138	—	—	3,784
曹 醬	担	67	—	67	1,380	—	1,003	275	—	2,792
	油 担	363	—	—	—	—	—	33	—	396
砂 糖 (赤)	〃	—	—	—	10,346	—	—	—	154	10,500
同 糖 (白)	〃	—	—	—	136	—	—	2,348	—	2,484
同 精 製	〃	5,046	—	—	6,248	—	—	8	—	11,302
同 冰	〃	625	—	—	1,163	—	28	580	—	2,396
木 材 (堅)	立方呎	6,006	—	—	—	—	—	—	—	6,006
同 材 (軟)	〃	483,468	—	—	—	—	78,906	222,042	—	784,416

輸 出 支 那 品 仕 向 地 別 (同 上)

品 目	單位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	合 計
生 豆	牛 頭	65	—	—	—	—	59	—	—	124
黃 牛	粕 担	47,169	—	—	—	—	—	—	—	47,169
牛 獸	豆 〃	162	—	—	—	—	—	—	—	162
	肉 クオニ	240	4,650	—	—	4,719	144	47	—	9,800
	骨 担	1,265	—	—	—	—	—	—	—	1,265
銅 豚	塊 〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿 毛	〃	—	—	—	—	—	—	293	—	293
東 山 棉	帽 個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	炭 噸	4	—	—	—	—	—	4,070	—	4,074
	花 担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
錫 黑	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蛋 蛋	棗 〃	—	—	—	—	—	—	—	48	48
乾 蛋	白 〃	18	—	—	—	—	—	430	—	448
	黃 〃	328	—	—	—	—	—	1,123	—	1,451
	蛋 〃	—	—	—	—	—	—	181	—	181
鷄 卵	個	2,005,600	—	—	—	—	—	—	—	2,005,600
麻 鹽	担	—	—	—	—	—	—	—	282	282
果 物	魚 〃	—	—	—	—	—	—	647	32	679
確 子	鮮 〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	品 〃	—	—	—	—	—	—	173	241	414
落 花	生 担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 仁	個	115,480	—	—	314	—	3,000	19,472	70,25	145,291

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
銅 鈕 釦 花 鈕 釦	哥 担	1,095	—	—	—	—	—	—	—	1,095
蠟 燭	担	45	—	—	—	—	623	—	—	371
セ メ ソ ト	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	担	6,225	—	—	—	—	—	—	—	6,225
磁 石 瓦 器	海關兩	4,368	—	—	—	—	45	7	—	4,420
紙 卷 煙 草	千 本	—	—	16,000	—	—	24,847	—	—	40,847
同 (日本品)	〃	1,205	—	—	—	—	—	2,500	—	3,705
掛 置 時 計	個	1,475	—	—	—	—	—	—	—	1,475
石 炭	噸	1,187	—	—	—	—	—	—	—	1,187
(染料顏料塗料)										
ア ニ リ ン	海關兩	—	—	—	—	—	1,891	—	—	1,891
人 造 藍	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
天 然 藍 液 狀	〃	—	—	—	142	—	—	—	—	142
白 鉛 粉	〃	—	—	—	35	—	—	—	—	35
越 ン グ フ ー ス	〃	12	—	—	—	—	—	—	—	12
電 氣 材 料	海關兩	3,917	—	—	—	—	564	20	—	4,501
祛 那 洗 面 器	打 担	1,295	—	—	—	—	—	—	—	1,295
麥 粉	担	24	—	—	—	—	—	2	—	26
窓 硝 子	箱	1,536	—	—	—	—	—	110	—	1,646
洋 燈 及 洋 燈 器	海關兩	1,214	—	—	—	—	381	—	46	1,641
燐 寸 (黃 燐)	哥	276,266	—	—	—	—	—	—	—	276,266
同 (安 全)	〃	900	—	—	—	—	—	—	—	900
疊 及 奠 座	枚	31,250	—	—	3,750	—	312	—	—	35,312
コンデンスミルク	打	120	—	—	—	—	408	128	—	656
針	千 本	90,850	—	—	—	—	—	—	—	90,850
石 油 (米品箱入)	ガロン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	220,000	—	—	220,000
同 (露國箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ス マ ト ラ (裸)	〃	—	—	—	—	398,382	—	—	—	398,382
同 (箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本箱入)	〃	31,020	—	—	—	—	—	—	—	31,020
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
紙 担	担	476	—	—	5	—	498	—	—	979
胡 椒	〃	—	—	—	146	—	—	—	—	146
米	〃	848	—	—	360	—	—	—	—	1,208
昆 布	〃	52	—	—	—	—	—	—	—	52

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	計	合
タ オ ル	打	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	"	3,900	—	—	—	—	—	—	—	—	2,900
綿織絲 (印 度)	担	—	—	—	—	—	522	—	—	—	522
同 (日 本)	"	8,914	—	—	—	—	16	—	—	—	8,930
綿 縫 絲(絲卷)	哥	2,731	—	—	—	—	—	—	—	—	2,731
(毛織交織類) ユニオン及ボンチ ヨークロース	碼	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(毛製品類)											
綾 吳 呂	疋	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
羅 世 伊 多	"	5	—	—	—	—	7	—	—	—	12
伯林ウール及毛絲	担	3	—	—	—	—	9	—	—	—	12
(雜質織物類)											
絹 製 品 交 織	斤	1,353	—	—	—	—	397	—	—	—	1,750
(金 屬 品)											
片	担	8	—	—	—	—	—	—	—	—	8
線	"	13	—	—	—	—	9	—	—	—	22
銅 板	"	18	—	—	—	—	—	—	—	—	18
鐵及軟鐵 (新)											
條	担	3,283	—	—	914	—	139	—	—	—	4,336
屑 鐵 及 屑 鐵 線	"	—	—	—	1,029	—	90	—	—	—	1,119
箆	"	—	—	—	—	—	611	—	—	—	611
橡	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釘 用 竿 鐵	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ネール(ソイヤ)	"	1,644	—	—	259	—	230	—	—	—	2,133
片 及 板	"	388	—	—	466	—	652	16	17	—	1,539
線	"	96	—	—	43	—	33	—	—	—	172
鐵 及 軟 鐵(古)	"	13,326	—	—	4,574	—	599	—	—	—	18,499
鍍 金 鐵 片	"	84	—	—	—	—	85	—	—	—	169
鉛 塊	"	28	—	—	62	—	252	—	—	—	342
鋼 鐵	"	104	—	—	25	—	19	—	—	—	148
葉 鐵	"	12	—	—	—	—	1,890	—	—	—	1,902
白 銅 片 及 線	"	2	—	—	—	—	6	—	—	—	8
(雜 貨)											
麻 袋	枚	167,170	—	—	154,000	—	—	4,800	50	—	326,020
麥 酒	担	404	—	—	—	—	—	—	—	—	404
綿 帶	"	4,183	—	—	—	—	—	—	—	—	4,183
パ タ ー	"	2	—	—	—	—	15	—	—	—	17

青島輸出入貿易 (五月中)

—海關貿易統計—

輸入外國品仕出地別

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
精製阿片	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(棉製品類)										
生金巾	疋	21,010	—	—	—	—	1,586	—	—	22,596
シーチング(米品)	"	—	—	—	—	—	1,320	—	—	1,320
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	"	68,380	—	—	—	—	40	—	—	68,420
晒金巾	"	4,760	—	—	—	—	7,596	780	—	13,136
綾金巾	"	—	—	—	—	—	250	—	—	250
雲齋布(米品)	"	—	—	—	—	—	110	—	—	110
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	300	—	—	300
同 (日本品)	"	1,200	—	—	—	—	99	—	—	1,299
シェーン(米品)	"	—	—	—	—	—	40	—	—	40
同 (和蘭品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	2,000	—	40	—	—	2,040
同 (日本品)	"	5,156	—	—	—	—	160	140	—	5,456
天竺布三十二吋	"	—	—	—	1,500	—	4,734	—	—	6,234
同 (日本品)	"	39,959	—	—	—	—	441	—	—	40,400
寒冷紗及綿紗	"	73	—	—	—	—	1,316	—	—	1,389
平織捺線染色各種	"	9,366	—	—	—	—	64	—	—	9,430
チンズ及平織更紗	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フリンテット	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フローネチュロー	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺線綿襪子	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺線天竺布	"	—	—	—	—	—	3,660	120	—	3,780
コットンイタリアン及ラッスイング	"	1,370	—	—	—	—	2,943	120	—	4,433
同平織染色	"	—	—	—	—	—	1,545	—	—	1,545
イーフトブラック	"	—	—	—	—	—	52	—	—	52
同 綾	"	90	—	—	—	—	200	—	—	290
緋金巾及綿天竺布	"	13,140	—	—	—	—	310	360	—	13,810
綿スパニシスト	担	—	—	—	—	—	49	—	—	49
イブ六十四吋	"	250	—	—	—	—	92	—	—	342
綿フランネル	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 フランケット	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手 巾 打		5,261	—	—	—	—	—	—	—	2,261

△青島實業協會月報第拾九號統計表目次△

□青島輸出入貿易(五月中).....	1
□青島三驛發著貨物主要品(五月中).....	7
□埠頭陸揚貨物仕出地別(五月中).....	11
□埠頭船積貨物仕向地別(五月中).....	13
□出入汽船仕出仕向地別(五月中).....	15
□入港汽船揚荷噸數國籍別(五月中).....	16
□出港汽船積荷噸數國籍別(五月中).....	17
□埠頭營業倉庫出入貨物.....	17
□青島港出入船舶旅客表(五月中).....	17
□青島大港兩驛乘降客人員(五月中).....	18
□大正七年度山東鐵道乘降客驛別表(自大正七年四月 至大正八年三月).....	19
□青島屠獸場屠殺數(六月中).....	20
□青島物價表(五月末調).....	21

青島實業協會會員

(定不序順)

會 員	代 表 者	所 在	會 員	代 表 者	所 在
岩 城 商 會 支 店	田邊郁太郎	早舟町	江商株式會社 青島支店	一宮 晃	所澤町
伊藤忠商事株式會社青島支店	淵田太郎	所澤町	安部幸兵衛商店 青島出張店	副島高市	河南町
原田汽船株式會社青島支店	川畑竹馬	所澤町	湯淺貿易株式會社 青島出張所	小林 乃	葉櫻町
日本郵船株式會社青島出張事務所	近澤武男	葉櫻町	三井物產株式會社 青島支店	飯塚重五郎	所澤町
日本綿花株式會社 青島出張所	林田 勇	北京町	南滿洲鐵道株式會社 青島出張所	內 丸 勇	葉櫻町
東 和 公 司 青 島 支 店	河原熊太郎	北京町	峯 村 洋 行	峯村正三	葉櫻町
東亞煙草株式會社 青島販賣所	西村義郎	北京町	合名會社鈴木木商店 青島出張所	金子慶治	北京町
朝 鮮 銀 行 青 島 支 店	常世克己	所澤町	中 村 組 青 島 支 店	原 辰 治	吳淞町
大倉商事株式會社 青島出張所	石橋藤次郎	早舟町	和 盛 公 司	石本貫一	若葉町
橫濱正金銀行青島支店	太田保一郎	所澤町	東洋鹽業株式會社 青島支店	秋元定恭	大和町
大連汽船株式會社 青島出張所	松本文三郎	葉櫻町	泰 利 商 會	松崎 翠	早霧町
大日本麥酒株式會社 青島出張所	三宅 重孝	臺東鎮長通	山 東 興 業 株 式 會 社	空閑知鷺治	早舟町
內外綿株式會社 青島出張所	佐々木國藏	市外四方庄	吉 澤 洋 行	吉澤干城	市場通
山 田 出 張 所	山田三平	北京町	青島製粉株式會社支店	百 溪 深	三日月町
三菱商事株式會社濟南出張所	關口嘉重	市場通	新 利 洋 行 出 張 所	古賀茂登吉	野山町
茂木合名會社青島出張所	杉浦政芳	葉櫻町	梶 野 洋 行	重野義雄	河南町
神戶棧橋株式會社 青島派出所	河南 薰	早舟町	福昌公司 青島出張所	千本木正治	若葉町
山東運輸株式會社 青島支店	神谷武松	葉櫻町	南昌洋行 青島出張所	中村道三	葉櫻町
日華協信公司 青島支店	藤波茂時	北京町	內外貿易株式會社青島出張所	河上律一	所澤町
青 島 絲 廠	鈴木格三郎	工場地	東方公司 青島支店	福田吉榮	早霧町
山東化學工業所	磯野清平	工場地	大連製氷株式會社青島支店	倉脇武治	三日月町
青島鹽業株式會社	月成元俊	濟南町			

大正八年七月十八日印刷

大正八年七月二十日發行

大正八年八月十九日第三種郵便物認可（毎月一回二十日發行）

發行兼編輯者
印刷所
印刷所
印刷所

青島靜岡町十番地吉見正任
青島靜岡町十四番地青島實業協會
青島靜岡町十四番地足立孝
（實費銀參拾錢）